

大田区
ヤングケアラー実態調査
報告書

令和6年3月

大田区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
（1）学年（年齢）	7
（2）性別	8
（3）居住地域	9
（4）現在の状況	10
（5）世帯構成	11
（6）今の生活の満足度	13
（7）健康状態	13
2. ふだんの生活について	14
（1）1日3回の食事の状況	14
（2）平日の睡眠時間	14
（3）学校を欠席することの状況	15
（4）遅刻や早退することの状況	16
（5）ふだんの学校生活の状況	17
（6）現在の悩みごとや困りごと	18
（7）悩みごとや困りごとの話を聞いてくれる人の有無	19
（8）仕事を休むことの状況	20
（9）仕事を遅刻・早退することの状況	20
（10）ふだんの生活等の状況	21
（11）現在の悩みごとや困りごと	22
（12）悩みごとや困りごとの話を聞いてくれる人の有無	23
（13）ふだんの生活等の状況	23
（14）現在の悩みごとや困りごと	24
（15）悩みごとや困りごとの話を聞いてくれる人の有無	24
3. 家庭や家族のことについて	25
（1）お世話している家族の有無	25
（2）お世話を必要としている人	26
（3）お世話をしている理由（母親・父親）	26
（4）お世話をしている理由（祖母・祖父）	27

(5) お世話をしている理由 (きょうだい)	28
(6) お世話をしている理由 (その他)	29
(7) お世話をしている内容 (母親・父親)	30
(8) お世話をしている内容 (祖母・祖父)	31
(9) お世話をしている内容 (きょうだい)	32
(10) お世話をしている内容 (その他)	33
(11) 一緒にお世話をする人	34
(12) 一緒に住む家族がいても、自分だけでお世話をしている理由	35
(13) お世話を始めた年齢	36
(14) お世話をしている頻度	37
(15) 平日の一日あたりにお世話をする時間	37
(16) 休日の一日あたりにお世話をする時間	38
(17) お世話をすることについて感じる事	39
(18) お世話の悩みを相談した有無	39
(19) お世話の悩みを相談する相手	40
(20) お世話の悩みを相談していない理由	41
(21) 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援	42
(22) 話を聞いたり相談にのったりで望む方法	43
4. ヤングケアラーについて	44
(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知	44
(2) 自身が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか	44
(3) 家族のお世話をしているこどものために必要なこと、大人にしてもらいたいこと	45
(4) 学校生活や日常生活で相談したいこと、区の相談窓口に行きやすくなること	49

第3章 調査結果の分析

1. 国調査との比較	61
(1) 世帯構成の比較	61
(2) お世話の有無を比較	63
(3) お世話を必要としている人を比較	64
(4) お世話を必要としている人へのお世話の内容を比較	65
(5) 一緒にお世話をしている人の有無を比較	66
(6) お世話をしている頻度を比較	67
(7) 平日の一日あたりのお世話する時間を比較	68
(8) お世話の悩みを相談した有無を比較	69
2. 日常生活への影響	70
(1) お世話している家族の有無にみた結果	70
①お世話している家族の有無の結果	70
②生活満足度とお世話している家族の有無の関係性	70
(2) 生活満足度別にみた結果	71

①食事や睡眠の状況	71
②欠席や遅刻の状況	73
③お世話の内容	75
④お世話することについて感じる事	76
⑤お世話に負担感のある人の中で生活満足度が低い人のお世話内容など	77
3. ヤングケアラーへの支援策	83
(1) こどもの負担を軽減するための方策	83
(2) こども視点での相談体制の整備	83
(3) 周囲の大人の気づきを促す方策	84
第4章 調査票	87
1. 小学生調査	89
2. 中学生調査	108
3. 高校生世代調査	127

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、年齢や成長の度合いに見合わない責任や負担を負うことで育ちや教育等への影響が危惧されるヤングケアラーへの支援を進めていくにあたり区内の実態を把握することを目的として実施した。

2. 調査方法と回収状況

調査対象者：区立小学校（60校）在籍児童4～6年生全員
 区立中学校（28校）在籍生徒1～3年生全員
 高校生世代の区民（平成17年4月2日から平成20年4月1日生まれ）

抽出方法：住民基本台帳（高校生世代の区民のみ）

調査方法：小中学生：学校を通じて案内／高校生世代：郵送案内・いずれもWEB回収

調査期間：令和5年11月15日（水）～12月13日（水）

<回収状況>

調査	対象者数	有効回収数	有効回収率
小学生調査	14,642	2,281	15.6%
中学生調査	11,044	1,594	14.4%
高校生世代調査	15,386	2,443	15.9%

3. 調査項目

1. 基本属性
2. ふだんの生活について
3. 家庭や家族のことについて
4. ヤングケアラーについて

※ 調査項目の設定にあたっては、令和2年及び3年の国調査を参考にするとともに、地域特性を把握する観点から区独自の項目を追加している。

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。また、小学生、中学生、高校生世代の各調査で選択肢の文言が異なる場合は、高校生世代の文言を優先して表記している。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・クロス集計で傾向がみられる場合は、グラフ下（二重線の枠内）にまとめている。

第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 学年 (年齢)

【小学生・中学生】

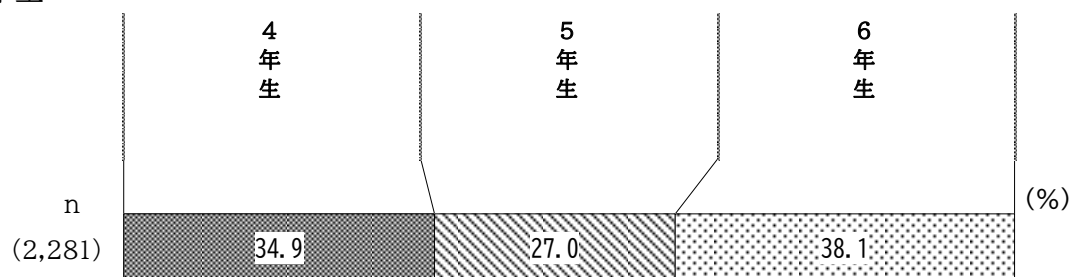
問 あなたの学年を教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

【高校生世代】

問 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるものを1つ回答) ※令和5年4月1日時点

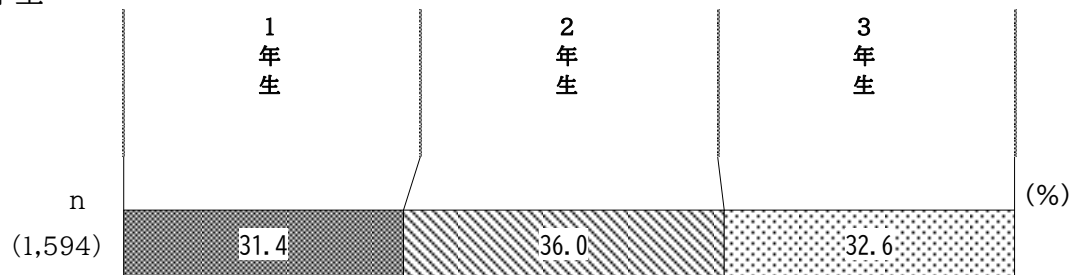
回答者の割合は小学生では、「6年生」が38.1%で最も多く、次いで、「4年生」が34.9%、「5年生」が27.0%となっている。

○小学生



中学生では、「2年生」が36.0%で最も多く、次いで、「3年生」が32.6%、「1年生」が31.4%となっている。

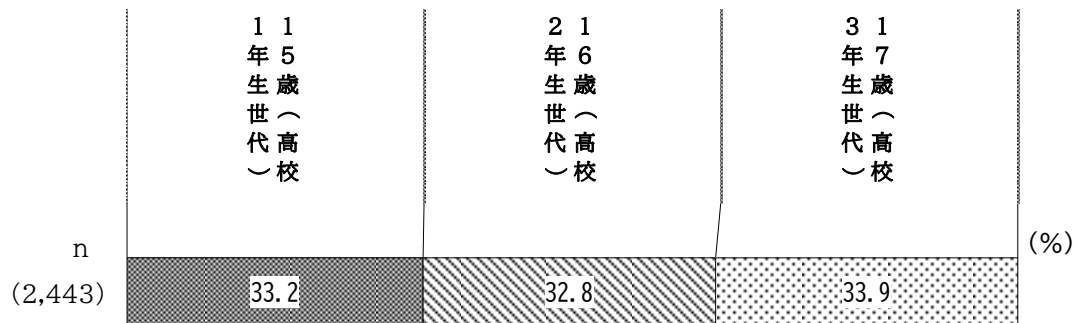
○中学生



第2章 調査結果の詳細

高校生世代では、「17歳（高校3年生世代）」が33.9%で最も多く、次いで、「15歳（高校1年生世代）」が33.2%、「16歳（高校2年生世代）」が32.8%となっている。

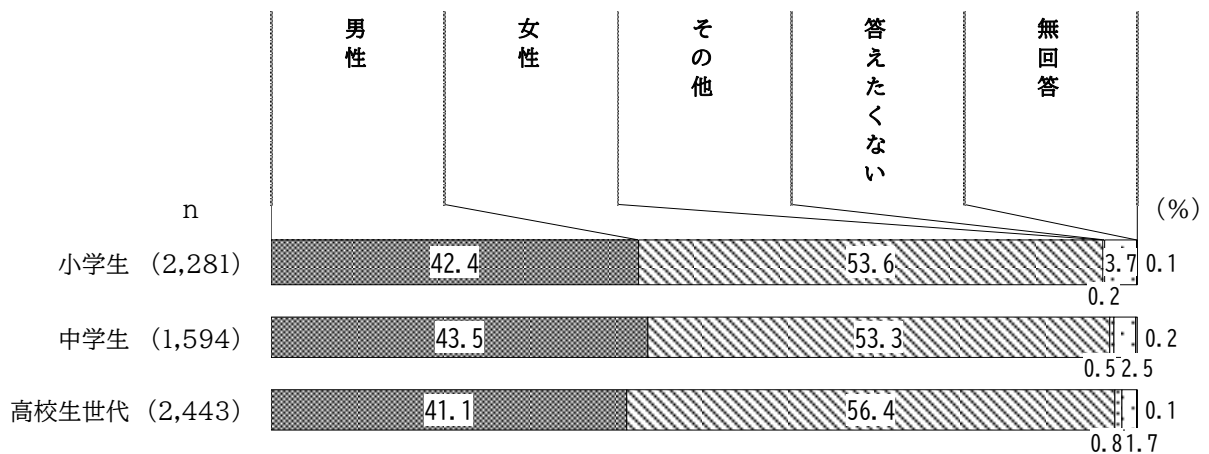
○高校生世代



(2) 性別

問 あなたの性別を教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

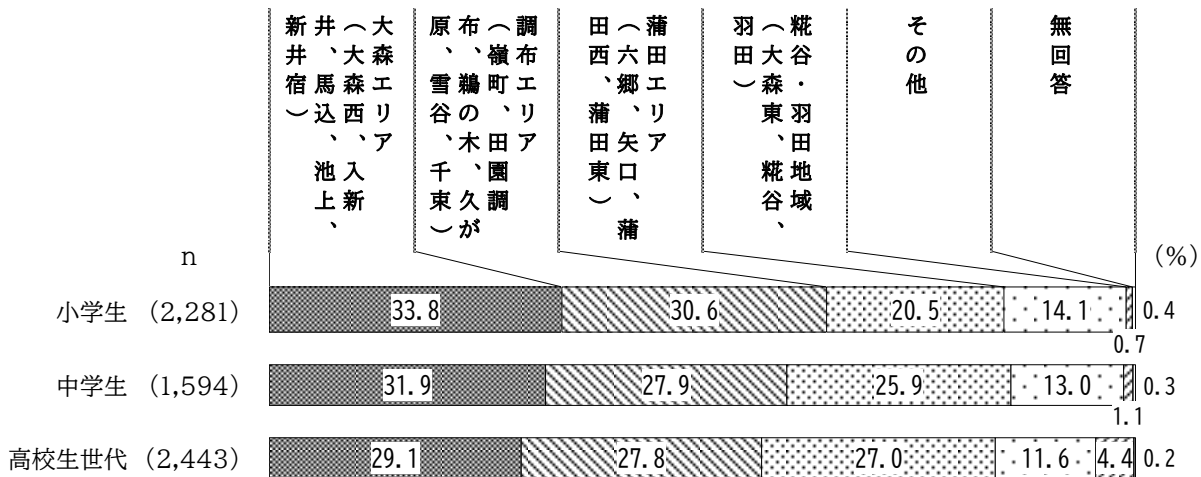
いずれの調査でも、「女性」が5割台と多く、「男性」が4割台となっている。



(3) 居住地域

問 現在住んでいる地域を教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

いずれの調査でも、「大森エリア」が3割程度と最も多く、次いで、「調布エリア」、「蒲田エリア」の順となっている。



<エリア別小・中学校学校一覧>

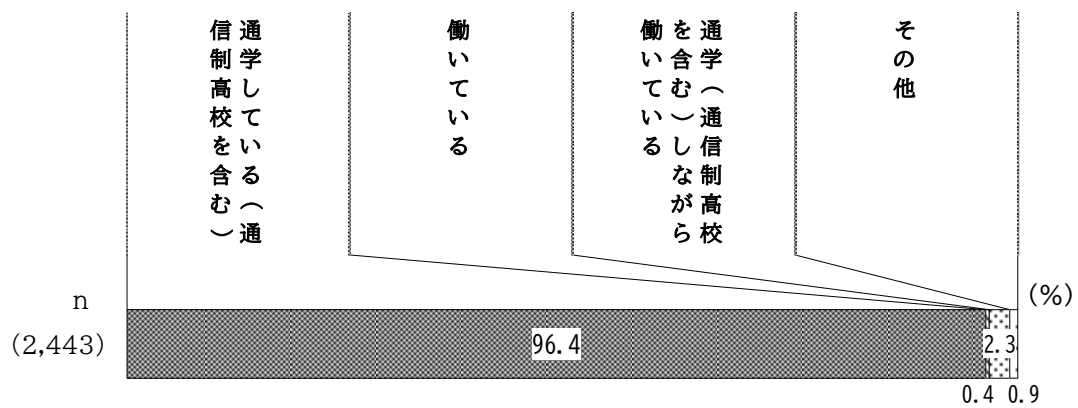
大森エリア
大森第一小学校、開桜小学校、大森第三小学校、大森第五小学校、大森東小学校、入新井第五小学校、入新井第一小学校、山王小学校、馬込小学校、馬込第二小学校、馬込第三小学校、梅田小学校、池上小学校、池上第二小学校、徳持小学校、入新井第二小学校、入新井第四小学校、大森第二中学校、大森第三中学校、大森第四中学校、大森第八中学校、馬込中学校、馬込東中学校、貝塚中学校
調布エリア
東調布第一小学校、田園調布小学校、調布大塚小学校、東調布第三小学校、嶺町小学校、千鳥小学校、久原小学校、松仙小学校、池雪小学校、小池小学校、雪谷小学校、洗足池小学校、赤松小学校、清水窪小学校、大森第六中学校、大森第七中学校、大森第十中学校、東調布中学校、田園調布中学校、雪谷中学校、石川台中学校
蒲田エリア
六郷小学校、西六郷小学校、高畑小学校、仲六郷小学校、志茂田小学校、東六郷小学校、南六郷小学校、矢口小学校、矢口西小学校、多摩川小学校、相生小学校、矢口東小学校、おなづか小学校、道塚小学校、蒲田小学校、南蒲小学校、新宿小学校、東蒲小学校、六郷中学校、志茂田中学校、南六郷中学校、矢口中学校、御園中学校、蓮沼中学校、安方中学校、東蒲中学校、蒲田中学校
糎谷・羽田地域
大森第四小学校、中富小学校、糎谷小学校、東糎谷小学校、北糎谷小学校、羽田小学校、都南小学校、萩中小学校、中萩中小学校、出雲小学校、大森第一中学校、大森東中学校、羽田中学校、糎谷中学校、出雲中学校

(4) 現在の状況

【高校生世代のみ】

問 あなたの状況について教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

「通学している（通信制高校を含む）」が96.4%と特に多く、「通学（通信制高校を含む）しながら働いている」が2.3%、「働いている」が0.4%となっている。

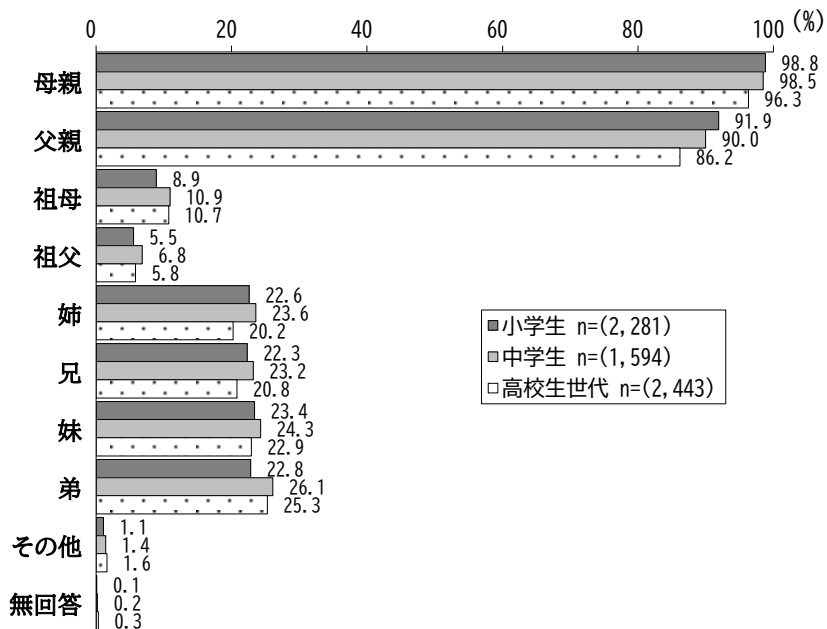


(5) 世帯構成

問 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまるものをすべて回答)

同居者は、いずれの調査でも「母親」が9割台で最も多く、次いで、「父親」が9割程度となっている。

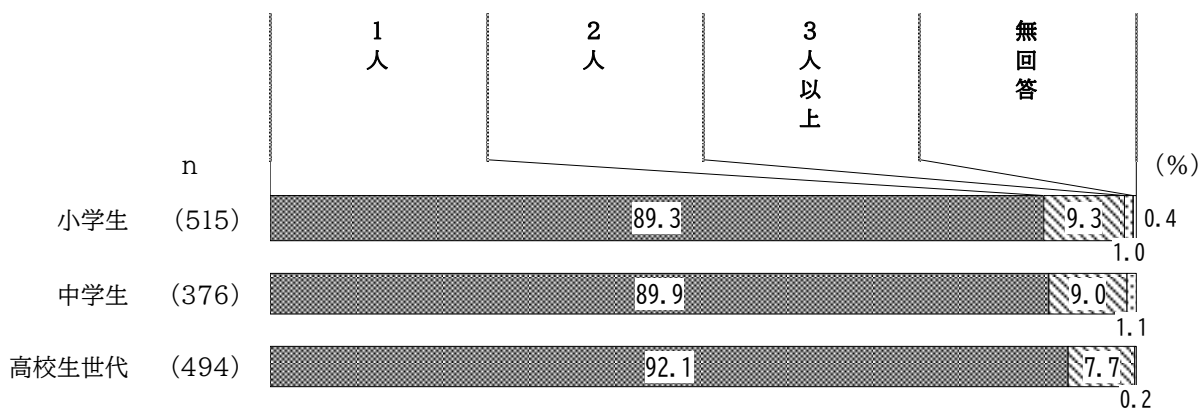
○同居者



兄弟姉妹は、いずれの調査でも「1人」が9割程度で最も多くなっている。「2人」は中学生の『兄』『妹』『弟』でいずれも1割台となっている。

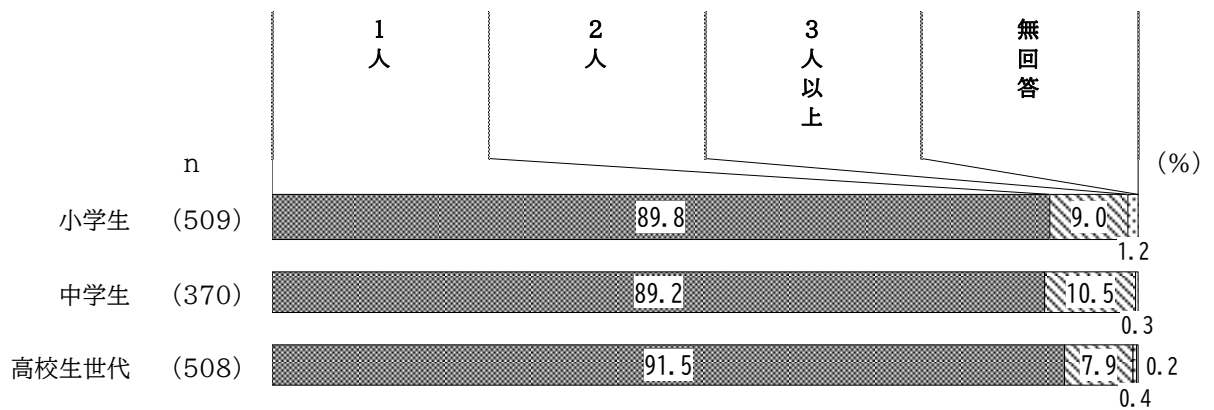
○兄弟姉妹の人数

【姉】

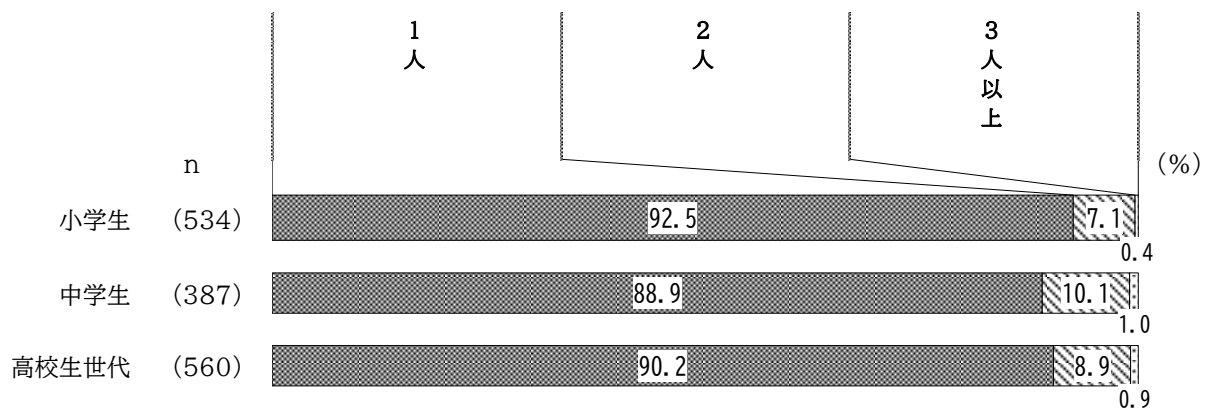


第2章 調査結果の詳細

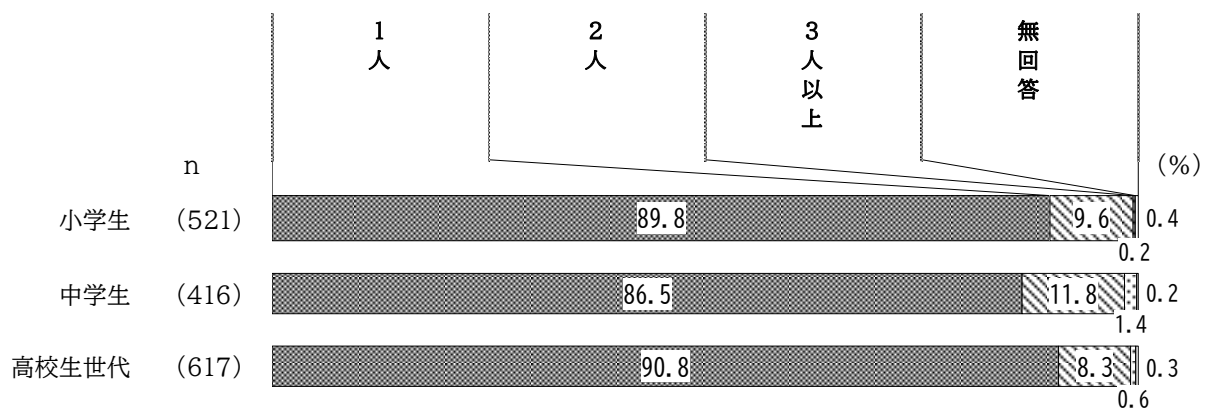
【兄】



【妹】

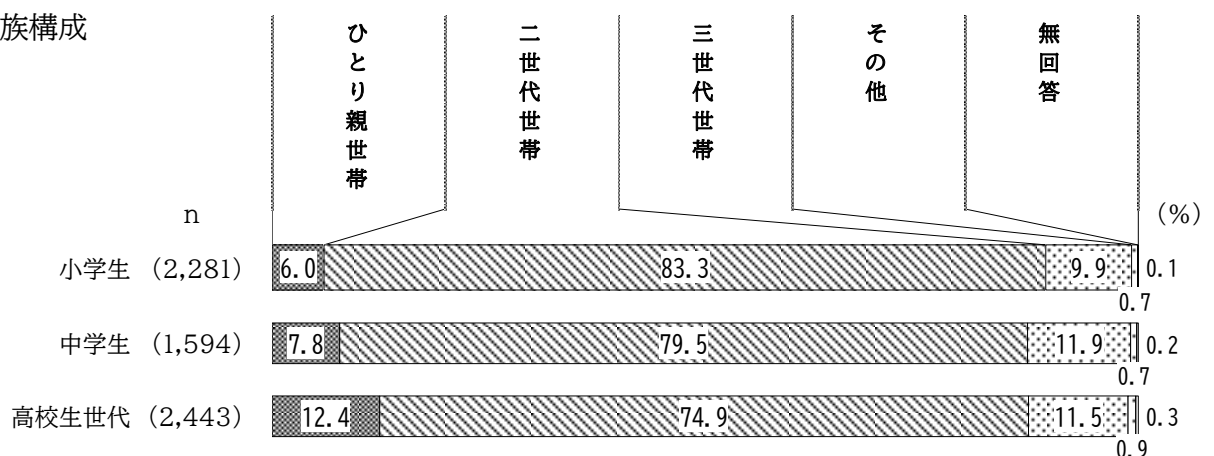


【弟】



家族構成は、いずれの調査でも「二世帯世帯」が7割から8割台で最も多くなっている。「ひとり親世帯」は高校生世代で12.4%、「三世帯世帯」は中学生で11.9%、高校生世代で11.5%、小学生で9.9%となっている。

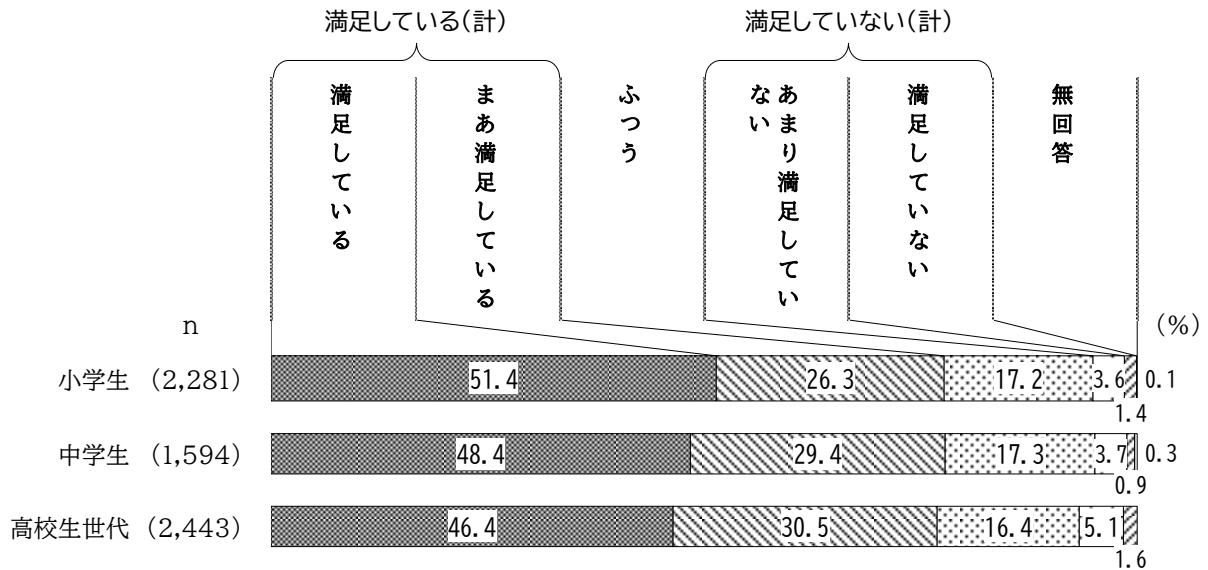
○家族構成



(6) 今の生活の満足度

問 あなたは今の生活（学校生活や家族のことを含めて）にどのくらい満足していますか。
（あてはまるものを1つ回答）

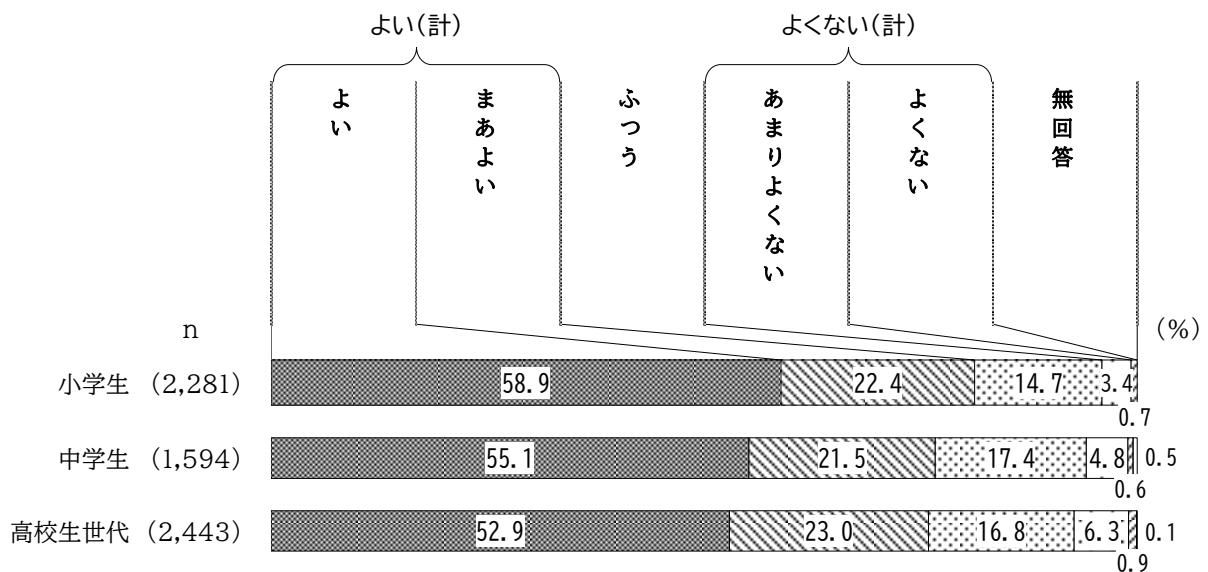
いずれの調査でも、『満足している（計）』（「満足している」＋「まあ満足している」）が7割台となっており、特に小学生では「満足している」が51.4%となっている。一方、『満足していない（計）』（「満足していない」＋「あまり満足していない」）がいずれの調査でも1割未満である。



(7) 健康状態

問 あなたの健康状態について教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

いずれの調査でも、『よい（計）』（「よい」＋「まあよい」）が7割から8割台となっており、特に小学生では「よい」が58.9%となっている。一方、『よくない（計）』（「よくない」＋「あまりよくない」）がいずれの調査でも1割未満である。

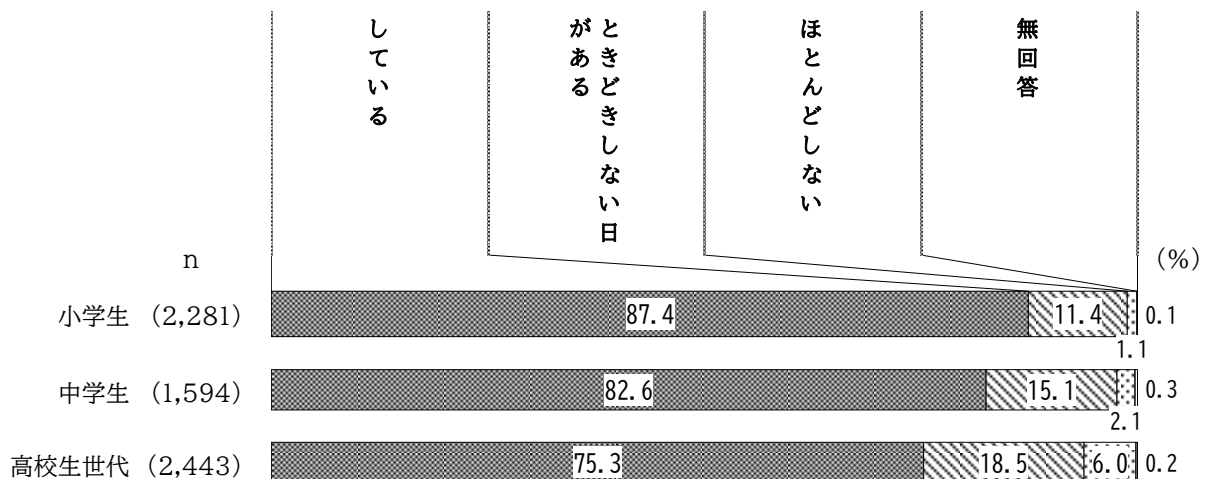


2. ふだんの生活について

(1) 1日3回の食事の状況

問 あなたは、1日3回（朝・昼・夜）の食事を毎日していますか。（あてはまるものを1つ回答）

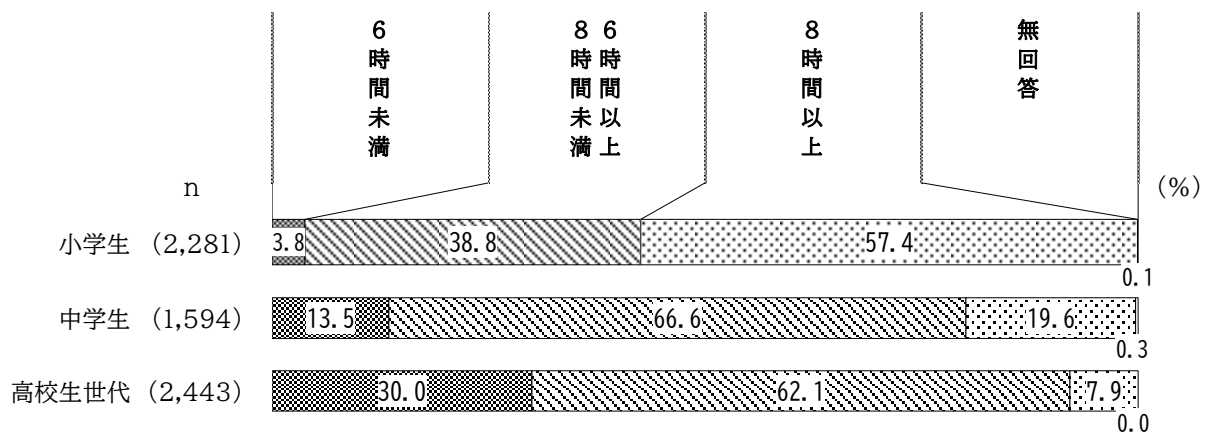
いずれの調査でも、「している」が最も多く、小学生で87.4%、中学生で82.6%、高校生世代で75.3%となっている。高校生世代では、「ときどきしない日がある」が18.5%、「ほとんどしない」が6.0%とやや多くなっている。



(2) 平日の睡眠時間

問 あなたの平日の睡眠時間を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

小学生では「8時間以上」が57.4%で最も多く、中学生と高校生世代では「6時間以上8時間未満」が6割台と多くなっている。高校生世代では、「6時間未満」が30.0%とやや多くなっている。

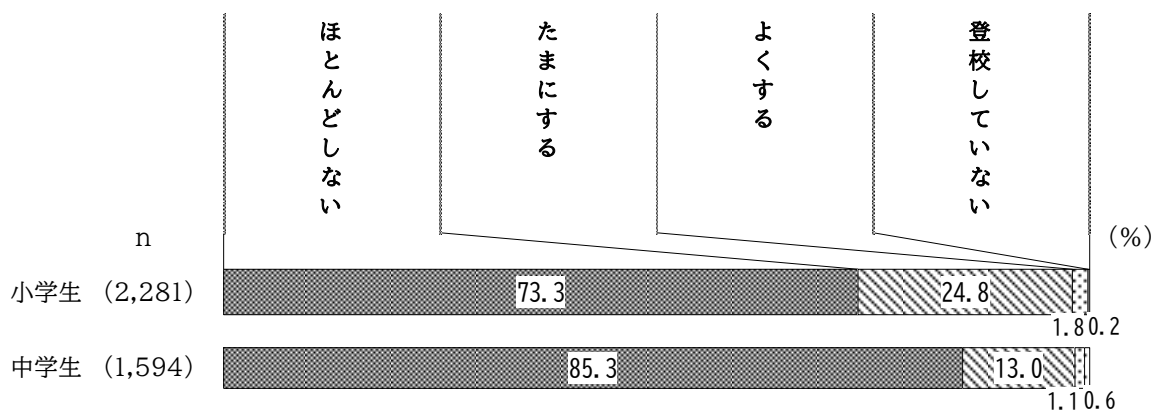


(3) 学校を欠席することの状況

【小学校】
 問 学校を欠席することはありますか。(あてはまるものを1つ回答)
 【中学校】
 問 学校を欠席することはありますか。(あてはまるものを1つ回答)
 【高校生世代】
 「現在の状況」(P.10)で『通学している(通信制高校を含む)』を選択した方のみ
 問 学校を休むことがありますか。(あてはまるものを1つ回答)

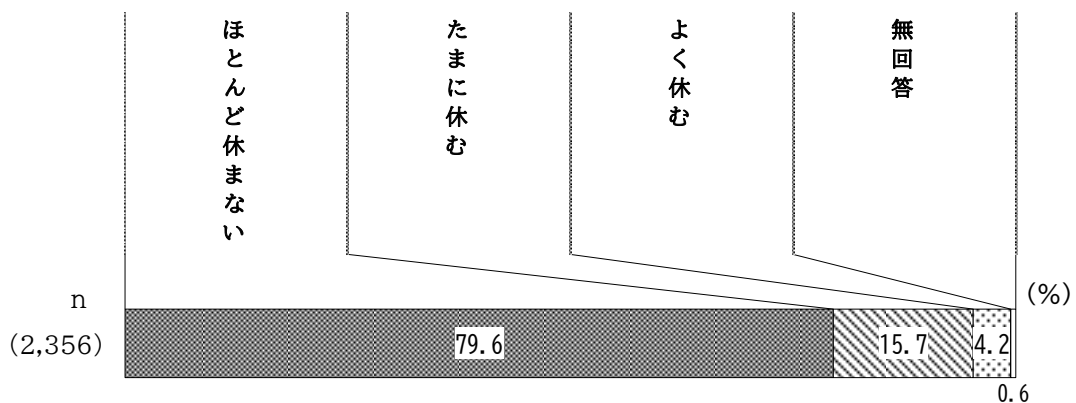
「ほとんどしない」が中学生で85.3%、小学生で73.3%と多く、「たまにする」は小学生で24.8%、中学生で13.0%となっている。

○小学生・中学生



高校生世代では、「ほとんど休まない」が79.6%で最も多く、「たまに休む」が15.7%、「よく休む」が4.2%となっている。

○高校生世代



(4) 遅刻や早退することの状況

【小学校・中学校】

「学校を欠席することの状況」で『1. ほとんどしない』～『3. よくする』を選択した方のみ

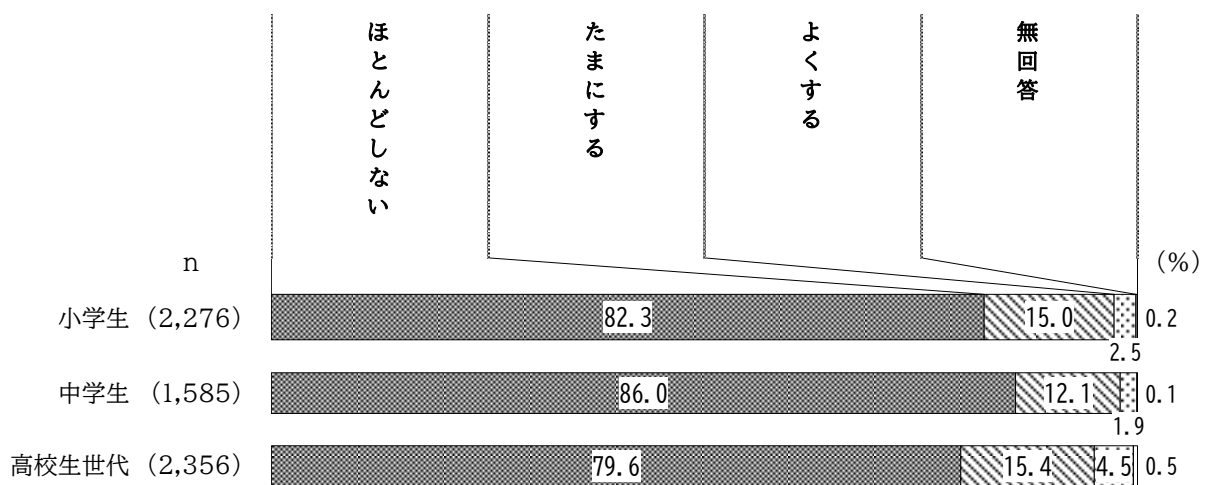
問 遅刻や早退をすることはありますか。(あてはまるものを1つ回答)

【高校生世代】

「現在の状況」(P.10)で『通学している(通信制高校を含む)』を選択した方のみ

問 遅刻や早退をすることはありますか。(あてはまるものを1つ回答)

「ほとんどしない」が中学生で86.0%、小学生で82.3%、高校生世代で79.6%と多く、「たまにする」は高校生世代で15.4%、小学生で15.0%、中学生で12.1%となっている。「よくする」は高校生世代で4.5%となっている。



(5) ふだんの学校生活の状況

【小学校・中学校】

問 ふだんの生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

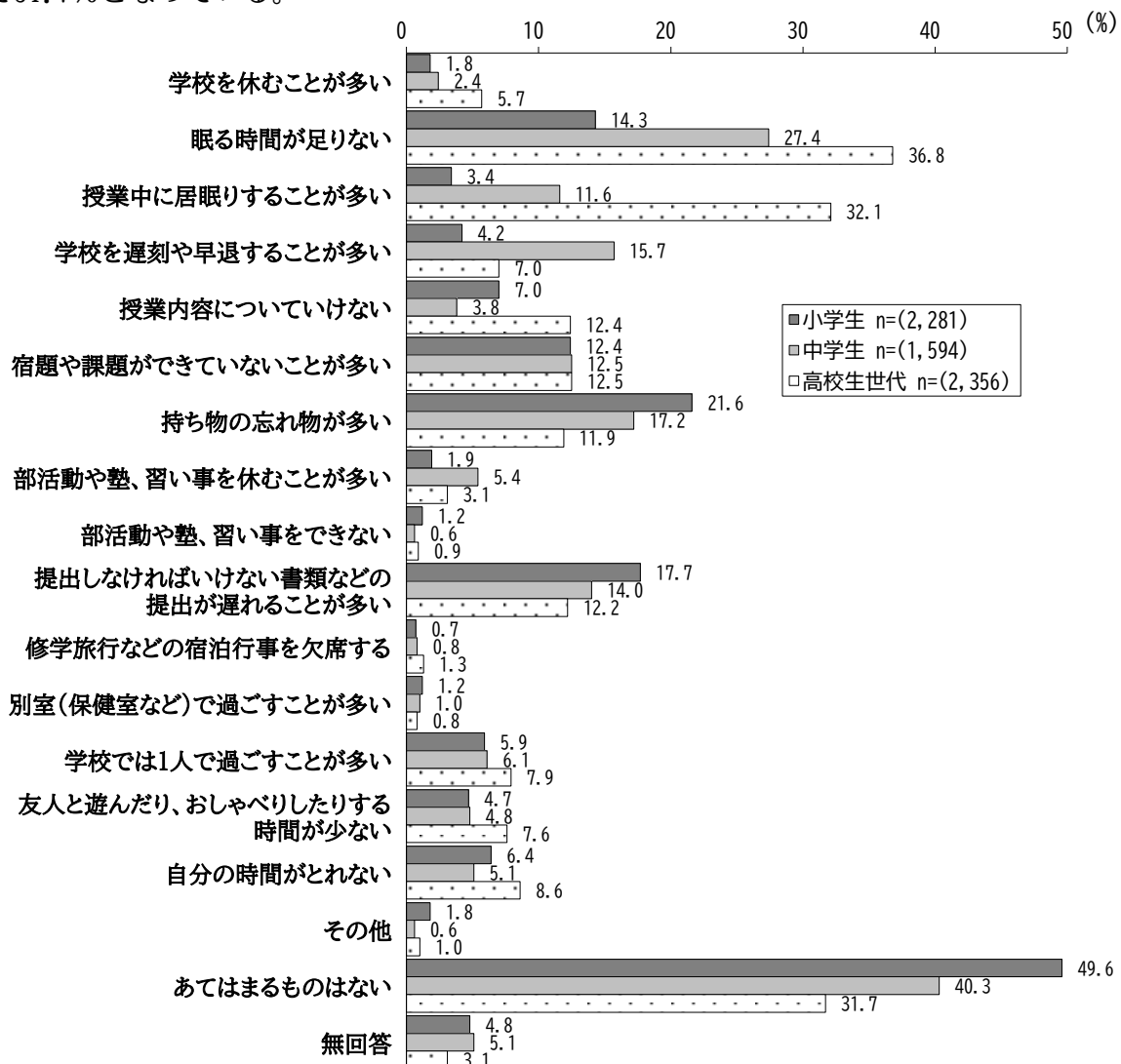
【高校生世代】

「現在の状況」(P.10)で『通学している(通信制高校を含む)』を選択した方のみ

問 ふだんの生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

小学生では、「持ち物の忘れ物が多い」が21.6%で最も多く、次いで、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が17.7%、「眠る時間が足りない」が14.3%となっている。中学生では、「眠る時間が足りない」が27.4%で最も多く、次いで、「持ち物の忘れ物が多い」が17.2%、「学校を遅刻や早退することが多い」が15.7%となっている。高校生世代では、「眠る時間が足りない」が36.8%で最も多く、次いで、「授業中に居眠りすることが多い」が32.1%、「宿題や課題ができていないことが多い」が12.5%、「授業内容についていけない」が12.4%となっている。

一方、「あてはまるものはない」は小学生で49.6%と最も多く、中学生で40.3%、高校生世代で31.7%となっている。



(6) 現在の悩みごとや困りごと

【小学校】

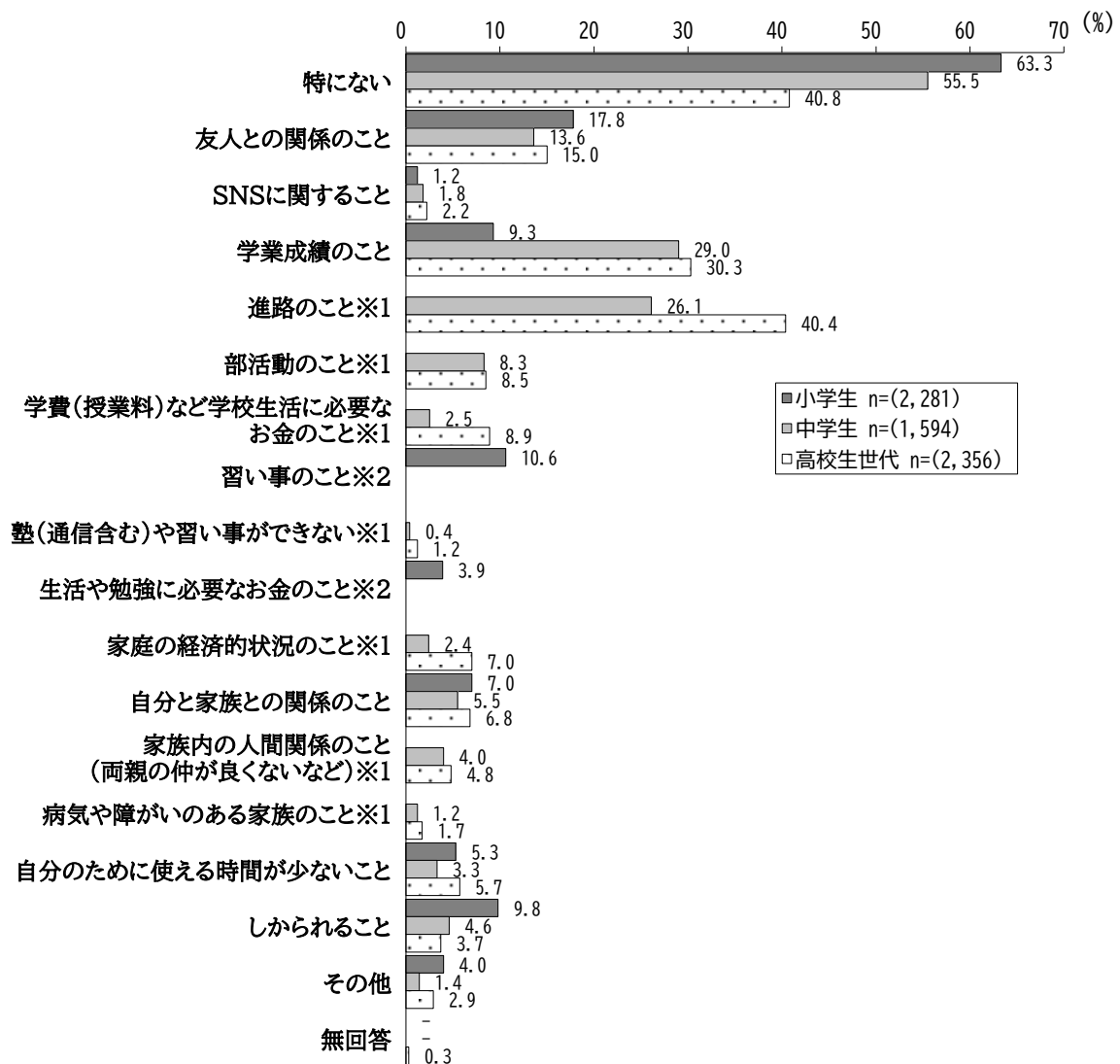
問 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

【中学校・高校生世代】

問 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

小学生では、「友人との関係のこと」が17.8%で最も多く、次いで、「習い事のこと」が10.6%、「しかられること」が9.8%となっている。中学生では、「学業成績のこと」が29.0%で最も多く、次いで、「進路のこと」が26.1%、「友人との関係のこと」が13.6%となっている。高校生世代では、「進路のこと」が40.4%で最も多く、次いで、「学業成績のこと」が30.3%、「友人との関係のこと」が15.0%となっている。

一方、「特にない」は小学生で63.3%と最も多く、中学生で55.5%、高校生世代で40.8%となっている。



※1 中学生・高校生世代のみ調査

※2 小学生のみ調査

(7) 悩みごとや困りごとの話を聞いてくれる人の有無

【小学校】

「現在の悩みごとや困りごと」(P.18)で『2. 友達(ともだち)のこと』～『10. その他』 いずれかを選択した方のみ

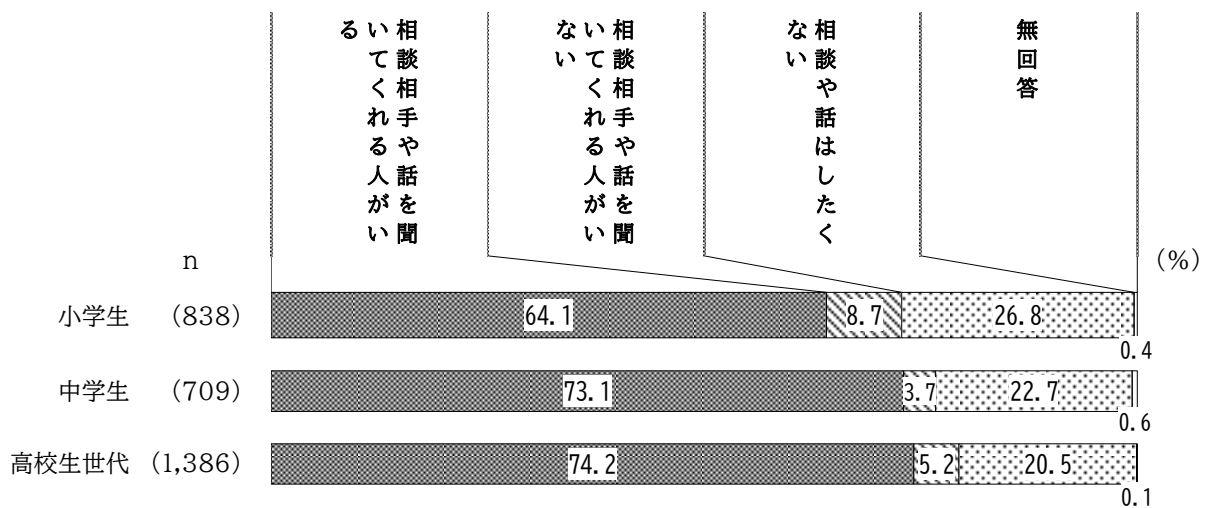
問 回答した悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまるものを1つ回答)

【中学校・高校生世代】

「現在の悩みごとや困りごと」(P.18)で『2. 友人との関係のこと』～『15. その他』 いずれかを選択した方のみ

問 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまるものをすべて回答)

いずれの調査でも、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が最も多く、高校生世代で74.2%、中学生で73.1%、小学生で64.1%となっている。小学生では、「相談や話はしたくない」が26.8%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が8.7%とやや多くなっている。



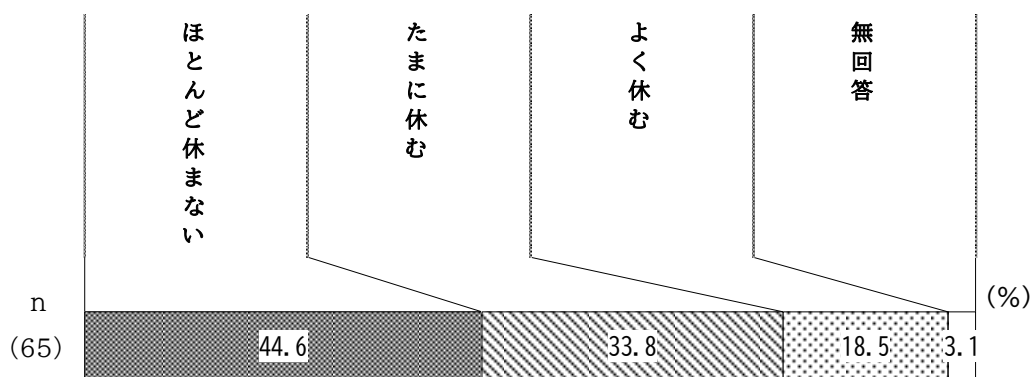
(8) 仕事を休むことの状況

【高校生世代のみ】

「現在の状況」(P.10)で『2.働いている』、『3.通学(通信制高校を含む)しながら働いている』
 ※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』
 いずれかを選択した方のみ

問 仕事や学校を休むことがありますか。(あてはまるものを1つ回答)

「ほとんど休まない」が44.6%で最も多く、「たまに休む」が33.8%、「よく休む」が18.5%となっている。



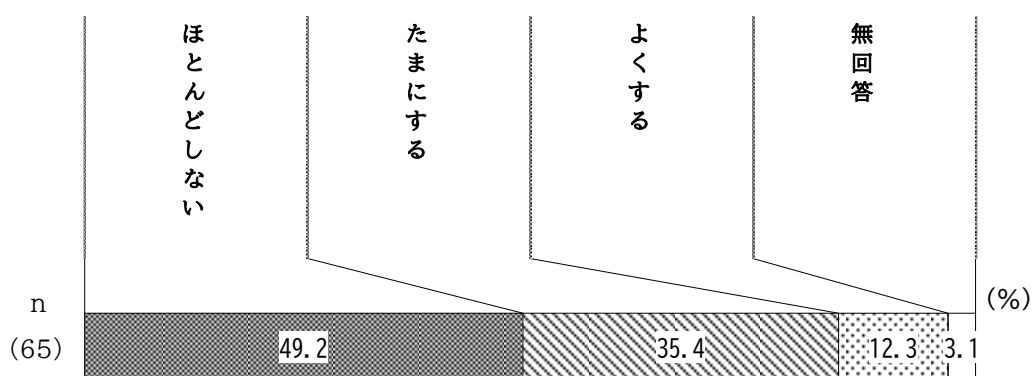
(9) 仕事を遅刻・早退することの状況

【高校生世代のみ】

「現在の状況」(P.10)で『2.働いている』、『3.通学(通信制高校を含む)しながら働いている』
 ※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』
 いずれかを選択した方のみ

問 仕事や学校を遅刻・早退することはありますか。(あてはまるものを1つ回答)

「ほとんどしない」が49.2%で最も多く、「たまにする」が35.4%、「よくする」が12.3%となっている。



(10) ふだんの生活等の状況

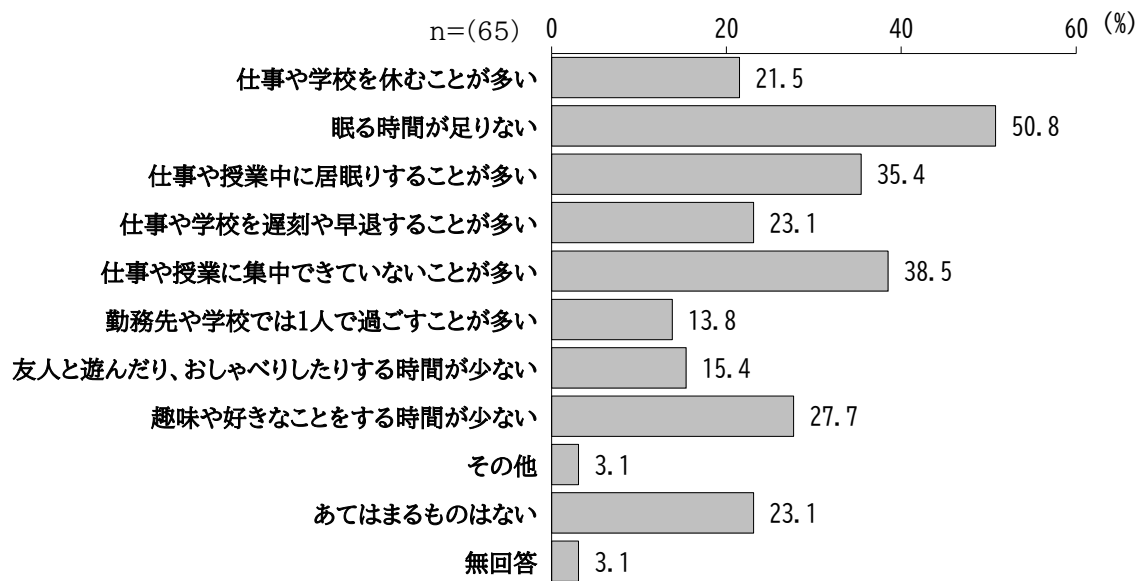
【高校生世代のみ】

「現在の状況」(P.10)で『2.働いている』、『3.通学(通信制高校を含む)しながら働いている』
 ※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』

いずれかを選択した方のみ

問 ふだんの生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

「眠る時間が足りない」が50.8%で最も多く、次いで、「仕事や授業に集中できていないことが多い」が38.5%、「仕事や授業中に居眠りすることが多い」が35.4%、「仕事や学校を遅刻や早退することが多い」が23.1%、「趣味や好きなことをする時間が少ない」が27.7%となっている。



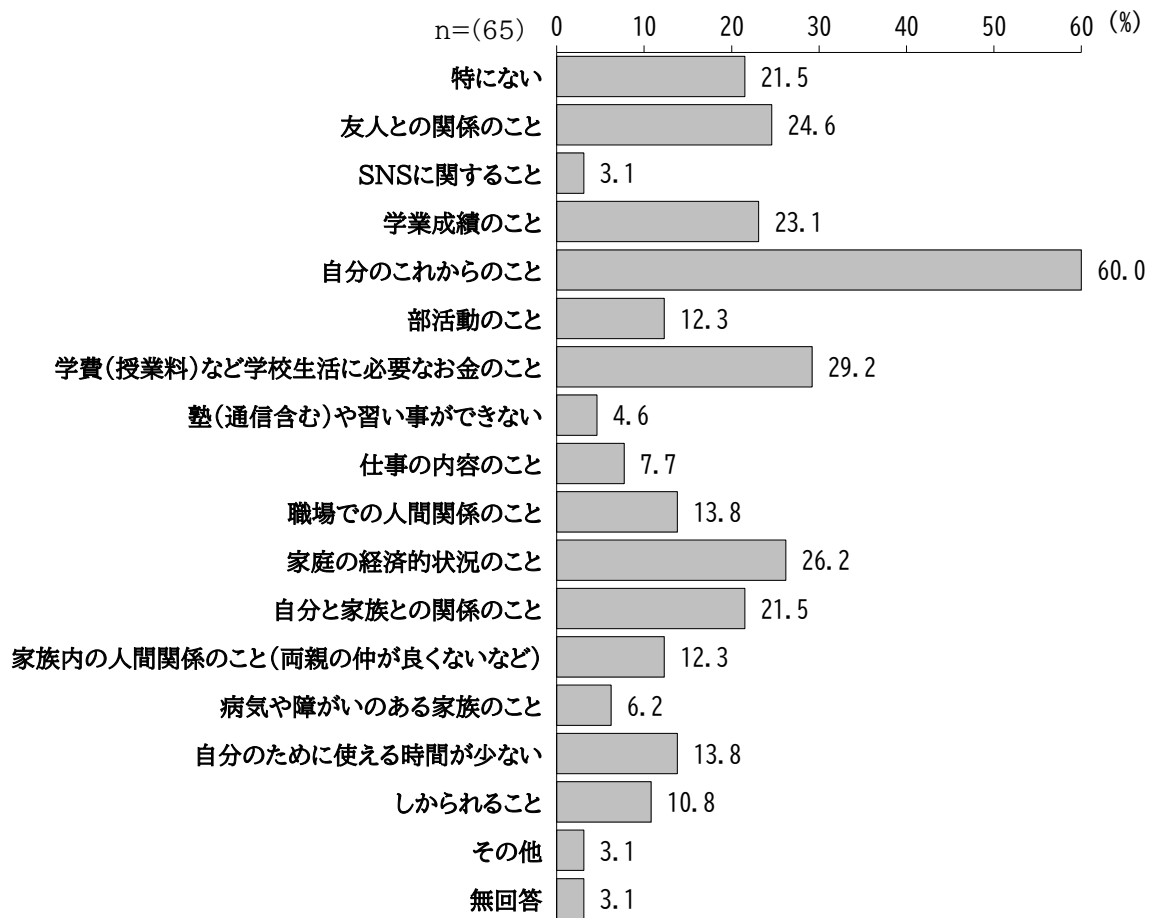
(11) 現在の悩みごとや困りごと

【高校生世代のみ】

「現在の状況」(P.10)で『2.働いている』、『3.通学(通信制高校を含む)しながら働いている
※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』
いずれかを選択した方のみ

問 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

「自分のこれからのこと」が60.0%で最も多く、次いで、「学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと」が29.2%、「家庭の経済的状況のこと」が26.2%となっている。



(12) 悩みごとや困りごとの話を聞いてくれる人の有無

【高校生世代のみ】

「現在の悩みごとや困りごと」(P.22)で『2.友人との関係のこと』～『15.その他』いずれかを選択した方のみ

問 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまるものをすべて回答)

「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が53.1%で最も多い。一方、「相談や話はしたくない」が40.8%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が6.1%となっている。



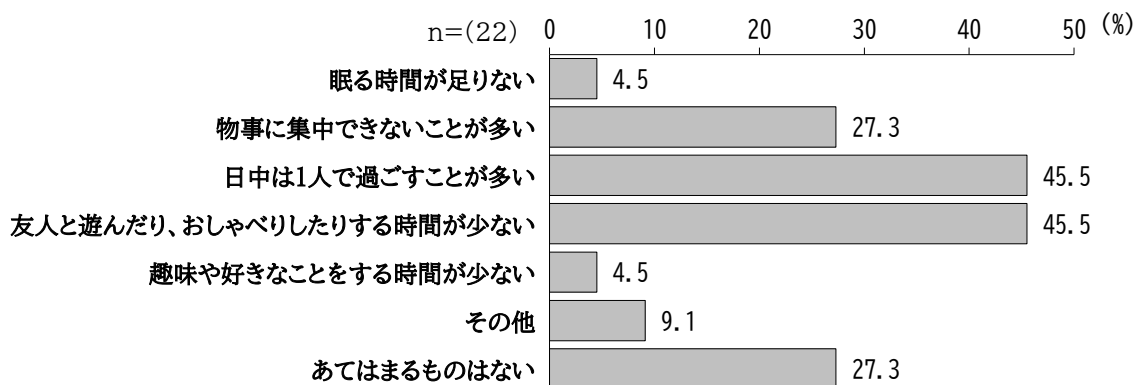
(13) ふだんの生活等の状況

【高校生世代のみ】

「現在の状況」(P.10)で『4.その他』を選択した方のみ

問 ふだんの生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

「日中は1人で過ごすことが多い」と「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」がいずれも45.5%と多くなっている。



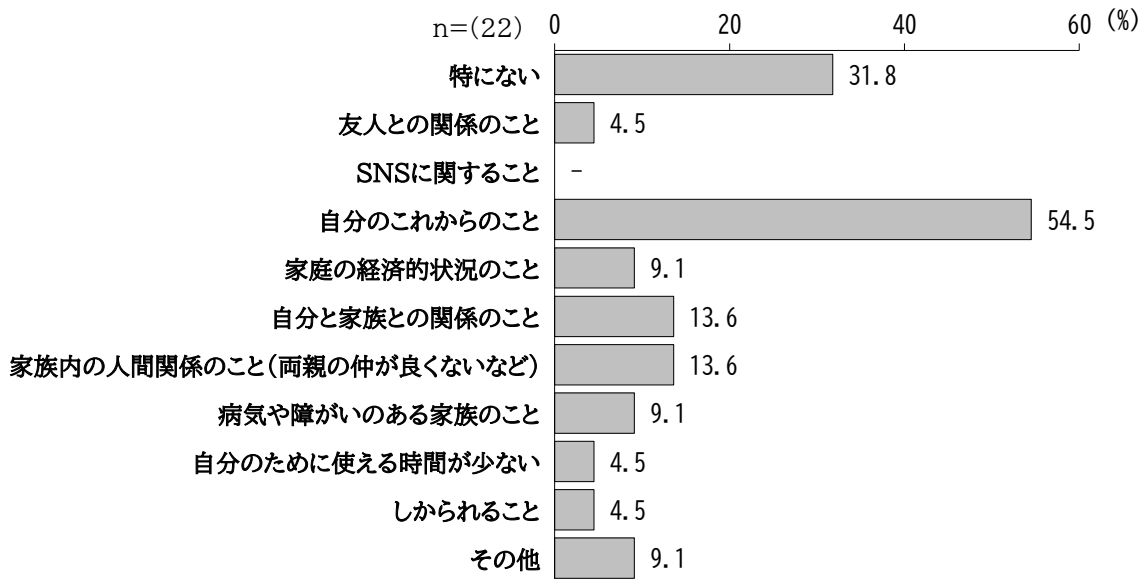
(14) 現在の悩みごとや困りごと

【高校生世代のみ】

「現在の状況」(P.10)で『4. その他』を選択した方のみ

問 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

「自分のこれからのこと」が54.5%で最も多くなっている。一方、「特にない」が31.8%となっている。



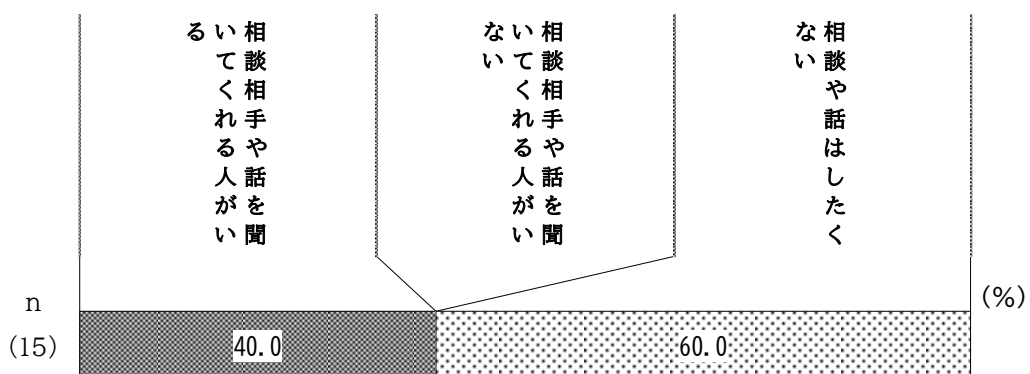
(15) 悩みごとや困りごとの話を聞いてくれる人の有無

【高校生世代のみ】

「現在の悩みごとや困りごと」(P.24)で『2. 友人との関係のこと』～『11. その他』いずれかを選択した方のみ

問 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまるものをすべて回答)

「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が40.0%、「相談や話はしたくない」が60.0%となっている。



3. 家庭や家族のことについて

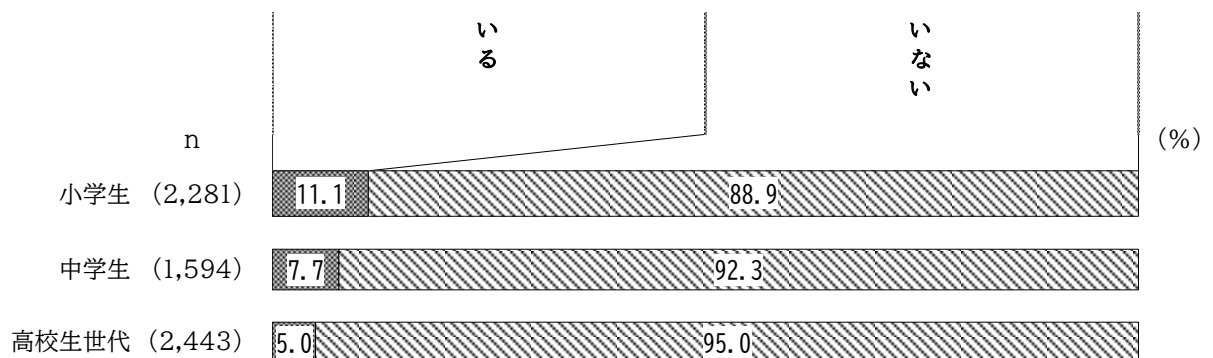
(1) お世話している家族の有無

問 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。)(あてはまるものを1つ回答)

※「お世話」とは次のようなことです。

- ・家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- ・きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- ・着替えやお風呂・トイレの手伝いなど
- ・病院や買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする
- ・長い時間こまりごとを聞いたり、話し相手になったりする
- ・転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- ・通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- ・家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）
- ・薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

「いる」は小学生で11.1%、中学生で7.7%、高校生世代で5.0%となっている。一方、「いない」はいずれの調査でも9割程度となっている。

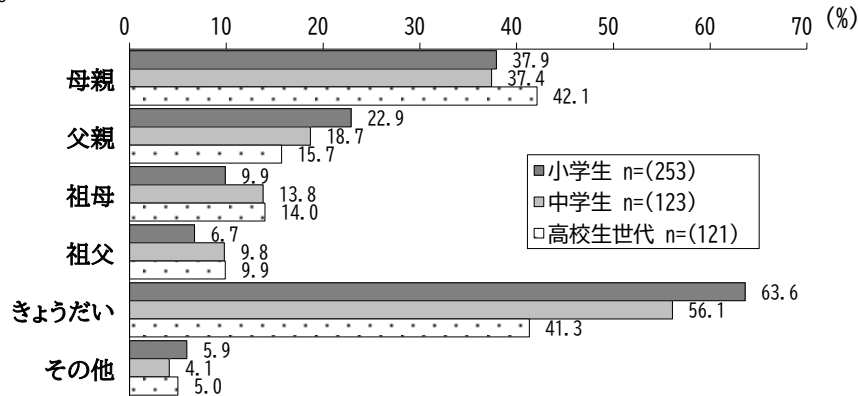


(2) お世話を必要としている人

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 お世話を必要としている方は誰ですか。(あてはまるものをすべて回答)

「きょうだい」は小学生で63.6%、中学生で56.1%と最も多く、高校生世代では「母親」が42.1%、次いで、「きょうだい」が41.3%となっている。「母親」は小学生と中学生でも3割台と多くなっている。



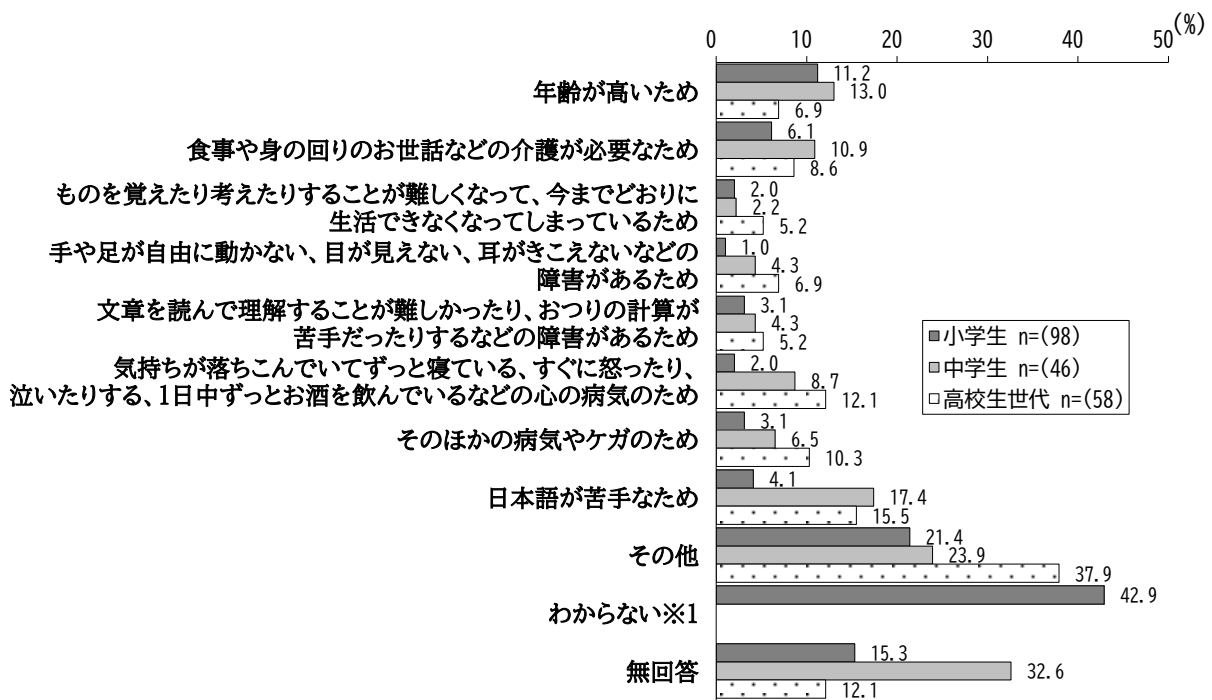
(3) お世話をしている理由 (母親・父親)

「お世話を必要としている人」(P.26)で『1.母親』、『2.父親』いずれかを選択した方のみ

問 母親、父親をお世話している人にお聞きします。

お世話をしている理由はなんですか。(あてはまるものをすべて回答)

小学生では、「わからない」が42.9%で最も多くなっている。中学生では、「日本語が苦手なため」が17.4%、「年齢が高いため」が13.0%となっている。高校生世代で「日本語が苦手なため」が15.5%、「気持ちが落ちこんでいてずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなどの心の病気のため」が12.1%となっている。



※1 小学生のみ調査

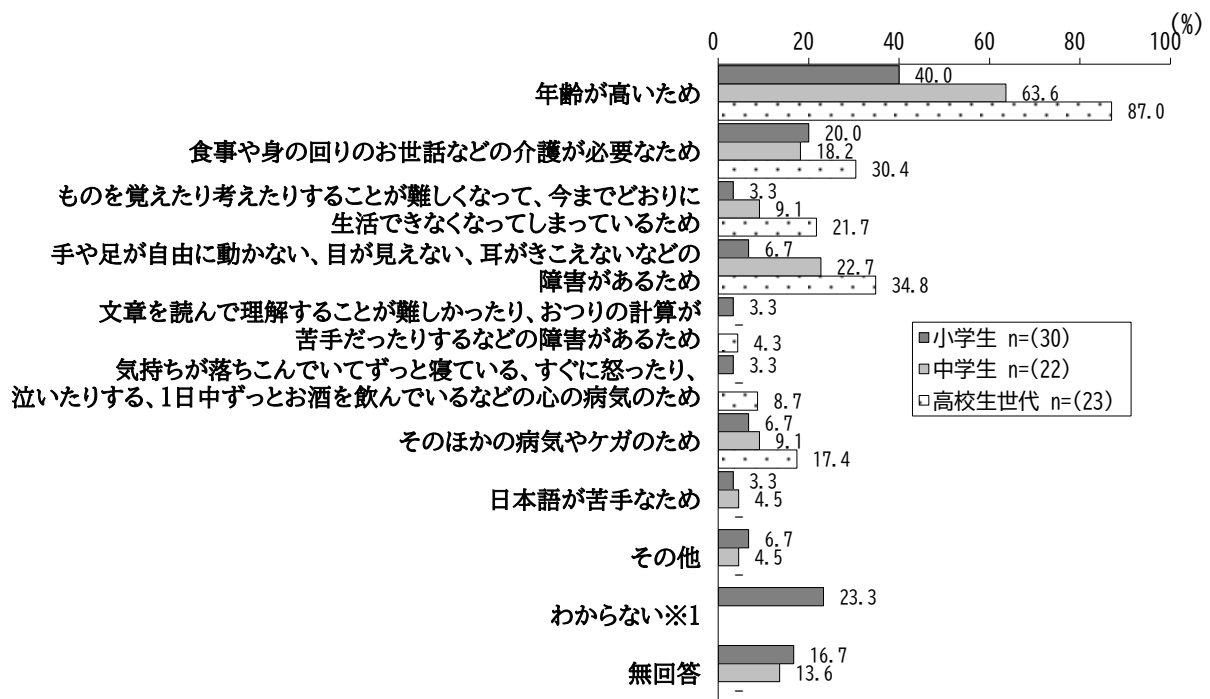
(4) お世話をしている理由 (祖母・祖父)

「お世話を必要としている人」(P.26)で『3. 祖母』、『4. 祖父』 いずれかを選択した方のみ

問 祖母、または祖父をお世話している人にお聞きします。

お世話をしている理由はなんですか。(あてはまるものをすべて回答)

「年齢が高いため」が高校生世代で87.0%、中学生で63.6%、小学生で40.0%と最も多く、高校生世代では「手や足が自由に動かない、目が見えない、耳がきこえないなどの障害があるため」が34.8%、「食事や身の回りのお世話などの介護が必要なため」が30.4%、「ものを覚えたり考えたりすることが難しくなって、今までどおりに生活できなくなってしまうため」が21.7%、「手や足が自由に動かない、目が見えない、耳がきこえないなどの障害があるため」が22.7%、「文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障害があるため」が4.3%、「気持ちが落ちこんでいてずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなどの心の病気のため」が8.7%、「そのほかの病気やケガのため」が17.4%、「日本語が苦手なため」が4.5%、「その他」が4.5%、「わからない※1」が23.3%、「無回答」が16.7%、13.6%とやや多くなっている。



※1 小学生のみ調査

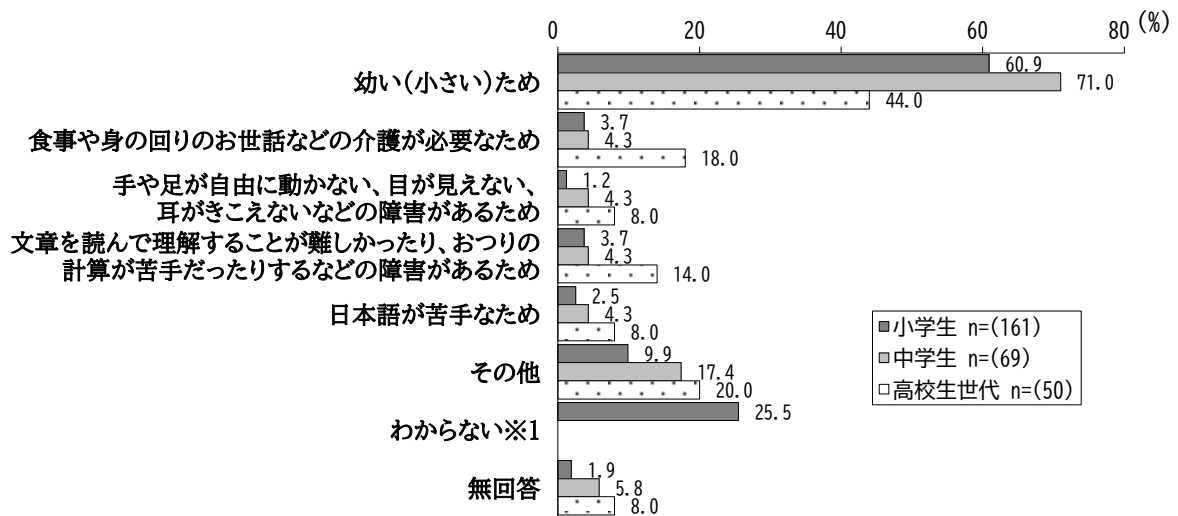
(5) お世話をしている理由 (きょうだい)

「お世話を必要としている人」(P.26)で『5. きょうだい』を選択した方のみ

問 きょうだいをお世話をしている人にお聞きします。

お世話をしている理由はなんですか。(あてはまるものをすべて回答)

「若い(小さい)ため」が中学生で71.0%、小学生で60.9%、高校生世代で44.0%と最も多く、高校生世代では「食事や身の回りのお世話などの介護が必要なため」が18.0%、「文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障害があるため」が14.0%とやや多くなっている。



※1 小学生のみ調査

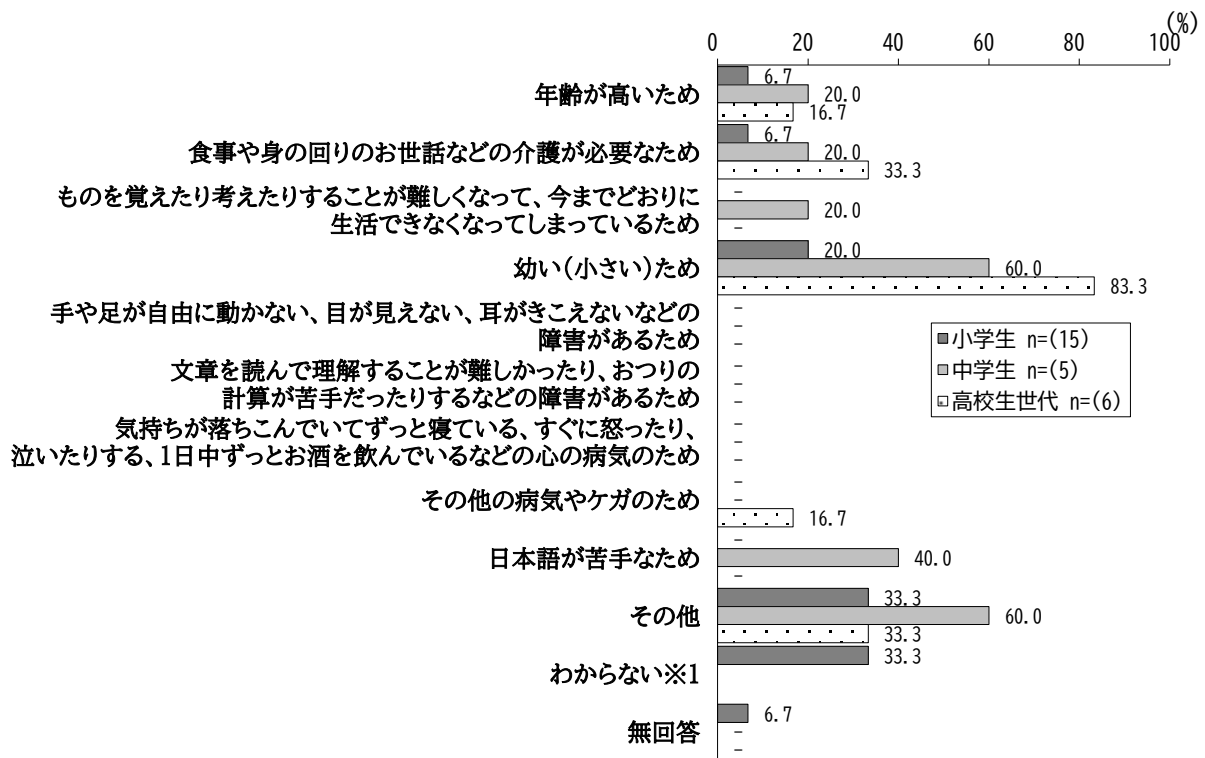
(6) お世話をしている理由（その他）

「お世話を必要としている人」(P.26) で『6. その他』を選択した方のみ

問 「その他」の人をお世話している人にお聞きします。

お世話をしている理由はなんですか。(あてはまるものをすべて回答)

「若い（小さい）ため」が高校生世代で83.3%、中学生で60.0%と多く、高校生世代では「食事や身の回りのお世話などの介護が必要なため」が33.3%とやや多くなっている。



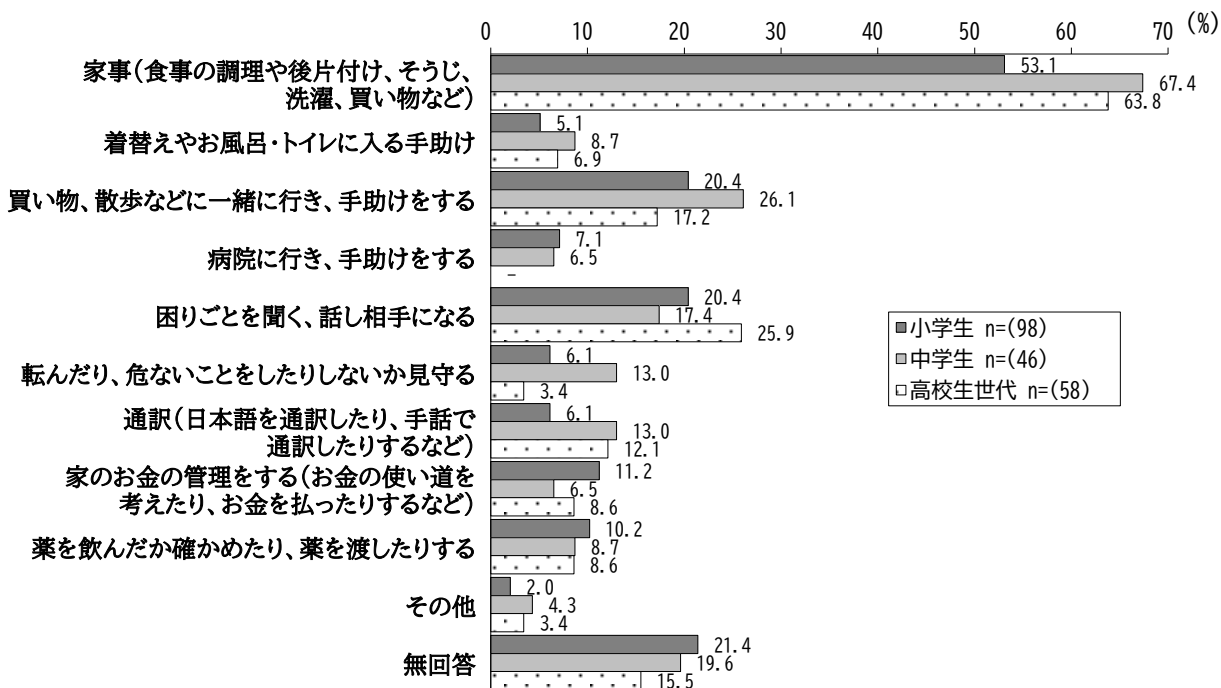
※1 小学生のみ調査

(7) お世話をしている内容 (母親・父親)

「お世話を必要としている人」(P.26)で『1.母親』、『2.父親』 いずれかを選択した方のみ
 問 母親、父親をお世話している人にお聞きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものをすべて回答)

いずれの調査でも「家事(食事の調理や後片づけ、掃除、洗濯、買い物など)」が5割から6割台で最も多く、次いで、「買い物、散歩などと一緒に行き、手助けをする」と「困りごとを聞く、話し相手になる」が2割程度となっている。



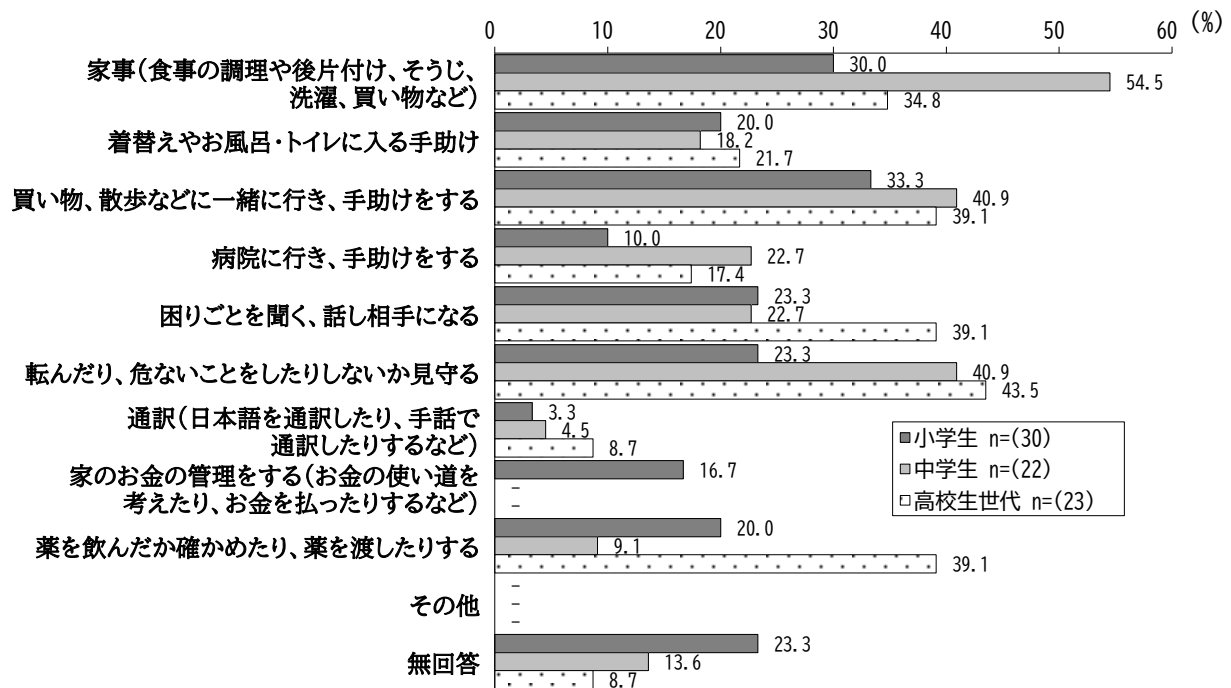
(8) お世話をしている内容 (祖母・祖父)

「お世話を必要としている人」(P.26)で『3. 祖母』、『4. 祖父』 いずれかを選択した方のみ

問 祖母、または祖父をお世話している人にお聞きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものをすべて回答)

小学生では、「買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする」が33.3%で最も多く、次いで、「家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)」が30.0%となっている。中学生では、「家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)」が54.5%で最も多く、次いで、「買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする」と「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」がいずれも40.9%となっている。高校生世代では、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が43.5%で最も多く、「買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする」、「困りごとを聞く、話し相手になる」、「薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする」がいずれも39.1%となっている。



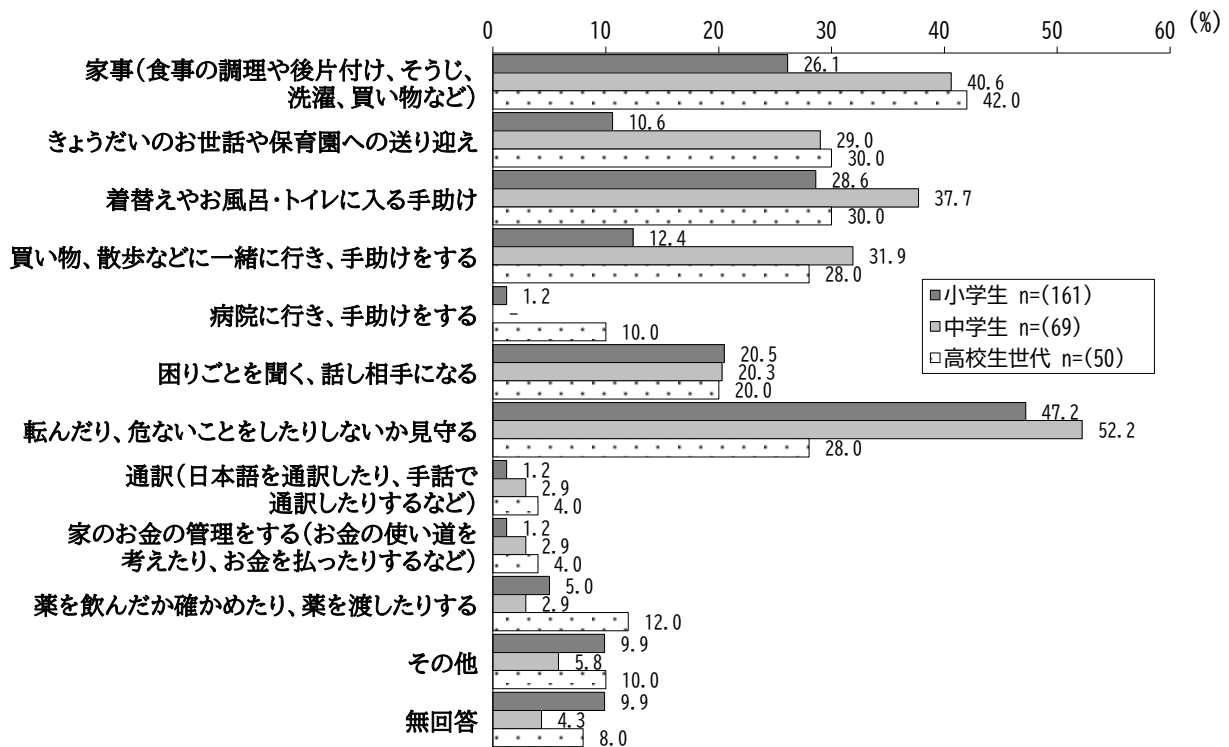
(9) お世話をしている内容 (きょうだい)

「お世話を必要としている人」(P.26) で『5. きょうだい』を選択した方のみ

問 きょうだいをお世話している人にお聞きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものをすべて回答)

「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が中学生で52.2%、小学生で47.2%と最も多くなっている。中学生と高校生世代で「家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)」が4割台、「着替えやお風呂・トイレに入る手助け」が3割台、中学生で「買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする」が31.9%と多くなっている。



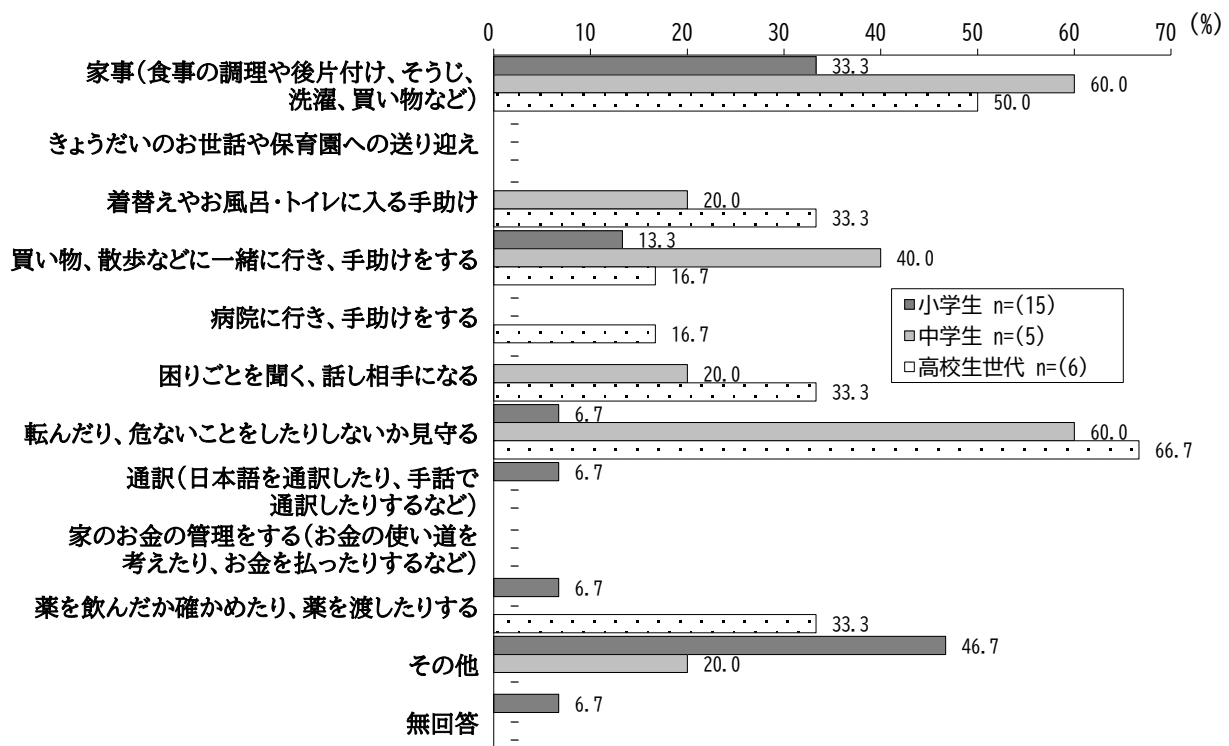
(10) お世話をしている内容 (その他)

「お世話を必要としている人」(P.26)で『6. その他』を選択した方のみ

問 「その他」の人をお世話している人にお聞きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものをすべて回答)

高校生世代では、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が66.7%で最も多く、「家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)」が50.0%となっている。中学生では、「家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)」と「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」がいずれも60.0%、「買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする」が40.0%と多くなっている。

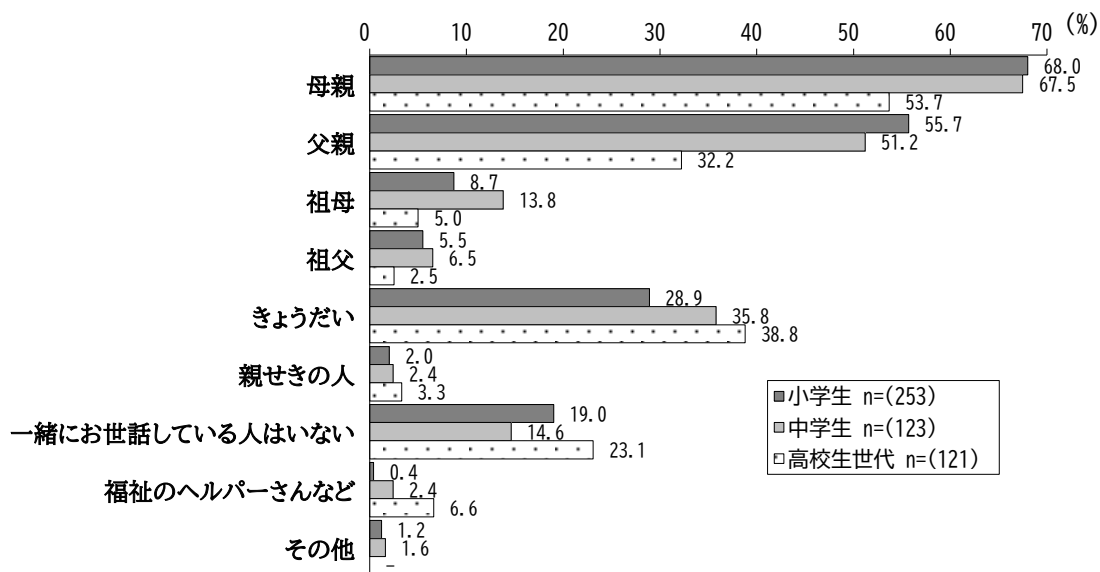


(11) 一緒にお世話をする人

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 あなたはお世話をだれと一緒にしていますか。(あてはまるものをすべて回答)

いずれの調査でも「母親」が5割から6割台で最も多く、「父親」が小学生で55.7%、中学生で51.2%となっている。「きょうだい」が高校生世代で38.8%、中学生で35.8%とやや多くなっている。一方で、「一緒にお世話している人はいない」は高校生世代で23.1%、小学生で19.0%、中学生で14.6%となっている。

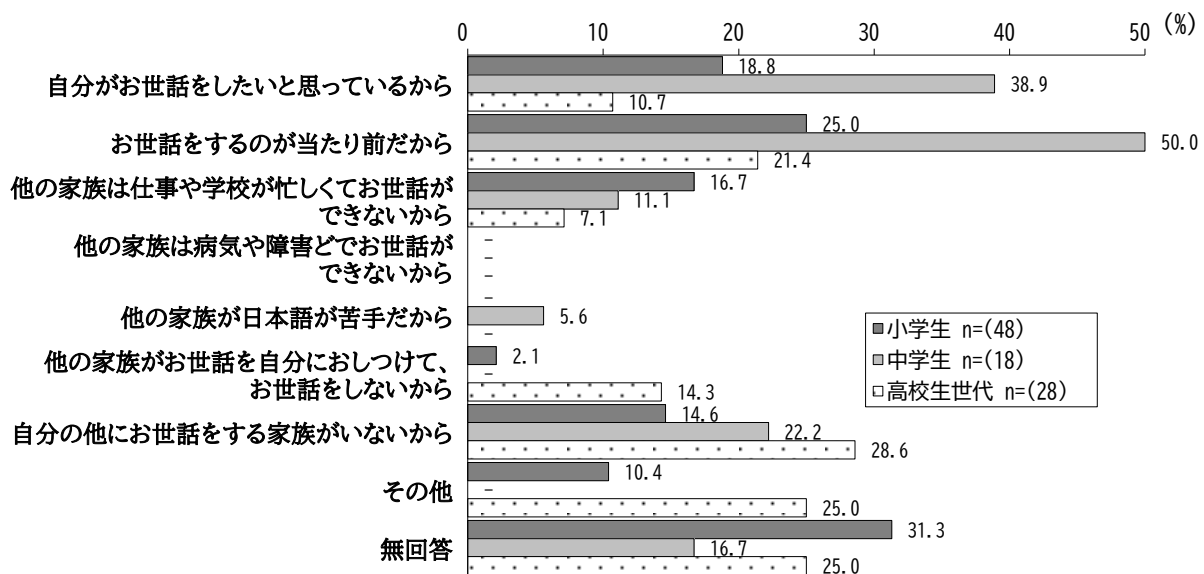


(12) 一緒に住む家族がいても、自分だけでお世話をしている理由

「一緒にお世話をする人」(P.34)で『7. いっしょにお世話をしている人はいない』を選択した方のみ

問 いっしょに住む家族がいても、自分だけでお世話をしている理由を教えてください。(あてはまるものをすべて回答)

小学生では、「お世話をするのが当たり前だから」が25.0%と最も多くなっている。中学生では、「お世話をするのが当たり前だから」が50.0%と最も多く、「自分がお世話をしたいと思っているから」が38.9%となっている。高校生世代では、「自分の他にお世話をする家族がいないから」が28.6%と最も多くなっている。



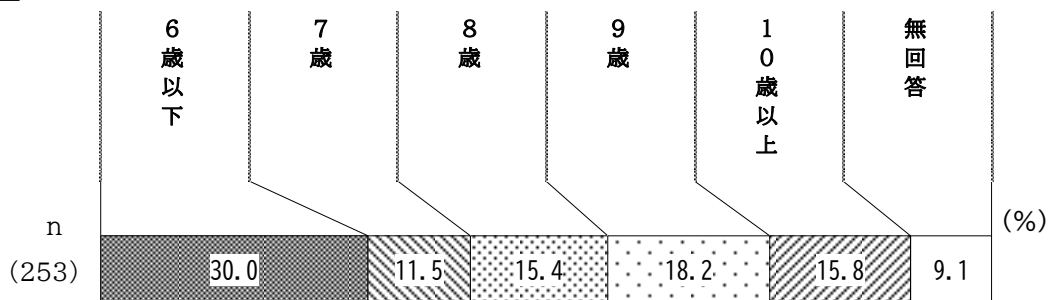
(13) お世話を始めた年齢

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

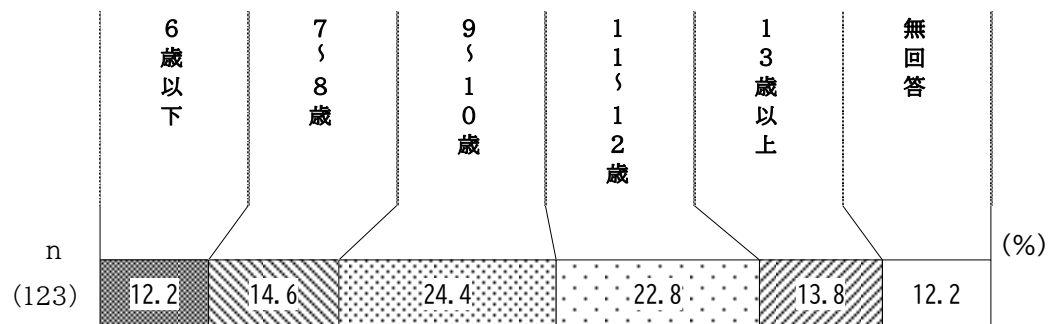
小学生では、「6歳以下」が30.0%で最も多く、次いで、「9歳」が18.2%、「10歳以上」が15.8%となっている。

①小学生



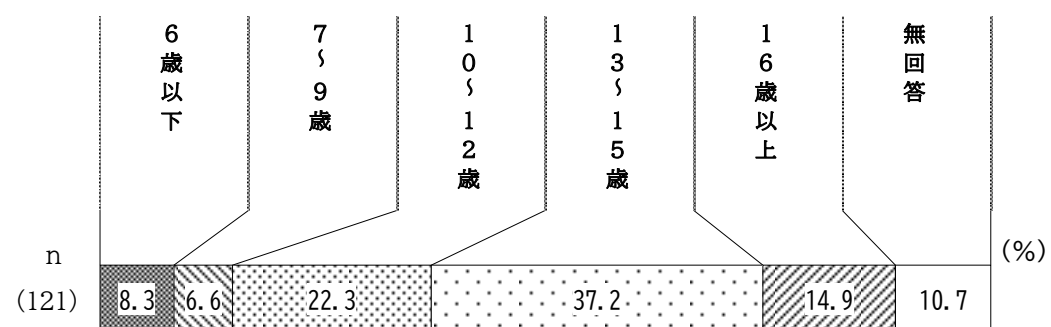
中学生では、「9～10歳」が24.4%で最も多く、次いで、「11～12歳」が22.8%、「7～8歳」が14.6%となっている。

②中学生



高校生世代では、「13～15歳」が37.2%で最も多く、次いで、「10～12歳」が22.3%、「16歳以上」が14.9%となっている。

③高校生世代

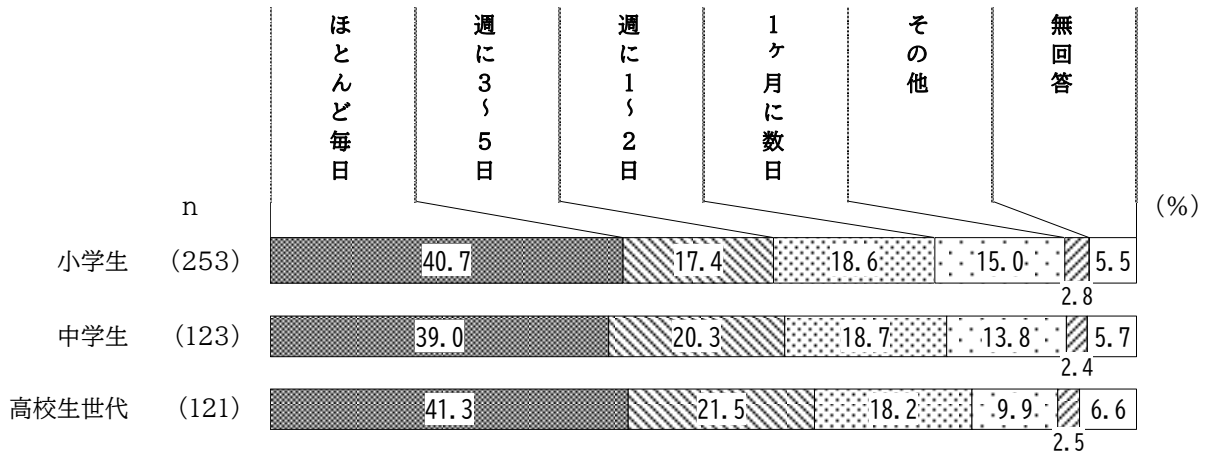


(14) お世話をしている頻度

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

いずれの調査でも、「ほとんど毎日」が3割から4割台と最も多く、次いで、中学生と高校生世代で「週に3～5日」、小学生で「週に1～2日」の順となっている。



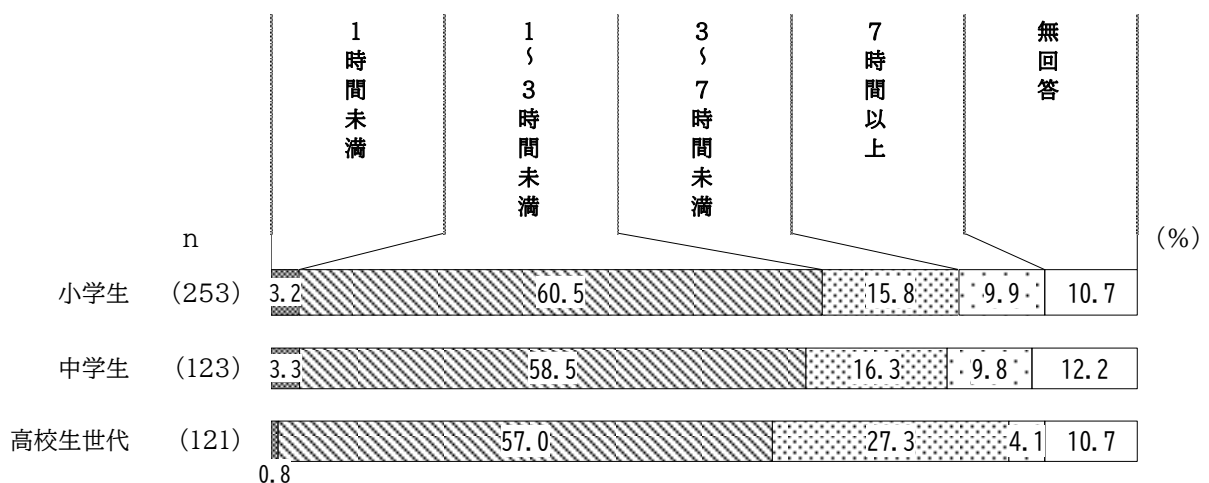
(15) 平日の一日あたりにお世話をする時間

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 あなたは平日にお世話を何時間くらいしていますか。

(日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

いずれの調査でも、「1～3時間未満」が5割から6割台と最も多く、次いで、「3～7時間未満」、「7時間以上」の順となっている。



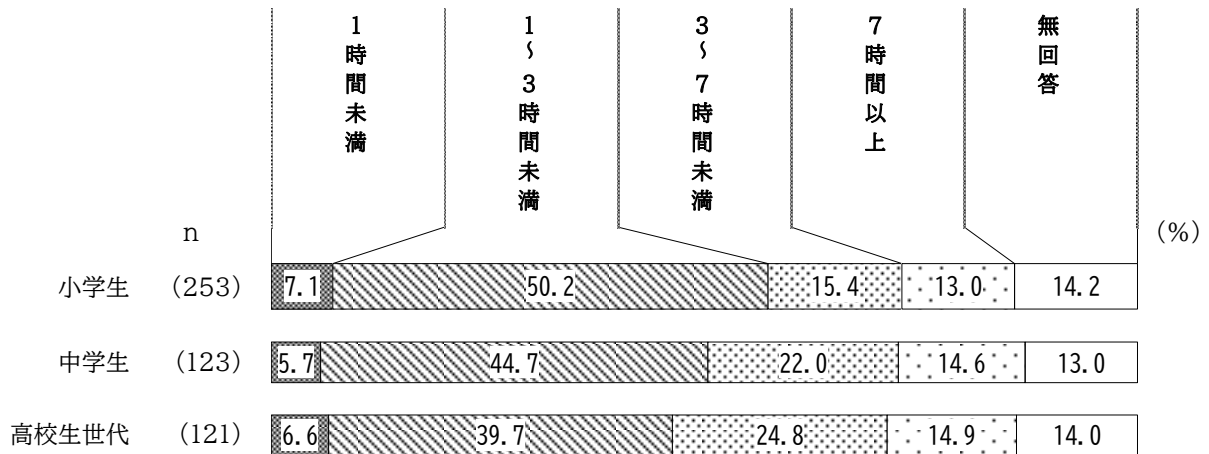
(16) 休日の一日あたりにお世話をする時間

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 あなたは休日に何時間くらいお世話をしていますか。

(日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

「1～3時間未満」が小学生で50.2%、中学生で44.7%、高校生世代で39.7%と最も多く、次いで、「3～7時間未満」が高校生世代で24.8%、中学生で22.0%、小学生で15.4%となっている。

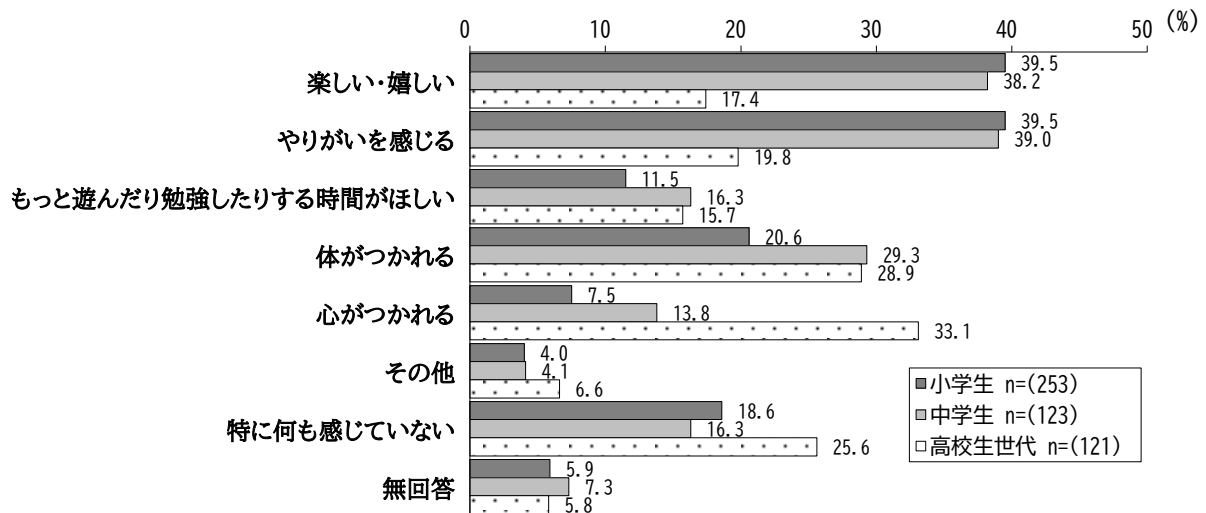


(17) お世話をすることについて感じる事

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。(あてはまるものをすべて回答)

小学生と中学生では、「楽しい・嬉しい」と「やりがいを感じる」がいずれも3割台と多く、高校生世代では「心がつかれる」が33.1%と最も多くなっている。「体がつかれる」は中学生で29.3%、高校生世代で28.9%と多くなっている。

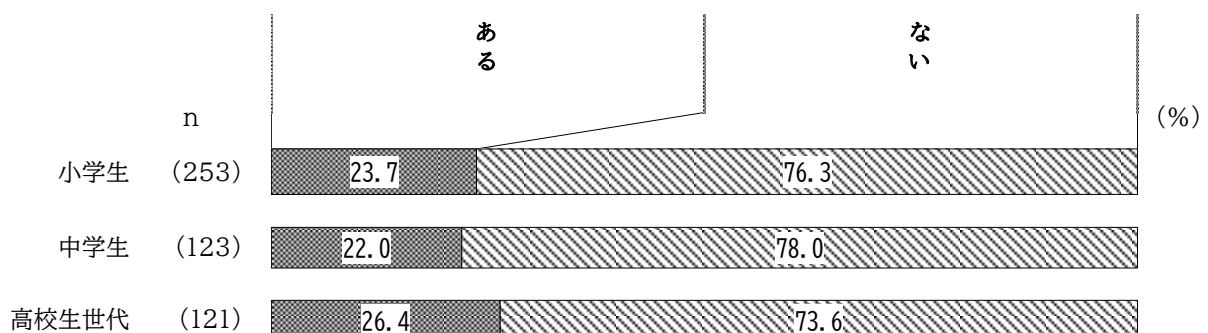


(18) お世話の悩みを相談した有無

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまるものを1つ回答)

「ある」は高校生世代で26.4%、小学生で23.7%、中学生で22.0%となっている。一方、「ない」はいずれの調査でも7割台となっている。

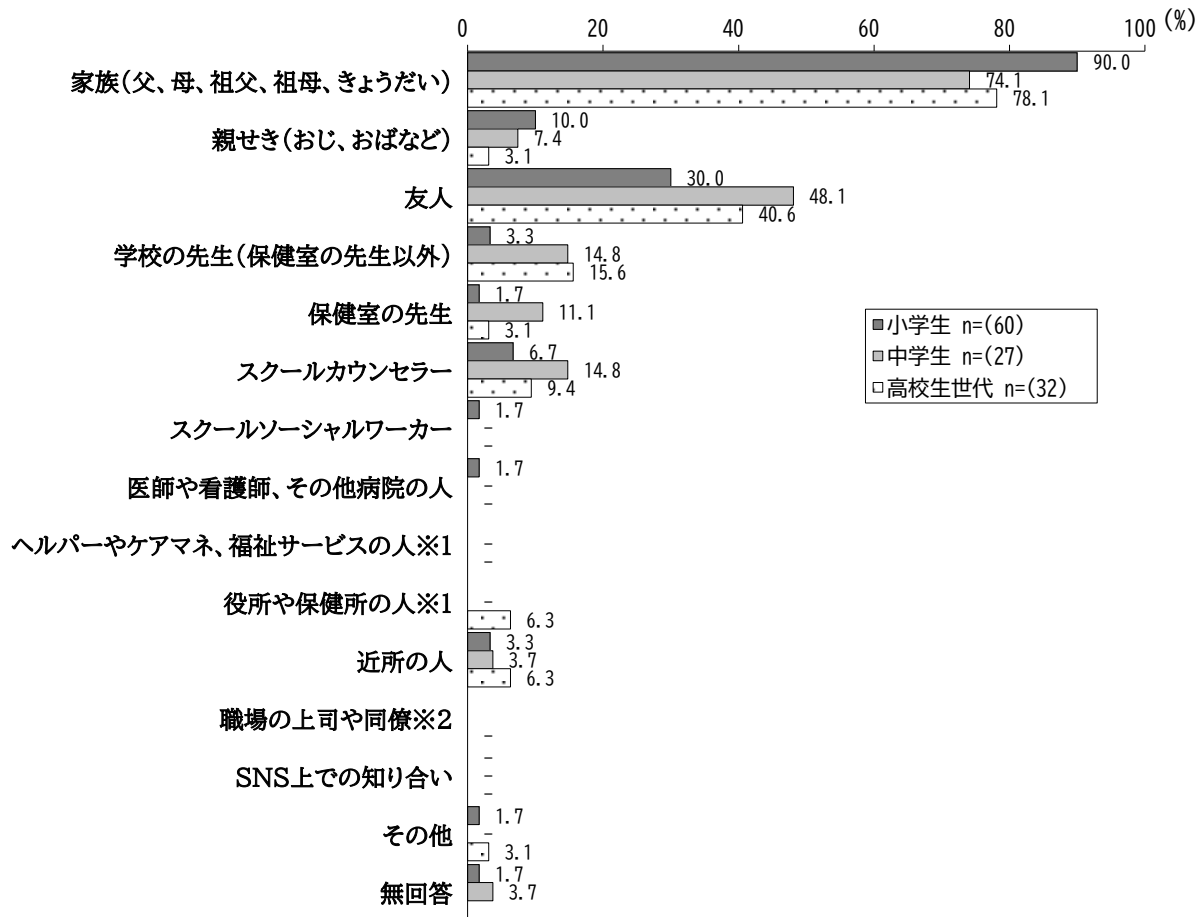


(19) お世話の悩みを相談する相手

「お世話の悩みを相談した有無」(P. 39)で『1. ある』を選択した方のみ

問 「お世話の悩みを相談した有無」で「ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまるものをすべて回答)

「家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)」が小学生で90.0%、高校生世代で78.1%、中学生で74.1%と最も多く、次いで、「友人」が中学生で48.1%、高校生世代で40.6%、小学生で30.0%となっている。



※1 中学生・高校生世代のみ調査

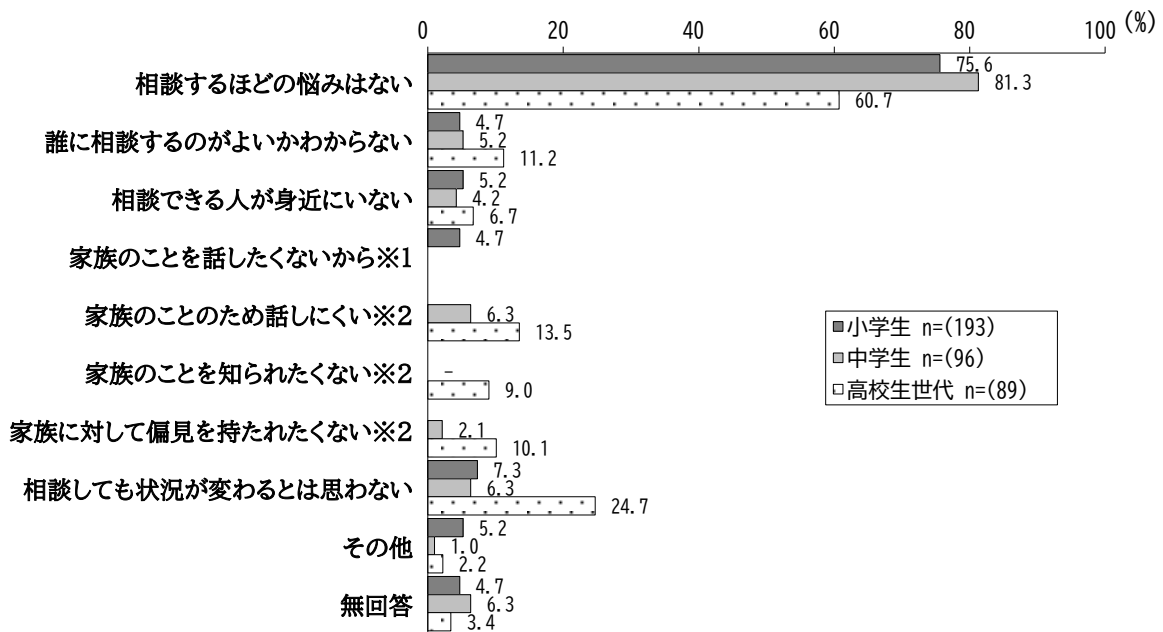
※2 高校生世代のみ調査

(20) お世話の悩みを相談していない理由

「お世話の悩みを相談した有無」(P.39)で『2.ない』を選択した方のみ

問 「お世話の悩みを相談した有無」で「ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(あてはまるものをすべて回答)

「相談するほどの悩みはない」が中学校で81.3%、小学生で75.6%、高校生世代で60.7%と最も多くなっている。高校生世代では、次いで、「相談しても状況が変わるとは思わない」が24.7%、「家族のここのため話しにくい」が13.5%、「誰に相談するのがよいかわからない」が11.2%とやや多くなっている。



※1 小学生のみ調査

※2 中学生・高校生世代のみ調査

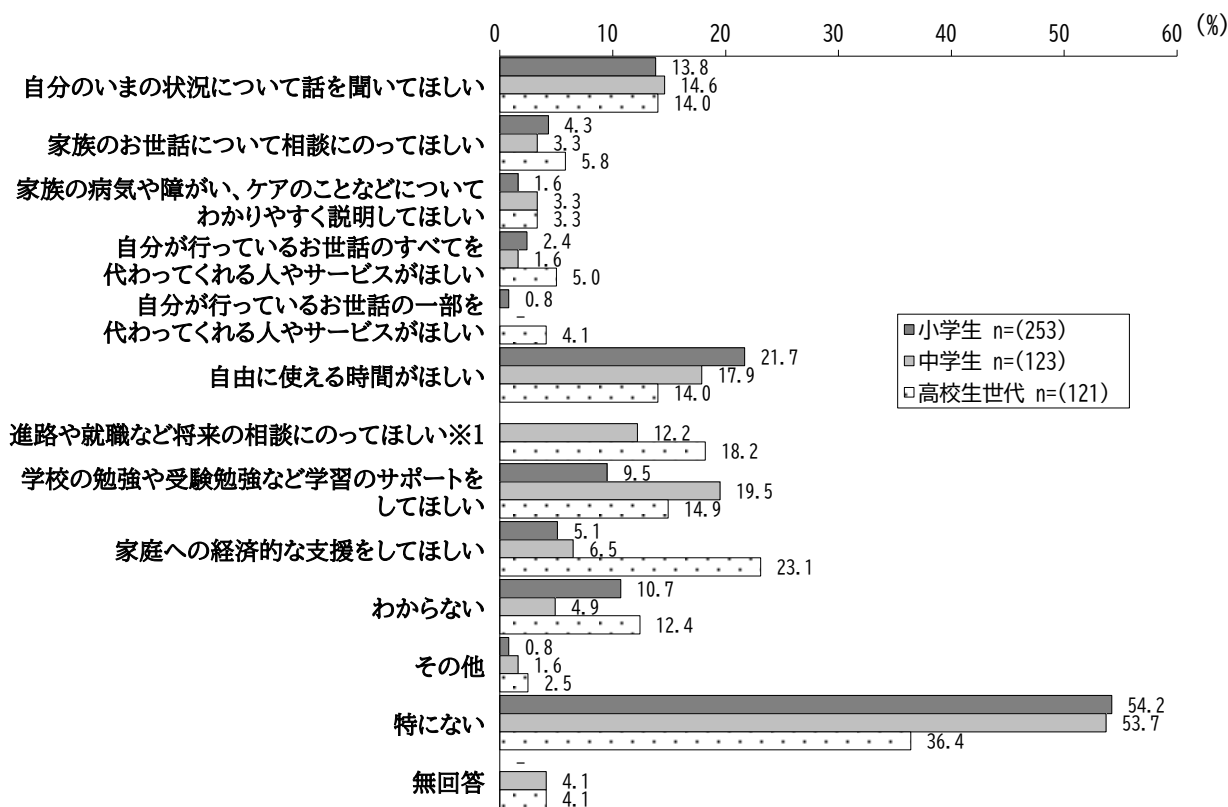
(21) 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまるものをすべて回答)

小学生では、「自由に使える時間がほしい」が21.7%で最も多く、次いで、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」が13.8%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」が9.5%となっている。中学生では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」が19.5%で最も多く、次いで、「自由に使える時間がほしい」が17.9%、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」が14.6%となっている。高校生世代では、「家庭への経済的な支援をしてほしい」が23.1%で最も多く、次いで、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が18.2%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」が14.9%となっている。

一方、「特にない」は小学生で54.2%、中学生で53.7%、高校生世代で36.4%と最も多くなっている。



※1 中学生・高校生世代のみ調査

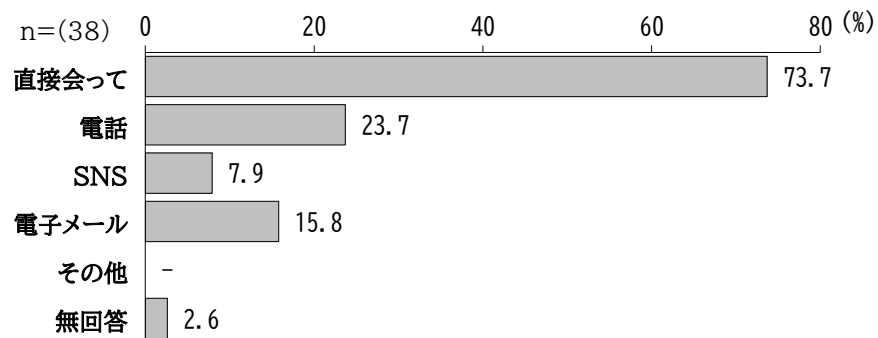
(22) 話を聞いたり相談にのったりで望む方法

【小学校のみ】

「話を聞いたり相談にのったりで望む方法」(P. 42)で『『1. 自分のことについて話を聞いてほしい』、『2. 家族のお世話について相談にのってほしい』 いずれかを選択した方のみ

問 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまるものをすべて回答)

「直接会って」が73.7%で最も多く、次いで、「電話」が23.7%、「電子メール」が15.8%となっている。

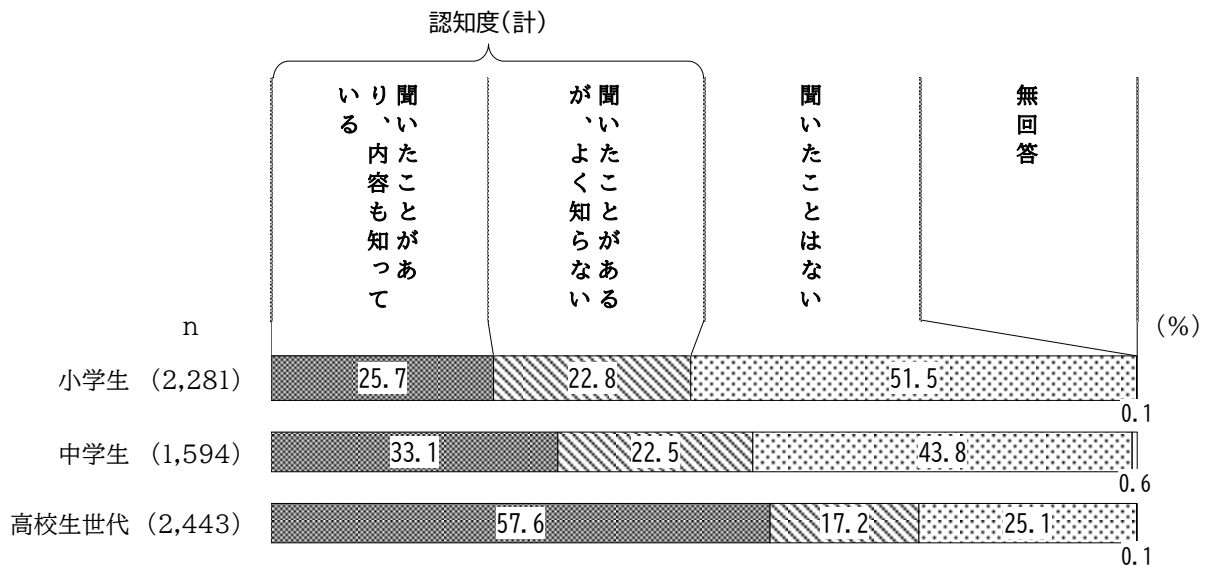


4. ヤングケアラーについて

(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知

問 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまるものを1つ回答)

「聞いたことがあります、内容も知っている」が高校生世代で57.6%を占めており、『認知度(計)』(「聞いたことがあります、内容も知っている」+「聞いたことがあるが、よく知らない」)が高校生世代で74.8%、中学生で55.6%、小学生で48.5%となっている。一方、「聞いたことがない」が小学生で51.5%と多くなっている。

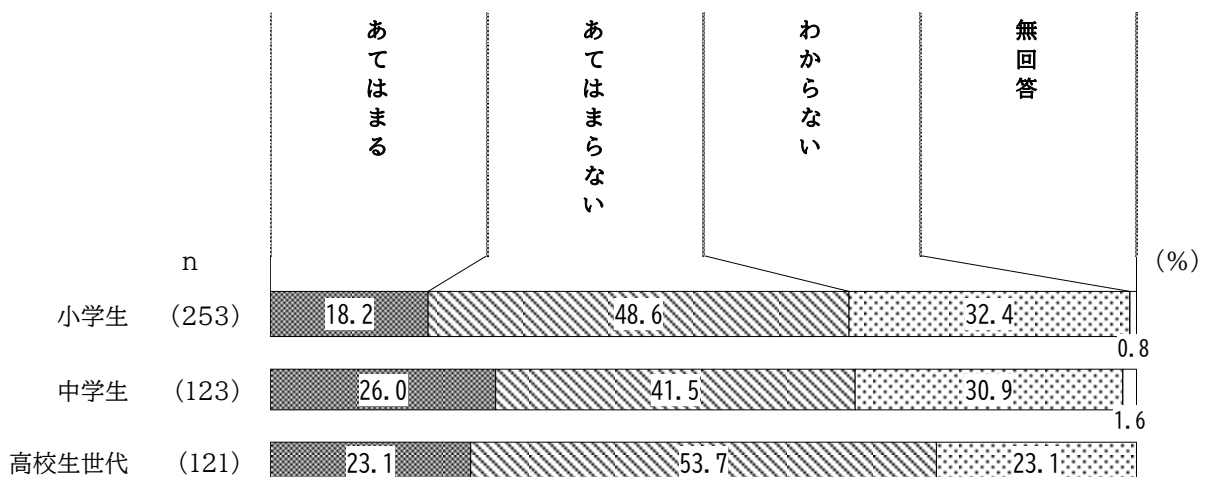


(2) 自身が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか

「お世話している家族の有無」(P.25)で『1.いる』を選択した方のみ

問 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(あてはまるものを1つ回答)

「あてはまる」が中学生で26.0%、高校生世代で23.1%、小学生で18.2%となっている。一方、いずれの調査でも、「あてはまらない」が4割から5割台と最も多くなっている。



(3) 家族のお世話をしているこどものために必要なこと、大人にしてもらいたいこと

問 家族のお世話をしているこどものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。

(例：相談したいけど相談できない、誰にも見られない場所で悩みや話を聞いてほしいなど)

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋し、原文を基本としつつ、一部編集の上、掲載している。

○小学生

自分の時間
料理をしなければならないけど、正直やりたくない。遊びや習い事の時間を増やしたい。家に一人の時間が多くて、親には言えないけど寂しい。
相談
相談したいけどできない。
誰にも分からない場所、状態で、話を聞いてほしい。
支援
大人がもっと助けて子供に時間を与えてほしい。
障害がある人を世話をしている人を助けてあげてほしい。
偏見への対応
障害がある人を大人は嫌な目で見ないで、偏見したりしないでほしい。
その他
習い事を見に来て欲しい(親に)。
親が話を聞いてくれないことがある。
「もうちょっと自分の気持ち考えて欲しい」って思うときがある。
もっとほめてもらいたい。
お手伝いをたくさんしているから、もう少しお金を増やして欲しい。
友達に相談するけど他の人に行ってしまう。・困っているとき、助けてくれない。
なにか注意をしてもきいてくれない。
お世話と言ってもいうほどではない。

○中学生

自分の時間
家族のお世話をしている子供には、自分だけの時間や休める時間、自由な時間が必要だと思う。
息抜きで自分の時間を作った方がいい。
家族のお世話をしている子供に自分自身が休むことを大切にしてほしい。理由は自分が休まないと相手のお世話をする力が出なくなるから。学校や周りの大人にしてほしいことは困っている人がいた場合、その人を助けてあげてください。
居場所
ひとりで過ごせるスペースがあるといいと思う

第2章 調査結果の詳細

相談
相談したいけど、相談をする勇気がない。
誰にも話さないで話を聞いてほしい。
思いやりを持って接する。満足感や達成感などを得る機会を与える。できるようになったことをほめる。
少し元気がないとか、顔が暗いとか、少しでもいつもとへんかがあったら、気にかけてあげてほしい。その変化を誰にも分かれなく明るく振る舞うこともあるから、子ども一人一人、しっかり見ていてほしい。気づいたら、カウンセリングをおすすめして、どれだけここがあんしんかを伝えて、ゆっくり話を聞いて欲しいです。
気軽に相談できるような所を設ける（作る）。
相談室を多く設ける。
家族のお世話をしている子供についてどう思うかなどのアンケートを取り、今、家族のお世話をしている困っていることや悩みはありますか。などの質問で“ある”と解答している人を1人ずつ相談室などに呼び出しをして、どんな悩みや困っていることがあるか、どんなお世話をしているか、などを聞いたら相手も悩みや困っていることなどを話してくれるのではないのかと思ったので、1対1で話ができる相談室などの個室とアンケートがあったら、家族のお世話をしている困っていること、悩みを話しやすいのではないかと考えました。
ヤングケアラー専用のコールセンターを設ける。
支援
これに関しては仕方がないことだと思うから、たまに特別な休日みたいなのをプレゼントしたり、障害者手帳で安くなるみたいな感じのヤングケアラーバージョンもあればいいなと思った。
家族のお世話をしている人に負担がかからないような支援をした方がいいと思います。介護するにも申請を出さなければいけないのは少し大変だと思います。なので、定期的に調べてなにかを支援することでいち早く気づいてあげることができ家族をお世話をしている人の悩みが少しでも減るといいなと思います。
きょうだいが通う特別支援学校の親の学校付き添いをなくしてあげてほしい。
支援金を配布してヘルパーさんなどに助けて貰う。
支援や募金をする。
その他
自分がお世話しないとお父さんお母さん困る。
私はないけど私のクラスに学校に来てない、ヤングケアラーの子がいるからそういう子に、ちょっとでも手助けできるようになればすごい自分自身も嬉しいし向こうの気持ちも軽くなると思う。
今のままでいい。

○高校生世代

居場所
安心できる居場所を増やして欲しいです。また、お世話をしている人にとっては、それが普通で、自分の日常が周りとは違うことに気づかないと思います。なので、周りの大人が教えてあげてほしいです。
心の余裕、自分を休められる場所があってほしい。
僕は友人に「ひょっとしたら君は普通じゃないかもしれないよ」と言われて自分の状況を客観視すること

<p>ができたけど、殆どの人は自分のやっていることが当たり前かどうか知ることが、気づくことができない。家庭にだけ、学校にだけと、なにか一つに依存することを防ぐような環境を作るべきだと思う。自分がどんな状況にあるのかを個人で考えられるようにするべきだと思う。</p>
<p>安心できる居場所を増やして欲しいです。また、お世話をしている人にとっては、それが普通で、自分の日常が周りと違うことに気づかないと思います。なので、周りの大人が教えてあげてほしいです。</p>
<p>小学校中学校でみんな普通の家庭環境にあることが当たり前のように行事や課題があり、困ったり寂しさを感じるがあった。誰かに甘えられる環境にない人もいるので甘えられる場所が必要だと思う。</p>
<p>そういう親や子供などを集めて悩みや相談したい事などを情報交換するような場所を作った方が良いと思う。</p>
<p>相談</p>
<p>気軽に相談できる環境。</p>
<p>しんどくなったりしたときの駆け込み寺が必要。選択肢があるだけでかなり楽になる。</p>
<p>私はヤングケアラーについて授業内で話し合いました。やはり、この事実はあってはいけないことだとは思いますが現実とは違って、困っていても中々人に言えない事が多いのでは無いのかなと思いました。抱えている本人の周りにはなかなかヤングケアラーについて理解出来ている人と、出来ていない人がいる中で言うというのは大きな決断だと思っています。そこで私は、相談出来る場所（学校のスクールカウンセラーやLINE相談など）やヤングケアラーについての講習会などを開くことによって、身近な人にもこういう悩みを抱えているのだと誰かひとりでも多くの人に刺さるようにしていけば良いと思います。</p>
<p>LINEやTwitterでの相談。</p>
<p>支援センターの人は毎回電話で元気か聞いてるけど訪問して実際顔を見て欲しい。</p>
<p>定期的に訪問してヤングケアラーの心身の健康状態を確認する。</p>
<p>時間がない、余裕がない、相談しても変わるとは思わない。</p>
<p>支援</p>
<p>十分な休養と学習の時間を取れるように、何かしらの手伝いができるボランティアのような存在が必要だと思う。</p>
<p>その子供の実態を、よく細かく調査して確認し、子供が何を望んでいるのかをよく知ること。きっと自分の時間が取れない、お世話によって心と身体が疲れるなどの悩みがあると思うので一緒に仕事を分担するようなお手伝いをボランティアなどで集う。お世話するといっても簡単なことではないと思うので、交代交代で仕事を行うといいと思う。</p>
<p>サポーターの方などが週に1回でも良いので自分の代わりに家族の話を聞いてあげるなどメンタルサポートをしてほしい。介護だけがサポートではなくメンタルケアとサポートの一環としてメンタルケアの福祉をもっと充実させてほしい。そして家族の病気に関してもっと正しい知識を理解できるように説明してほしい。そして勉強時間を確保する為に夜に誰でも勉強ができる施設を作って欲しい。</p>
<p>自分の代わりになるサービスがほしい。毎回でなくても、試験前や休日、両親が働いている夜など、時々代わってほしいと思う。</p>
<p>毎日ではなくても、政府からヘルパーを派遣するなど、自由に過ごせる時間を提供する。</p>
<p>その家庭に寄り添ったサービスをしてほしいです。</p>
<p>高齢者の介護施設を沢山作る。</p>
<p>障がいを持つ人が暮らしやすい環境作り。</p>

第2章 調査結果の詳細

ヤングケアラーが生まれない程度の支援、デイサービス等を利用出来る程度の金銭的支援。
義務教育明けの学費負担を軽減して欲しいです。
支援金を送るなど。
偏見への対応
ヤングケアラーだからと言って家族に対して偏見を持たれたくない。
偏見を持ってみないで欲しい。
その他
生活について、いろいろ質問ありがとうございます。今まで生活できているけどこれからどうなるかわからないです。まずはがんばるほどがんばります。

(4) 学校生活や日常生活で相談したいこと、区の相談窓口に行きやすくなること

問 ふだんの学校生活や日常生活のことで相談したいことや、こうしたら区の相談窓口に行きやすくなることなどがあれば自由に書いてください。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋し、原文を基本としつつ、一部編集の上、掲載している。

○小学生

自分自身のこと
どうやったら頭が良くなるのか。
習い事でちゃんと出来ているか不安です。どうすれば自信を持てますか？
自分の悪い癖を直したいけど直せない！！
人を心配させたくない。泣くのが怖い。嫌でも嫌と言えない。人を好きになれない。怖い。私が、嘘つきで、嫌と言えないし、つらくても、言えない怖い。嫌われたくない。人に嫌われるのが怖いです。
朝起きようと思っても体が動かなくなることがよくある。
時々、体の疲れがでるときがある。
友人関係
友達との関わりについて相談したい。
友達関係がうまくいきませんどうしたらいいですか？
うまくコミュニケーションをしたい。
学校生活
学校はどうしたら嫌じゃなくなりますか。
誰かの悪口やコソコソ悪口をしないことで学校が行きやすくなると思う。
私のクラスに登校をできない人がいるので、その子のためにみんなで、その子についている時間があるといいとおもいます。
家庭環境
家に帰りたくないことが多々ある。
叱られて暴力を振るわれることが多いので相談したいです。
家のお金が少ないけれど、毎日習い事に行っているんで、お金が心配です。
相談窓口の周知
相談窓口に行きやすくなるには、ポスターを、区の掲示板に取り付けたり動画で、学校に流したりするということが大事だと思いました。このような、アンケートの取り方は、クロームブックを使って、周りの人に見られる心配がないため、相談窓口に行く側も、安心して、取り組めるので、とても良い取り組みをしているな、と感じました。このような取り組みをこれからも続けていってほしいなと思います。ありがとうございました。
駅のホームなどに相談窓口に関するポスターを貼ったりすれば 相談窓口のことを知れるし、気軽に話やすくなると思う。
もっと区の相談窓口について広めてもらえれば行きやすくなる。また、もっと具体的にこんな事を話していいよ、ということをもっと知りたい。

第2章 調査結果の詳細

<p>そもそも、相談窓口に行けないのは子供の親への優しさなどだと思う。これを相談したら、親が悪者になっちゃうとか、このことを相談したら、もっといじめられるとかを思っているからだと思う。だから、もっと柔らかく書いたり、もし状態が酷くなったらこういうケアをするよみたいなことも書いてもいいと思う。とにかく、みんなは、相談しにくさがまだあるから相談できないのだと思った。</p>
<p>ぜひ、相談に来てくださいと、朝の朝会などで呼びかけたらいいと思う。相談とかをする部屋などを飾り付けしたらいいと思う。</p>
<p>相談しても何もしてくれないし、何も変わらないと思うからしない（相談する意味がない・時間の無駄）。</p>
相談窓口の整備
<p>自分は、困っていませんが困っている人がいると思うので、出張所などに相談窓口を設けると良いと思います。</p>
<p>学校の帰りとかにふらっと入って悩みを相談できる場所があれば良いと思う。</p>
<p>子供が家から行きやすい場所にあること。大通りなど人目が付き安全な場所にあること。</p>
<p>意見 相談窓口の建物の看板などを小さくする。理由 看板が大きいと、行くときに行くんだと他の人に見られて、行きにくくなってしまうから。</p>
<p>近くにあったり、24時間365日ずっとやっていたら、親にバレないから行きやすいと思う。</p>
<p>正直相談所とかそういうところに行くのすら怖いし場所もわからない。それにどこに行くかお母さんに絶対聞かれるので行けない。聞かれて答えたところでまた過保護になるだけ。私に聞けとか言ってくるし。正直こういうアンケートも誰が答えたかわかりそう。</p>
相談員
<p>まだ1回も行ったことがないけど、出来れば担当者は女性が多いと話しやすいと思います。</p>
<p>年齢の近い人で相談に行くならこの人、という人がいると相談しやすい。</p>
<p>相談窓口じゃないみたいに、話してくれると行きやすいです。</p>
<p>あまり友達にも家族にも話したくない人が多いと思います。なので、「相談者と相談を聞いてくれる人だけの秘密だよ」と教えてあげたほうが安心すると思います。</p>
<p>誰にも言わない。</p>
相談方法
<p>電話で会話をし、記録が残らないようにすること。</p>
<p>紙や電話だけでなくLINEなどでも相談できるようにしたりする。</p>
<p>学校で配布されているパソコンに、そういう窓口のサイトをいれてもらう。</p>
<p>学校で配られる相談窓口は、電話が多いですが、私は電話をできるものを持っていません。クロームブックで相談できるようにして欲しいです。</p>
<p>相談窓口でアンケートみたいな物を先に答えてもらいその結果で話したらなるべく行きやすくなると思う。</p>
<p>区の相談窓口に行くべき人の自覚を促す。家の人の監視があって相談できない人用に、学校に目安箱的なモノを設置するとか。（生まれた時からの環境がヤングケアラーだったらそれが普通になるので、苦しくても苦しいと自覚できないと思います）</p>

学校での相談
ひとりでは、いけません。学校に相談員がきてくれるといい。
同性の先生だと話やすい。休み時間に気軽に行ける場所があるといい。その場所が、行きやすい所にあるといい。担任2人体制にすると、忙しそうにしても声をかけやすい。
全員がスクールカウンセラーと4ヶ月に1回話す。
1年に1回ぐらいスクールカウンセラーの先生が相談に乗ってくれたりアンケートを出したりとそれを全員にやれば普段相談に行きたくても行きづらい子も気軽に先生に相談できると思います。
学校のスクールカウンセラーが身近ではないように感じられるから、もっと私たちと関わりみんなが行きやすく身近な存在にしたらいいと思う。
その他
学校は楽しくてずっといてもあきません（家よりもいい）。ずっと4年生がいいな。
自転車専用通路を作ってほしい。開拓されていなくて、自由に遊べる場所が欲しい。

○中学生

自分自身のこと
自分を周りと比較してしまい自分に自信がなくなり、例えば習い事に行きたくなくなり辞めてしまいました。そして他人からどう思われているかなど気にしてしまいます。身体面でも周りと比較してしまいます。自分がとても嫌いです。
自分の勉強を集中して取り組めるにはどうしたら良いか。
同性愛者として、友達とか親にカミングアウト（話を）したほうが良いのか。
友人関係
長年仲の良い友達との関係が少し悪い方へ変わってしまっていること。
たまに友達から避けられる。
学校生活
勉強が難しくなって大変、塾に行かなくてもちゃんと学校でじっくり教えてほしい。
日本語理解できてないことが多い、授業付いていけない、漢字苦手、勉強がよく理解できてないからテストの時困っている。
学校に行きたくない。
学校に行きたくないけど、休みたいって言えないのがつらい。
家庭環境
進路の希望が親とすれ違っているときどうしたら良いか。
父の分も母に頑張らせてしまっている。
相談窓口の周知
授業で扱うなどして区の相談窓口について詳しく知ることができれば、行きやすくなると思います。現状、区の相談窓口の存在すら知らない同級生は多いです。
区の相談窓口の行き方を教える。
公共施設でチラシを配ったり、掲示板に情報を掲示する。
学校に区の相談窓口と専門家にはなしをきいてもらえる窓口の一覧表を配布してほしい。受付時間が6:00

第2章 調査結果の詳細

~22:00のほうが塾に通っている人も相談しやすくなるとおもいます。
区の相談窓口がどのようなことに対応しているのかが分からず（自分の悩みに対応してくれるのかが分からない）足が遠くなってしまうため、どのようなことをしているのか区民にアピールする必要があると思う。
困っていることがあれば電話やラインで相談できますよという手紙を学校でもらっても電話は特にどういうかんじなのかがわからないので電話をかける勇気も出ないし、それなら我慢したほうがいいなと思っちゃいます。手紙などに電話をかけたあとのことも少し書いてもらえると相談してみようかなと思える気がします。
具体的な支援や、その支援によってこれからの生活が、どう変化するのか、どう改善するのか（支援による効果）の提示が大事な一、と思います。
区の相談窓口はどんなところで施設や働いている人たちの雰囲気が分かると思う。
相談窓口の整備
各区域に相談窓口を設けるなどのことを実施する。もしそれが困難な場合は電話やメールなどでやり取りするといった行動を取るといったことをやっていけばいいと思う。
相談窓口がどこにあるか知らないからもう少し身近にあったら行きやすくなると思う。
家の近くや、学校の近くにあると帰りなどに行きやすいと思う。
相談窓口に入りやすい環境を作る。見られているかも…と周りの目を気にして相談窓口へ行くのをためらってしまう人もいると思うから。
相談窓口という硬い名前や場所ではないと行きやすい（話し場所みたいな）。
今のままでいいと思う。十分行きやすい環境だと思う。
相談員
ちょっとしたことでも話をしっかりと聞いてくれる人に相談したい。
堅苦しくなく、気軽に愚痴とかも相談できる施設がほしい。
相談方法
相談したいときに電話で気軽にできれば相談したい人からするといいと思います。
この前電話をしたのですが出なかったです。そこをしっかりと改善すればいいと思います。
悩んでいることを話せなかったり、あまり学校へ行けていない子が聞き役になることが多いので、自分の話をするのが苦手の子がたくさん悩んでいると思うからLINEとかだと相談しやすいと思います。
SNSを使って実際に会わなくても話せるようにして、SNSで相談をした人とある程度仲良くなったら実際に相談窓口に来てもらうようにして具体的な話をする。
LINEなどのメッセージアプリで相談できるようにしたらいいと思う。
インターネット上でチャット形式で相談できる物があれば相談しやすいと思う。
チャットやメッセージで相談すると良いのではないかな。しかし「ラインで相談」という相談方法で相談してもAIのように返答され続けるだけであまり相談にならないので、改善してほしい。
整えるのは難しいと思うが、タブレットで手軽に自分が相談したいことを相談できるものがあつたほうが相談しやすいとおもった。
自分からは行きづらいので、年に1度でもいいので一人ずつ（言い方悪いですが）強制的に話をする時間を設けていただきたいと思います。

悩み事を手紙で送れば、手紙か電話のどちらかで応答するとなっていますが、親に知られたら、あるいは知られたくないと思って相談しない人が多いと思います。また、親が一日中いて相談したくてもできない人がいるかもしれません。アンケートで答えた人に直接相談しに行くというのはどうでしょうか？
アンケートを定期的に行って子供たちの状況を把握するといいかと思います。
学校での相談
学校ごとに気軽にいける相談所を設置した方が、困っている人が、相談しやすいかも。
半年に一度くらい担任と話す機会をとったり、カウンセラーとの話をする機会があったら学業のことやいろいろな事情を話せると思う。
交流の場
不登校の人や学校に行きづらい人同士で、インターネット上で会話などをすることができる場所があればいいと思っています。大人に相談するだけではなく、同じ悩みを持っている人同士で話すことができれば、対応や解決法なども話しやすくなると思うのでいいなと思いました。私は、電話や一对一の会話が苦手です。またスマホを持っていないため、ラインでの相談もできず、誰か相談できる人がほしいと思っていましたが、相談できませんでした。近い年齢同士ならば、話しやすいとも思います。電話だけではなく、チャットなどによる相談方法がほしいです。
同年代で同じような境遇の人がたくさん来て、その子たち同士で交流できるような場所になる。
大人と1対1じゃなくて同じ境遇の友達を作るところみたいな感じでやればいい。
その他
クラスの友達がお母さんの都合でよく休んでいると聞きます。とても気になっています。このようなアンケートもやれないと思うので、誰かが助けてあげないといけないのではと思っています。

○高校生世代

自分自身のこと
例えば、今回の調査で話題に挙がったヤングケアラーや心身が不自由な方たちのように特別に大変な思いをしているわけではないけれど、普段の生活で満たされなだけで息苦しさを感している。そして、そう思う自分を良くないと思ってしまっている。
今現在腹痛からの心臓の痛みがあって無理をしながら学校やいろいろなことをやっていて良く保健室などに行っている日々を迎えていて苦しい日々が続いてる。
悩みがなんなのかもよくわからない。常にコンディションが悪い。すぐ疲れる。
現在不登校で、少し将来について不安です。
大学の進路をどうするか。
友人関係
他の人たちと比べて友達と上手く付き合えてる気がしないこと。
友達関係で悩む事がある。苦手な授業についていけなかったり、発表とか発言とか人前が出る事が苦手で苦しく感じる時がある。周りの目が気になる時がある。
家庭で勉強する時間が中々、とれないことです。また、友人とも話せる話題がなく、友人たちの話についていけないことがよくあることです。

第2章 調査結果の詳細

学校生活
クラスで過ごすに当たって変えられない環境でのストレスの耐え方、解消の仕方。
家庭環境
親が精神的に幼く自分本位でろくに話し合いもできない。
自分が家族の生活リズムを乱しているようで、それが原因で妹に当たられたり、母や父に色々言われるのが嫌です。変わりたいのに変われない自分が嫌です。
支援
学生に対して学費の面で少し手助けして欲しい。
大田区から給付金はないのか相談したいです。また、相談の際特別給付金をもらえれば相談に行きやすくなります。
相談窓口の周知
正直、区の相談窓口があることもどこにあるかということも知りませんでした。もっと広報活動に力を入れて相談窓口があることを知ってもらうことがいちばん大切だと思います。また、窓口に行くことが大変と感じる方もいるので電話やLINEを使って相談しやすくすることで利用頻度が増えると思います。
そもそも区へ相談できることを今知りました。もっと多くの人に知られていて行きやすい雰囲気があるといいと思います。
学校から案内などがあれば行きやすいかなと思う。
私立だからあまり福祉系の相談窓口の掲示がない。
ネット等で相談窓口があるという事実を知らせるべきだと思う。そもそも相談の仕方を知らない子が多いと思う。また、日常生活に困っている子は相談する時間もなかったり無駄だと思っているかもしれないので、学校なのでも一度全員で講習会を開くのもいいかもしれない。そのためには学校の質を上げることも大事だと思われまます。
区の相談窓口がいつどこでやってるのか分からないので、分かりやすくホームページでもあるといいなと思います（既にあったらごめんなさい）。それと、どんなことなら相談していいのかがわからないです。些細なことでもいいのかとか、こんなことわざわざ相談していいのか、迷惑じゃないか、、とか考えてしまいます。あと、相談場所として、区役所は入りづらいなーと少し思います、自分と同じくらいの年齢の人が区役所に居なくて大人ばかりなので浮いちゃうかなーって。
・自分がヤングケアラーだということに気づいていない人も多いと思うので、相談窓口の広告をSNSの広告など、若者の利用率が高く、自分がヤングケアラーだと思っていない人たちが嫌でも目にするようなところに設置する。・学校にヤングケアラーを説明する相談窓口の広告を配る。
学校で、ただ紙などを配布するだけでなく、授業のなかでも取り上げて積極的に紹介し、相談が必要な生徒だけでなくその周りの生徒にも積極的に考える機会を与え、友達同士でもお互いをサポートできるようにする。
このチラシを見れる環境でもない人がいる。高校生で何十万も稼いで学費を払っているのにこの書類が目につかずに苦勞する人がいる。このチラシ以外でもなにかアプローチできる方法はないだろうか？
他区に通っているのでなんとも言えないですが、相談窓口の存在をアピールするには、学校でプリント（広報紙）を配布してもらう他、多摩川線(池上線)の車内放送や駅構内放送、バスの車内放送、大型ショッピングモール等での放送を用いての広報。他には広報紙を各家庭に投函などすれば良いと思う。内容は小さい子でも分かるようなものが望ましいと思う。(絵や図を用いると分かりやすい。) 大分大雑把で

はありますが、もし参考になりましたら是非御役立てください。親愛なる大田区民より！
どこにあるかわからないからTikTokなど若者が見てるSNSに投稿する。
相談内容が家族や外部に漏洩しないように規定を強化し、その上で極秘性を広く強くアピールすれば、相談し易くなると思う。
相談員の名前や顔などの情報を大田区報などに、掲載すると良いと思います。
うまくいえないが、自分の家庭に起きたことが問題なのかどうかは、一人ではなかなか判別しづらく、人に相談しづらい。相談したところで辛さを理解してもらえなかったらと思うと怖いし、公的な機関の人にはよっぽど重大な問題がないと相談しても迷惑な気がしてしまったり、かといって友達には家族の話をするのは重い気がして話せない。問題のあるないにかかわらず、自分が感じた辛さや悩みは正直に打ち明けていいよ、みたいなメッセージが周りにあふれていたら、より生きやすくなるんじゃないかと思う。
・絶対に秘密が守られるということを提示する ・実際に悩んでいた方が福祉につながり解決した例をいくつも紹介する ・自分の場合はどんな相談所に行けば良いのかを、心理テストのYES/NO形式で答え進める図などを使って調べられるようにする ・何があっても子供を裏切らない
どんな時に行っているのか、行ったらどんな対応をしてもらえるのかをもっと知ることで行きやすくなると思う。
「10分、20分でも大丈夫」、「些細なことでも」、「1ヶ月に約何人の人が利用している」などが書いてあると気楽に相談に行ける人が増えると思う。
相談窓口の実績が分からない以上、怖くて相談なんてできるわけが無い。相談窓口の人に相談できたら苦労しない。
させようとしてる時点で無理だと思う。
通学路の途中にある十字交差点には十字のうち1本の道路にしか信号が付いていなくて、少し危ない場面がたまにある事を物申したいけど、区役所に言えばいいのか、交番に言えばいいのか、どこに言えばいいのか分からない。
相談窓口の整備
相談窓口単体になると途端に敷居が高くなってしまうので、相談ではない別の目的の場所に付随して相談窓口を作れば良いと思います。例えば、子ども食堂に相談員を派遣したり、無料の学習支援所を作り、そこに相談窓口を併設するなどです。
相談窓口に行くところを見られるのが嫌という人がいるので、相談窓口とわからないように区役所等以外にもショッピングモールなどの若い人が集まるようなところにも出張型のような形で作ってみるのもいいと思う。
学校から離れた位置にあると行きやすそう。
窓口で相談に応じてもらえる時間帯を増やしてほしい。窓口相談の予約がなくてもその場で相談に応じてもらえるような選択肢を増やしてほしい。
そもそも、窓口の時間は困っている人に寄り添っていない。
相談時間が20時まで、日曜や祝日、祭日もやっていたら相談したい人が行きやすいかもしれない。
区の相談窓口は硬いイメージがあるので、気軽に行けるような対策をして欲しい。
こう言うっては何だが、行政が関わっているという認識がある以上気楽に行ける場所ではないと思う。
相談窓口という名前が既に行きづらいのではないか。
区の建物というと堅い、子どもが入ってはいけないような雰囲気があるのでそのようなイメージに対する

第2章 調査結果の詳細

変化が必要だと思う。
相談したいことがなくても日頃から行ける環境があれば、自然と相談したい時に行きやすくなると思う。「相談する」と言う目的だけで、行ったこともないところに行くのはレベルが高いように感じる。
友達として一緒に相談に行こうと言ってあげられるので、本人だけでなく友達も相談できる窓口がほしい。また、相談するのは、かなりハードルが高いので、個人が特定されない、サイトの立ち上げをしてほしい。
より手軽に行政と関わられるようなシステム作りをお願いしたい。
相談員
一回限りの相談ではなく、継続的に相談していくような形式にすれば、悩みの解決に繋がる気がする。(相談相手は毎回同じ人にする)
私たちと年齢の近い職員の方が増えたり行きやすい雰囲気のある役所になれば良いと思う。
カムカム新蒲田のように気軽に立ち寄れて勉強や遊びができる場所でプラスで相談窓口があったり、働いている職員にカウンセラーの資格のある人がいると1人でも友達とでも行きやすいと思う。
相談方法
基本的に相談することが周りに知られたくない場合が多いと考えられるため、相談窓口に行くことを知られないようにできればいいのではないのでしょうか。また、これの解決策として電話があるのかもしれませんが、正直様々な番号があり、どれにかければ良いか分からない場合も想定されると思います。
私の周りだけかもしれないですが、最近LINEよりXなど他のSNSを利用する子が多いと思うのでそういったSNSのDMとかで相談できるようにするのいいと思います。
電話とかは勇気がいるから、もっとLINE形式の相談窓口が発達して欲しいです。3回くらい利用させてもらってます。いつも、ありがとうございます。
高校生とかは、実際に行って相談することにためらいを感じたり、忙しい人も多いと思うので、ラインチャットなどで軽く話をできる状況を作るといいのかなと思います。辛いと感じた時に、存在を思い出せるぐらい印象のある相談窓口・相談受付があるともっと救える子が増えるのではないかと思います。
既にやっているかもしれませんが、LINEでの相談が一番ハードルが低くていいと思います。
インターネット上でのやり取りで相談出来たら相談しやすいと思います。
意見箱的気軽にコメントできるものをネットでも良いので設置してくれたら相談しやすい。
区の相談所などに実際に行くことは勇気が必要だと思いますが、オンラインでメッセージのやり取りをすることは学生も気軽に相談できると思うので、アプリや専用ウェブページの創設が相談の促進につながるのではと考えました。
区の相談がやってる時間は学校があって行けないことが多いので、ネットで相談できたりすればいいと思う。
難しいとは思いますが、年中無休24時間対応の相談チャットがあると実際に話さなくてもよいので相談しやすい。
メールでの受付があると話しやすくなると思います。(メールで少し相談してから実際に窓口に向うなど)
行かなくても相談できる方法を模索してほしい。
相談窓口に出向かなくても、自宅で相談できる仕組みがしっかりあればありがたいです。
顔をあわせないで相談したい。

匿名性にしたり顔を合わせなくて良くする。
一回全員が相談の体験を受ける。
年に1度相談教室のようなものを必須で受けさせる。
多少迷惑だと思われても、学生のいる家庭に直接会いに行く。
今回のようなアンケートの回数を年に3回とかに増やし、相談したくても出来ない人を助けてあげる。
メールやLINEで1ヶ月か2ヶ月に一度、健康や精神面についてのアンケート調査をする。
学校での相談
スクールカウンセラーが学校にいると思うが、特別な存在ゆえに、相談しにくい環境にあり、秘密の相談に来たみたいないイメージがあり、近寄りたくない、相談したいのにしにくい環境にあるので、もっと表に出て、身近に生徒に関わる位置にいてくれないと本質は語れないと思う。後、精神保健福祉士ももっと採用してどんどん送り込んで欲しい。小学生から高校生まで、1番大変な時期だし、大切な時期でもあるので、面倒がらずもっと心のケアに力を入れて欲しい。大田区としてせめて他の23区よりも心のケアに寄り添う事を力を入れていると言えるように大々的に変えて欲しい。
スクールカウンセラーを常勤にして欲しい。
相談員さんが学校に来てくれる。
交流の場
部活にいくような感覚で気軽に行ける交流の場を設けるとよいのではないかと。相談員の方だけでなく同じように悩みを抱えている人とも交流できるような機会があってもよいのではないかと思います。
区の相談窓口はとて行くには堅苦しく行きにくいと思う。もっとコンビニぐらいの軽さで行けるところ、例えばこども食堂はとてもいい例だと思う。「こども」をいれるだけで同じ子たち、同年代がいるっというのでかなり良くなると思う。
その他
バイクが夜中うるさいです。

第3章 調査結果の分析

1. 国調査との比較

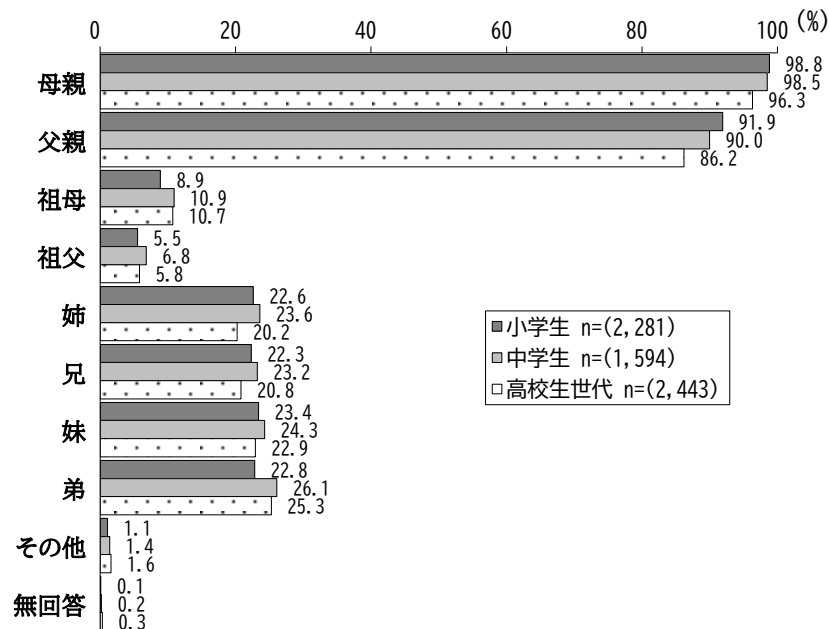
国が実施した調査結果と比べながら、区の特徴を考察する。

※国の調査結果について、小学生調査は小学6年生のみ（令和3年度実施）、中学生調査は中学2年生のみ（令和2年度実施）、高校生調査は全日制高校2年生（令和2年度実施）を調査対象としていることや、調査において設問や選択肢の表現が一部異なることから、本調査の結果と直接的な比較はできないことに留意する必要がある。

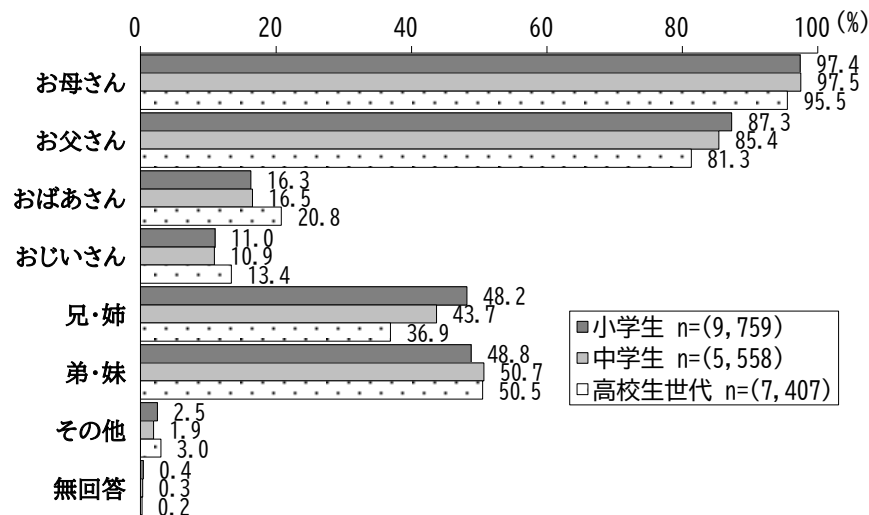
(1) 世帯構成の比較

国の調査に回答した人、および本調査に回答した人の同居者を比較すると、「母親」、「父親」に差はみられない。一方、区は小学生、中学生、高校生世代すべての年代でも、国よりも「祖母」、「祖父」の割合が低くなっている。

<区 同居者>



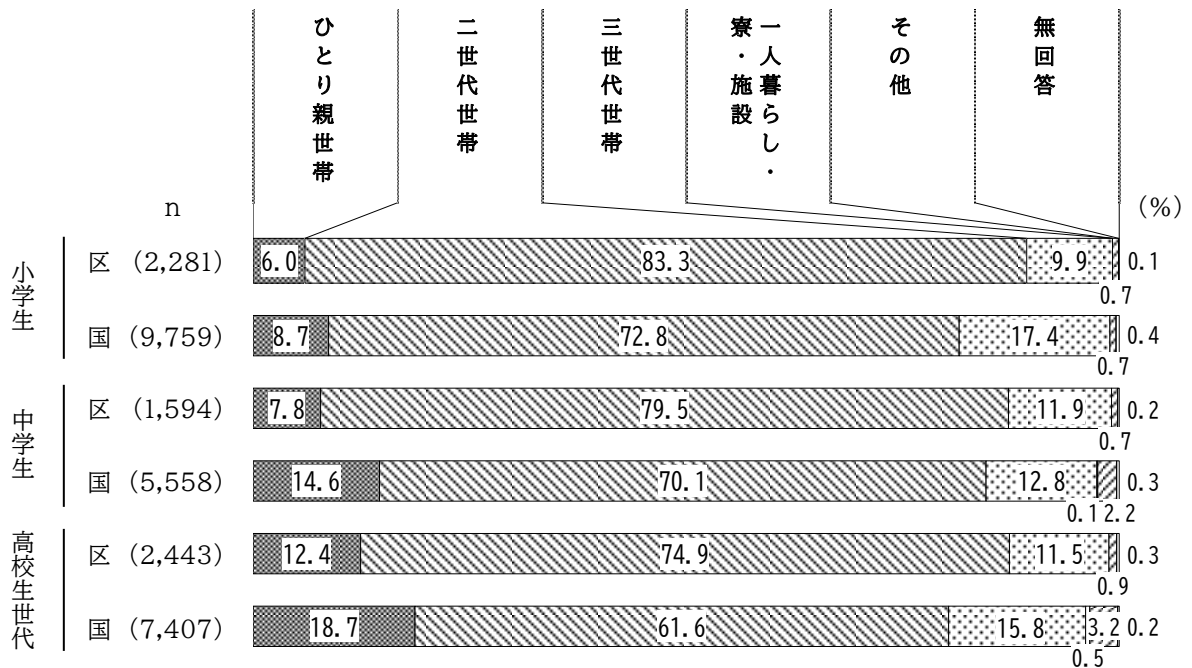
<国 同居者>



第3章 調査結果の分析

前ページの結果をもとに集計した家族構成を区と国で比較すると、小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、区は国よりも「三世代世帯」の割合がおおむね低く、核家族世帯（「ひとり親世帯」、「二世代世帯」）の割合が高くなっている。

<家族構成>



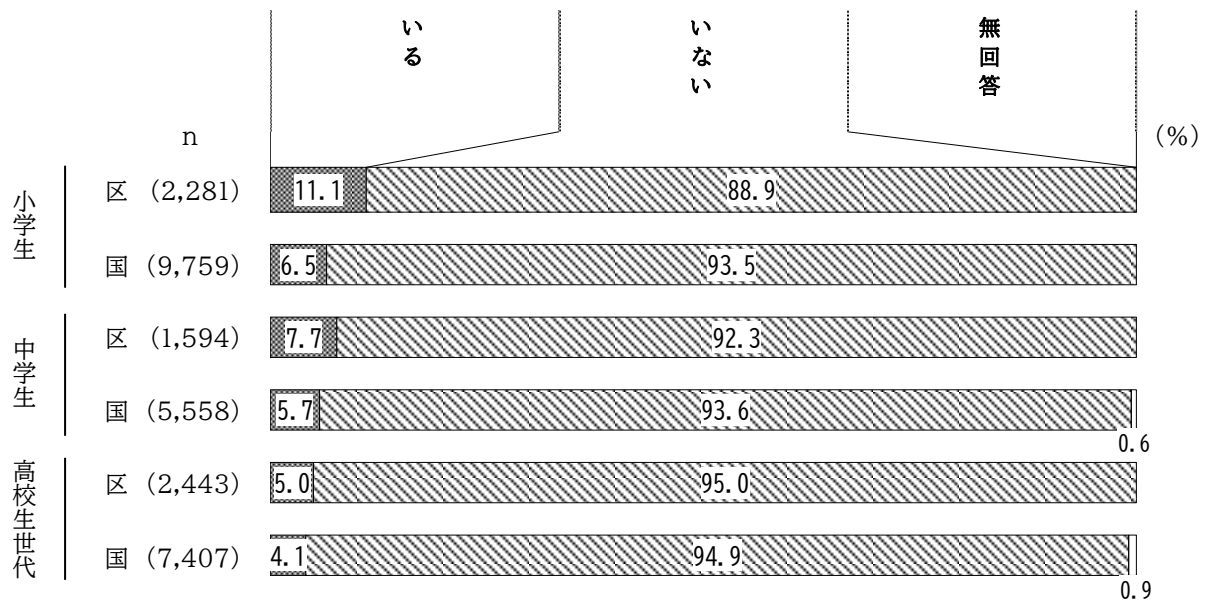
※ 「一人暮らし・寮・施設」は国の中学生、高校生世代のみ調査

(2) お世話の有無を比較

区のお世話している家族が「いる」は、小学生で11.1%、中学生で7.7%、高校生で5.0%となっている。

国の調査結果と比較すると、家族のお世話をしている割合は、小学生で区が国よりも4.6ポイント、中学生で区が国よりも2ポイント、高校生世代で1.1ポイント高くなっている。国の調査とは調査対象者の学年範囲が異なる等のため、一概に比較することは難しいが、小学生は国よりもやや高く、中学生及び高校生世代はおおむね近似した傾向がみられた。前ページで述べたとおり、本調査の結果では、区は国よりも核家族世帯の割合が高い傾向がみられた。本来は大人が担うべき家族のお世話をこども本人が担っている可能性が高いことが要因のひとつとして考えられる。

<お世話の有無>



第3章 調査結果の分析

(3) お世話を必要としている人を比較

家族の中でお世話を必要としている人は、小学生、中学生、高校生すべての年代で「きょうだい」は国よりも区の方が低くなっている。一方、「母親」、「父親」（中学生、高校生調査の選択肢は「父母」）は区の方が高くなっており、全国と比べると父母のお世話している人が多いことが考えられる。

<区 お世話を必要としている人>

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
小学生	253	37.9	22.9	9.9	6.7	63.6	5.9
中学生	123	37.4	18.7	13.8	9.8	56.1	4.1
高校生世代	121	42.1	15.7	14.0	9.9	41.3	5.0

<国 お世話を必要としている人>

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
小学生	631	19.8	13.2	10.3	5.5	71.0	1.9	5.7

	調査数	父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
中学生	319	23.5	14.7	61.8	3.8	9.4
高校生世代	307	29.6	22.5	44.3	5.5	8.8

(4) お世話を必要としている人へのお世話の内容を比較

「きょうだい」へのお世話の内容を比較すると、本調査の中学生では「着替えやお風呂・トイレに入る手助け（国：身体的な介護）」が国よりも高くなっている。高校生世代では「着替えやお風呂・トイレに入る手助け（国：身体的な介護）」、「買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする（国：外出の付き添い）」、「通院へ一緒に行き、手助けをする」、「薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする（国：薬の管理）」が国よりも高くなっている。

「父母」へのお世話の内容を比較すると、高校生では国の調査結果と大きな差はみられない。中学生では「通訳」の割合が国よりも高くなっている。

※小学生調査において、「父母」、「きょうだい」へのお世話の内容は国と本調査で集計方法が異なるため比較をしない。

<区 「きょうだい」へのお世話の内容>

(%)

	調査数	家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)	きょうだいのお世話や保育園への送り迎え	着替えやお風呂・トイレに入る手助け	買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする	病院へ一緒に行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になる
小学生	161	26.1	10.6	28.6	12.4	1.2	20.5
中学生	69	40.6	29.0	37.7	31.9	-	20.3
高校生世代	50	42.0	30.0	30.0	28.0	10.0	20.0

	調査数	転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	通訳(日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど)	家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど)	薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	その他	無回答
小学生	161	47.2	1.2	1.2	5.0	9.9	9.9
中学生	69	52.2	2.9	2.9	2.9	5.8	4.3
高校生世代	50	28.0	4.0	4.0	12.0	10.0	8.0

<国 「きょうだい」へのお世話の内容>

(%)

	調査数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいのお世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)
中学生	197	37.6	34.0	20.8	21.3	2.0	21.3
高校生世代	136	56.6	43.4	16.2	16.2	2.2	17.6

	調査数	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
中学生	197	68.0	3.0	2.5	3.0	5.1	5.1
高校生世代	136	53.7	0.7	4.4	2.2	8.8	5.9

第3章 調査結果の分析

(5) 一緒にお世話をしている人の有無を比較

一緒にお世話している人がいない割合は、小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、区が国の割合を上回っている。(小学生：国10.6%、区19.0%、中学生：国9.1%、区14.6%、中学生：国11.4%、区23.1%)

<一緒にお世話をしている人>

(%)

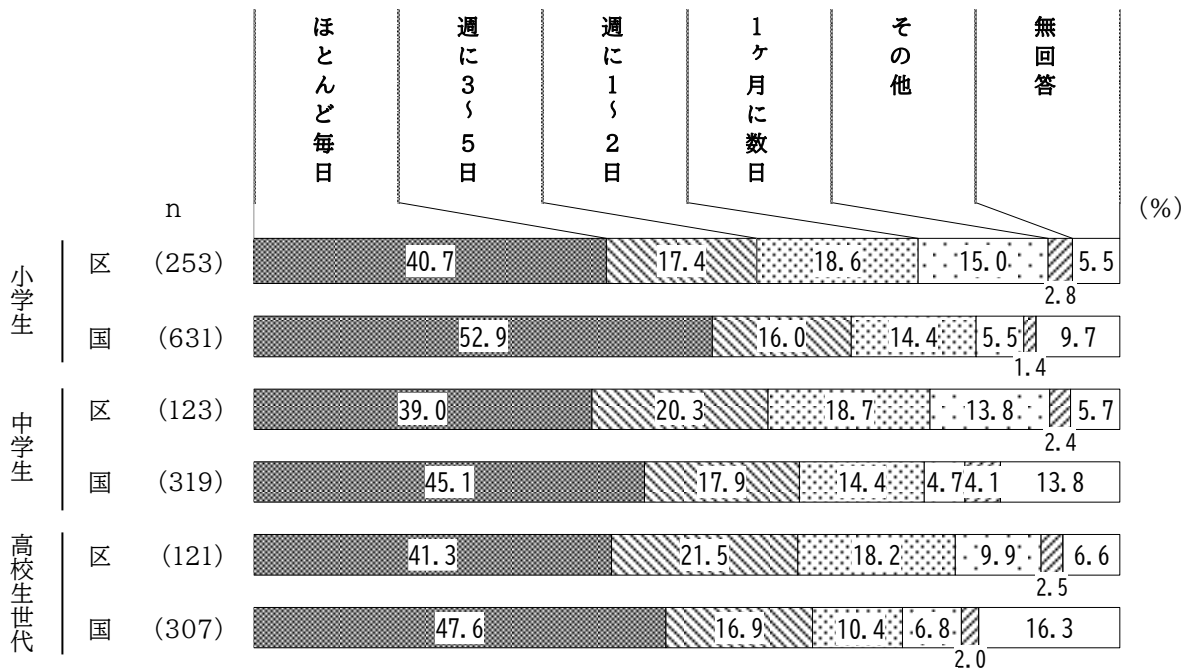
		調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい
小学生	区	253	68.0	55.7	8.7	5.5	28.9
	国	631	64.2	47.1	11.6	5.4	36.0
中学生	区	123	67.5	51.2	13.8	6.5	35.8
	国	319	58.3	35.7	16.0	6.9	35.7
高校生世代	区	121	53.7	32.2	5.0	2.5	38.8
	国	307	52.1	28.3	11.4	4.9	34.5

		調査数	親せきの人	一緒にお世話している人はいない	福祉のヘルパーさんなど	その他	無回答
小学生	区	253	2.0	19.0	0.4	1.2	
	国	631	3.2	10.6	2.4	0.5	11.1
中学生	区	123	2.4	14.6	2.4	1.6	
	国	319	5.0	9.1	6.3	1.9	14.1
高校生世代	区	121	3.3	23.1	6.6	-	
	国	307	7.2	11.4	7.2	1.3	16.3

(6) お世話をしている頻度を比較

お世話をしている頻度を比較すると、小学生、中学生、高校生世代すべての年代で「ほとんど毎日」は区が国よりも低くなっている。また、区の小学生では週に1日以上お世話をしている割合が国よりも低くなっているが、高校生世代は国よりも高くなっている。

<お世話をしている頻度>

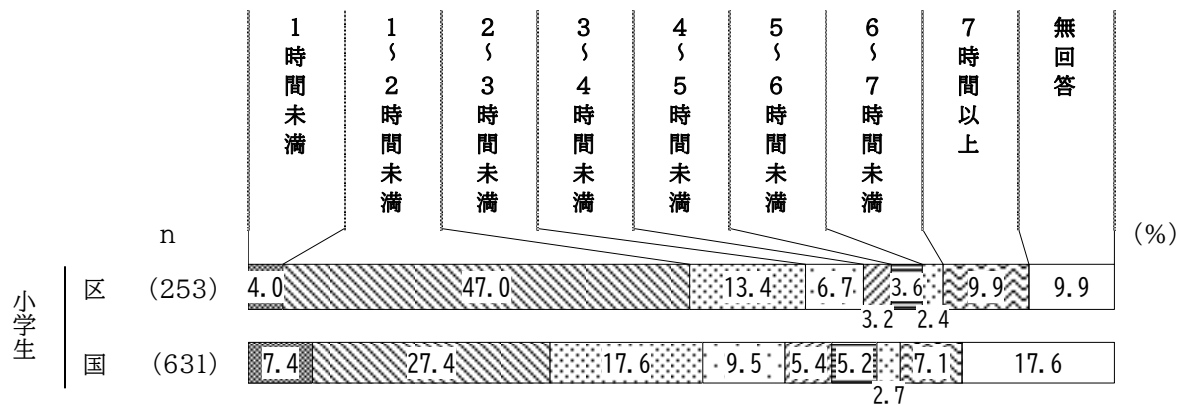


※「ほとんど毎日」は、国の調査では「ほぼ毎日」である

(7) 平日の一日あたりのお世話する時間を比較

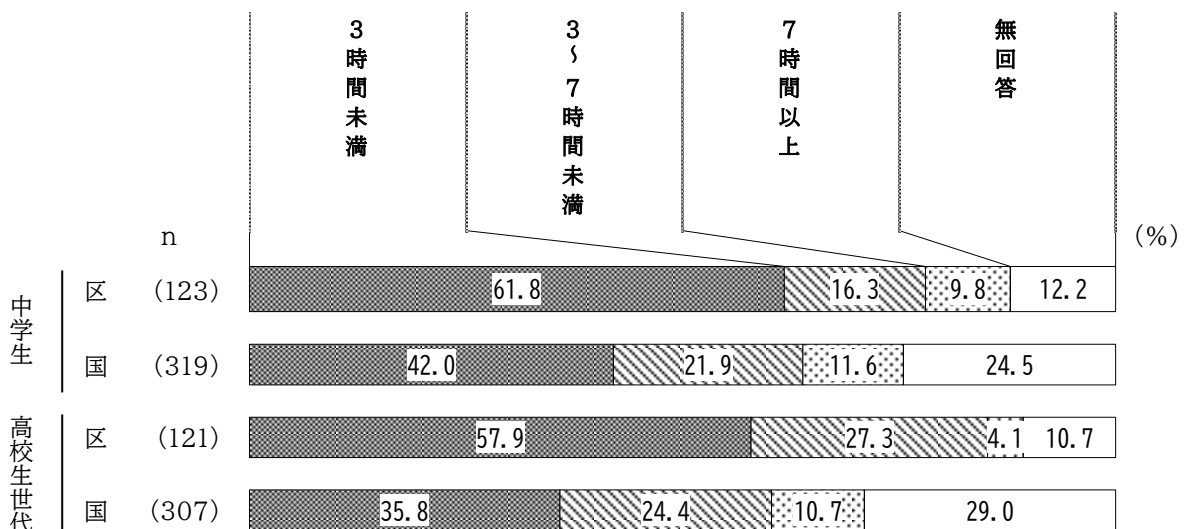
平日の一日あたりのお世話する時間を比較すると、小学生では「1～2時間未満」は区が国を上回っており、お世話時間3時間未満の割合が国よりも高くなっている。

<平日の一日あたりにお世話する時間（小学生のみ）>



平日の一日あたりにお世話する時間を比較すると、中学生、高校生世代ともに「3時間未満」は区が国よりも高くなっている。また、区の中学生では「3～7時間未満」が国よりも低く、高校生世代では「7時間以上」が国よりも低くなっている。小学生、中学生、高校生世代すべての世代で、平日の一日あたりのお世話に費やす時間は国よりも低い状況にある。

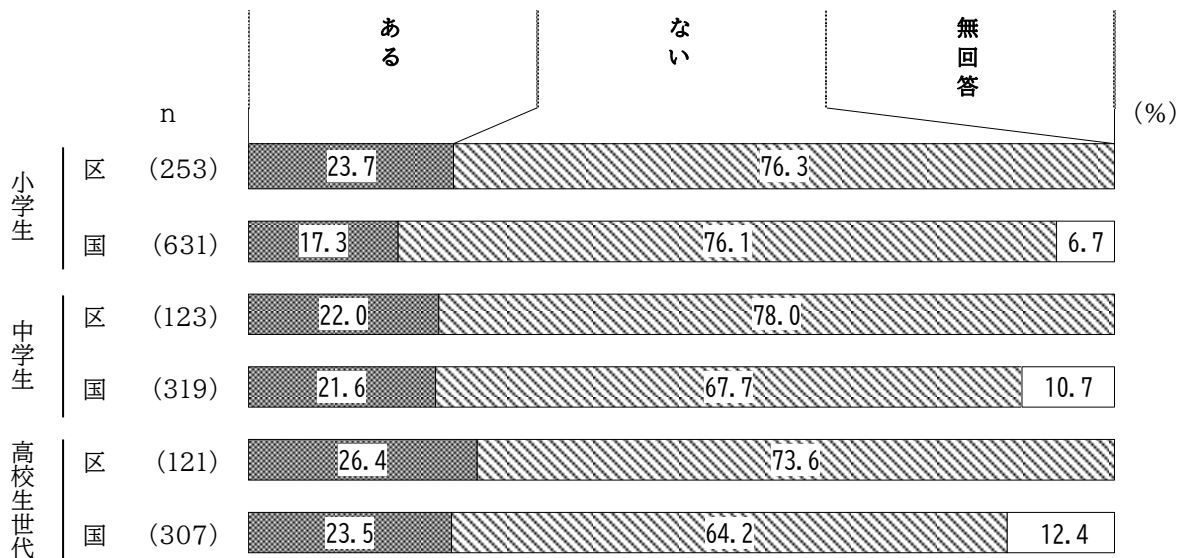
<平日の一日あたりにお世話する時間（中高のみ）>



(8) お世話の悩みを相談した有無を比較

お世話の悩みを相談した有無を比較すると、小学生の「ある」(お世話を相談した経験がある)は区が国よりも高くなっている。一方、中学生、高校生世代では、「ない」(お世話を相談した経験がない)が国よりも高くなっている。

<お世話の悩みを相談した有無>



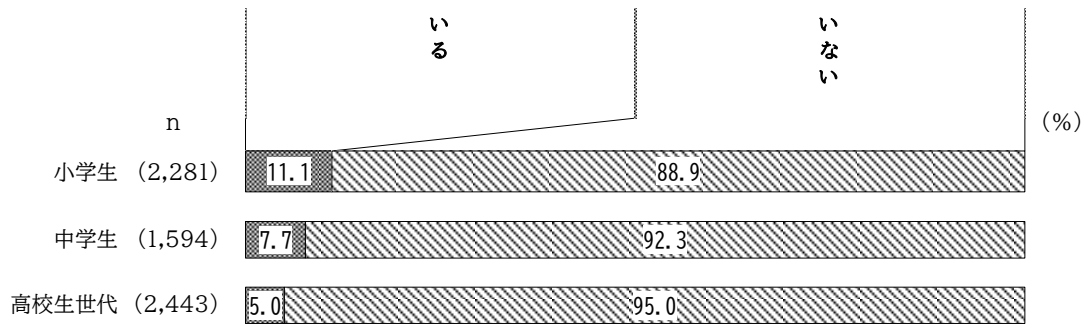
2. 日常生活への影響

(1) お世話している家族の有無にみた結果

①お世話している家族の有無の結果

「いる」は小学生で11.1%、中学生で7.7%、高校生世代で5.0%となっている。一方、「いない」はいずれの年代でも9割程度となっている。

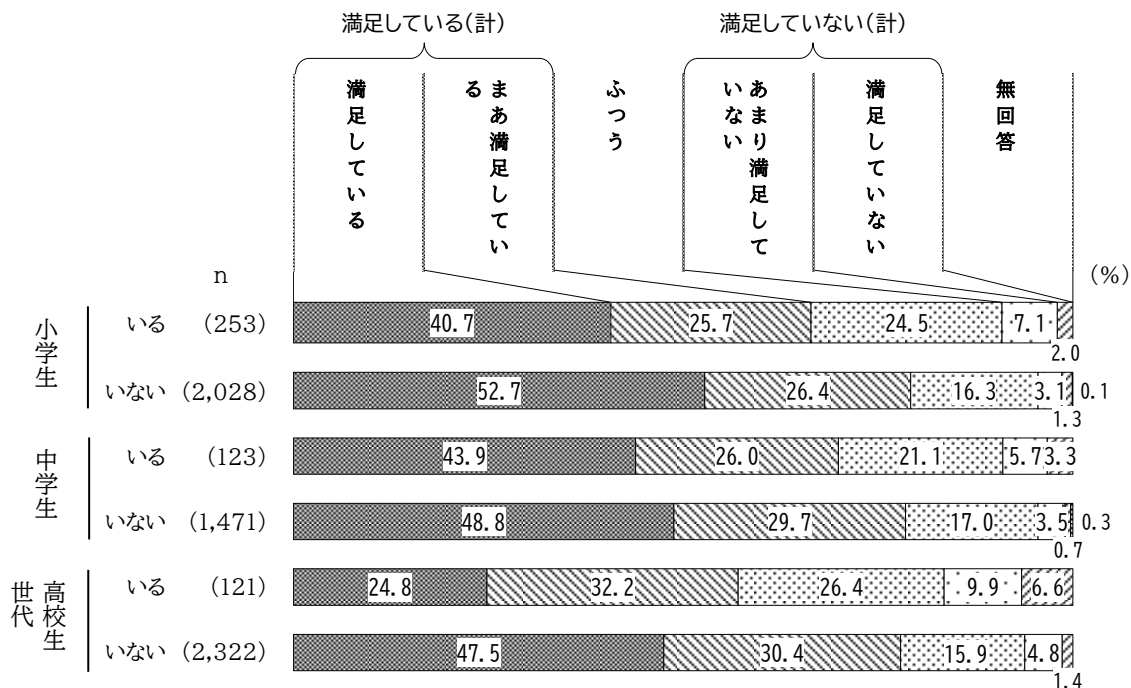
<お世話している家族の有無>



②生活満足度とお世話している家族の有無の関係性

今回の調査では、独自の設問として「今の生活にどのくらい満足しているか」(生活満足度)について調査を行った。生活満足度をお世話の有無別にみると、『満足している(計)』(「満足している」+「まあ満足している」)は、いずれの年代でも、お世話している家族が“いる”人は“いない”人に比べて生活満足度が低くなっている。『満足している(計)』は、小学生では、お世話している家族が“いる”で66.4%と、“いない”よりも12.7ポイント低く、中学生では、お世話している家族が“いる”で69.9%と、“いない”よりも8.6ポイント低く、高校生では、お世話している家族が“いる”で57.0%と、“いない”よりも20.9ポイント低くなっている。

<生活満足度とお世話している家族の有無>

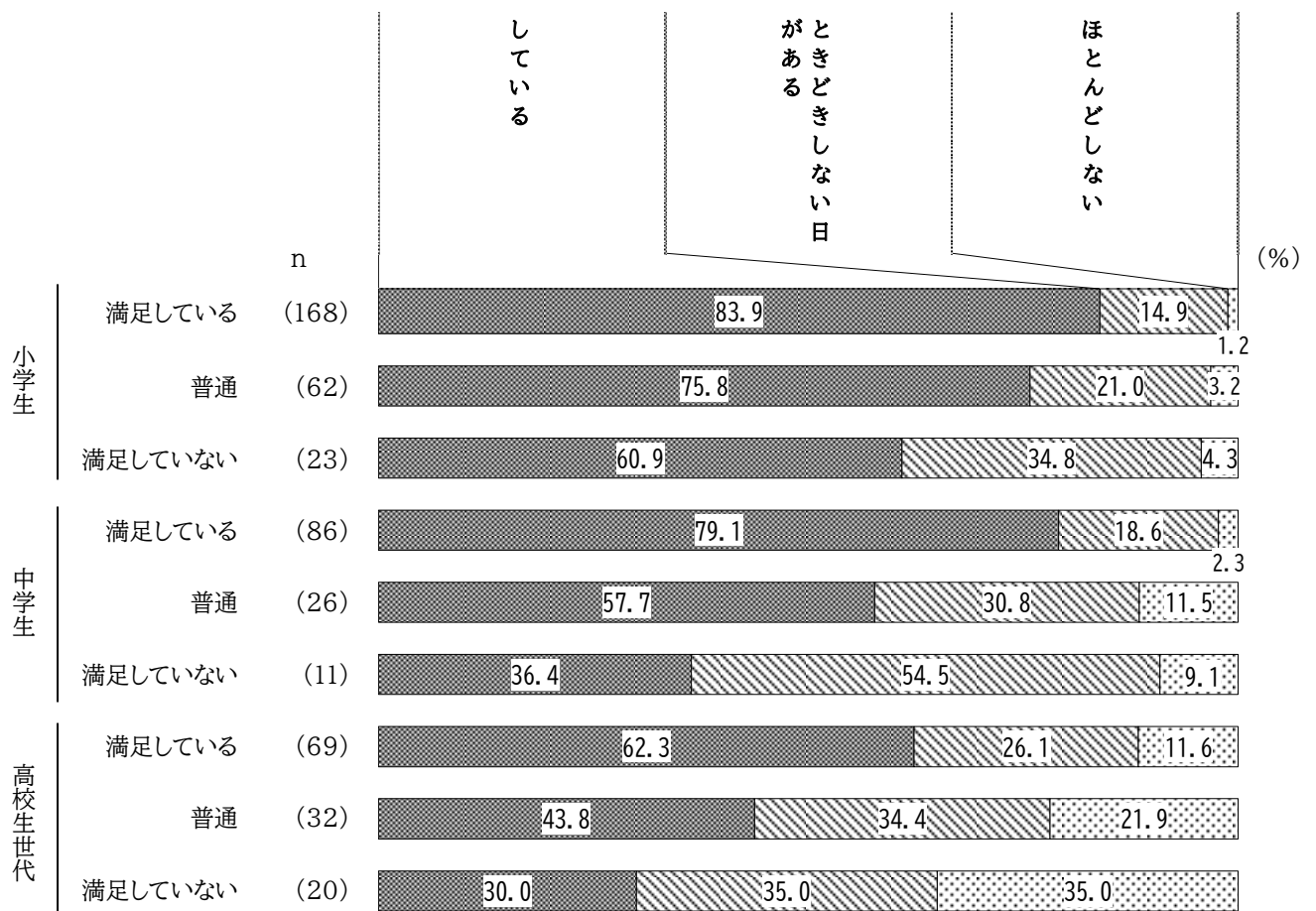


(2) 生活満足度別にみた結果

①食事や睡眠の状況

小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど1日3回の食事をしている割合が低く、小学生は6割台、中学生、高校生世代は3割台となっている。

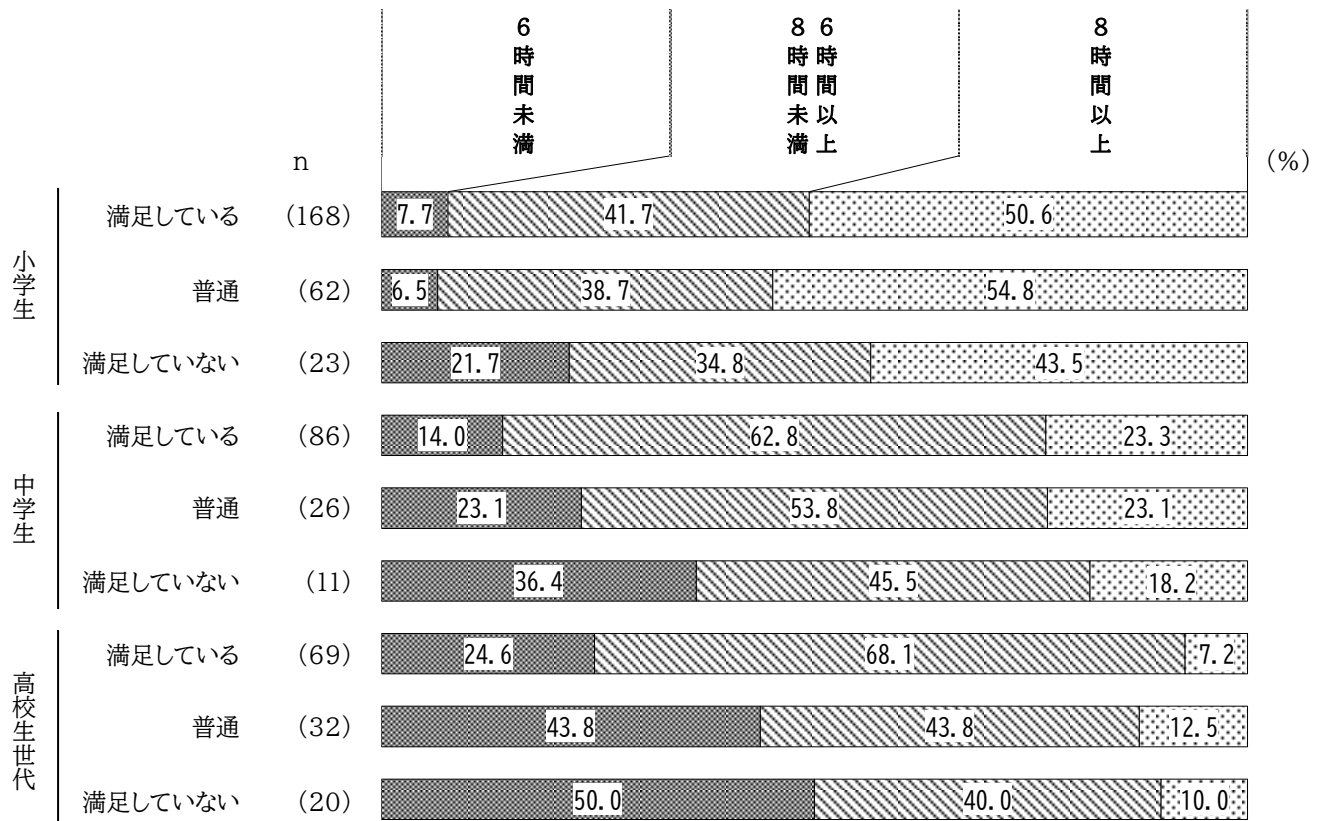
<1日3回の食事の状況>



第3章 調査結果の分析

小学生、中学生、高校生世代すべての年代で、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど平日の睡眠時間はおおむね短く、「6時間未満」は小学生で2割台、中学生で3割台、高校生世代で5割台となっている。

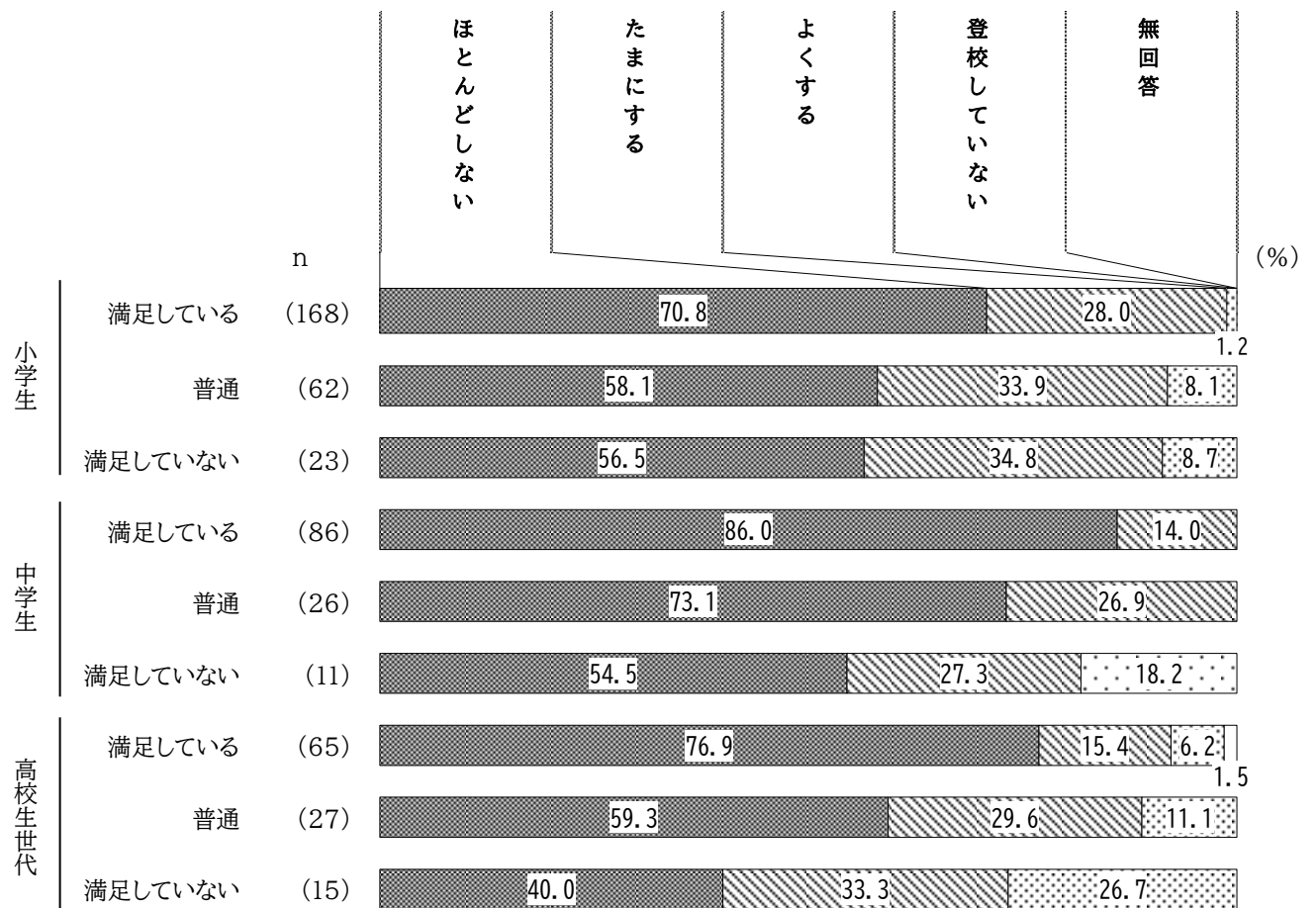
<平日の睡眠時間>



②欠席や遅刻の状況

学校生活への影響として、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど中学生と高校生世代では学校を欠席している傾向がみられる。高校生世代の生活に満足していない人では欠席を「ほとんどしない」が4割台と低くなっている。

<学校を欠席することの状況>

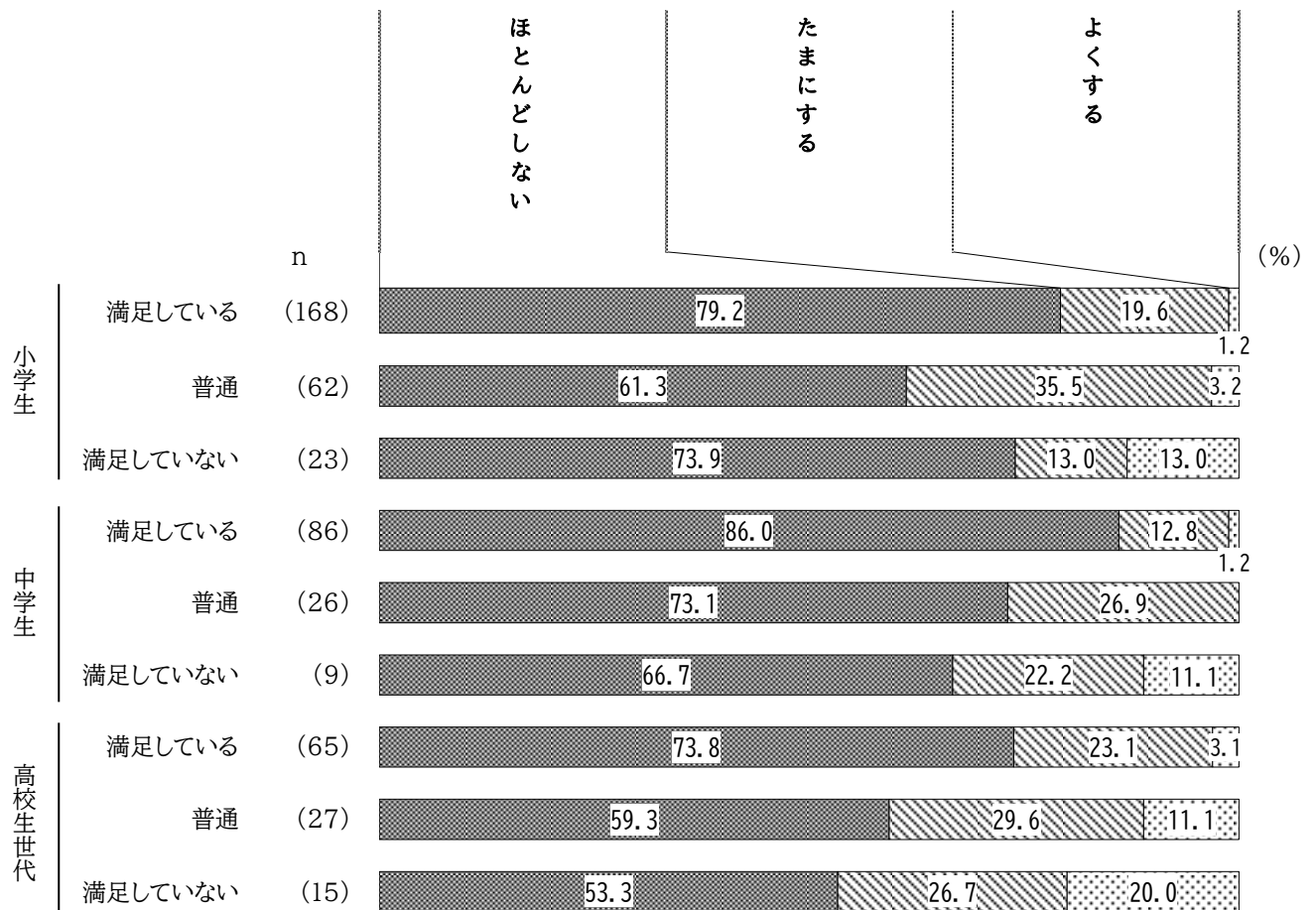


※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

第3章 調査結果の分析

遅刻や早退の状況について、お世話している家族がいる中でも、生活満足度が低い人ほど中学生と高校生世代では学校を遅刻や早退している傾向がみられる。高校生世代の生活に満足していない人では遅刻や早退を「ほとんどしない」が5割台と低くなっている。

<遅刻や早退することの状況>



※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

③お世話の内容

お世話の実態としては、生活満足度が低い人ではすべての年代で「きょうだい」をお世話している割合が高く、小学生と高校生世代では「母親」をお世話している割合も高くなっている。「きょうだい」をお世話しているお世話の内容としては、「家事」、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」といったお世話をしている人が多くなっている。

<お世話を必要としている人>

		調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
小学生	満足している	168	35.1	22.6	8.9	7.1	70.2	5.4
	普通	62	45.2	24.2	9.7	4.8	54.8	6.5
	満足していない	23	39.1	21.7	17.4	8.7	39.1	8.7
中学生	満足している	86	36.0	18.6	14.0	8.1	54.7	4.7
	普通	26	46.2	26.9	15.4	15.4	53.8	-
	満足していない	11	27.3	-	9.1	9.1	72.7	9.1
高校生世代	満足している	69	43.5	17.4	15.9	11.6	42.0	2.9
	普通	32	43.8	9.4	9.4	9.4	43.8	6.3
	満足していない	20	35.0	20.0	15.0	5.0	35.0	10.0

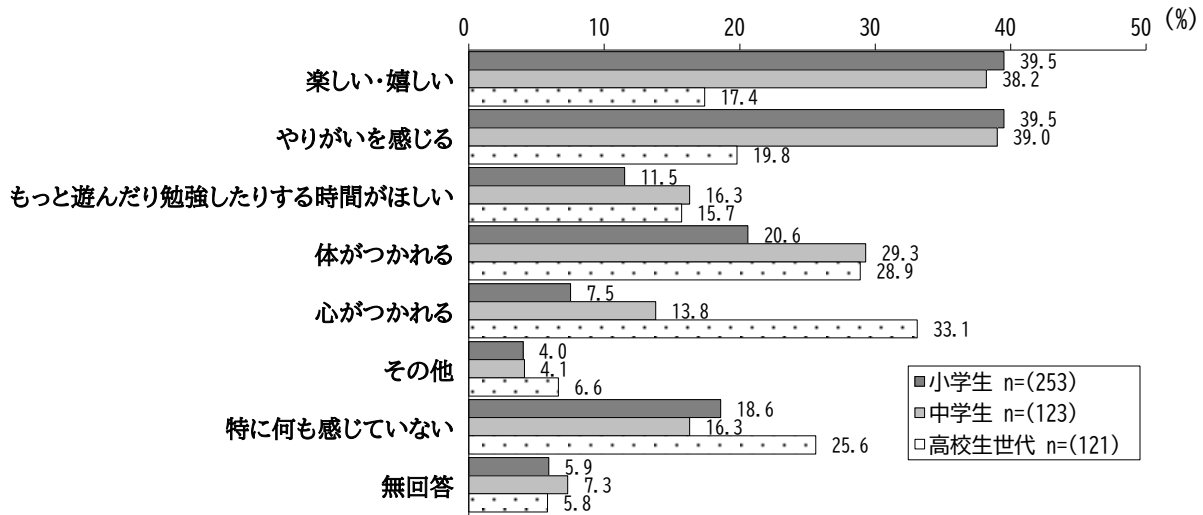
<お世話をしている内容（きょうだい）>

		調査数	家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)	きょうだいのお世話や保育園への送り迎え	着替えやお風呂・トイレに入る手助け	買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする	病院へ一緒に行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になる
小学生	満足している	118	25.4	11.9	33.9	11.9	1.7	19.5
	普通	34	26.5	8.8	8.8	17.6	-	29.4
	満足していない	9	33.3	-	33.3	-	-	-
中学生	満足している	47	38.3	29.8	42.6	34.0	21.3	48.9
	普通	14	35.7	35.7	28.6	35.7	14.3	57.1
	満足していない	8	62.5	12.5	25.0	12.5	25.0	62.5
高校生世代	満足している	29	41.4	27.6	20.7	13.8	3.4	13.8
	普通	14	35.7	21.4	42.9	35.7	14.3	14.3
	満足していない	7	57.1	57.1	42.9	71.4	28.6	57.1

		調査数	転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	通訳(日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど)	家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど)	薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	その他	無回答
小学生	満足している	118	47.5	1.7	0.8	3.4	11.0	9.3
	普通	34	47.1	-	-	5.9	5.9	11.8
	満足していない	9	44.4	-	11.1	22.2	11.1	11.1
中学生	満足している	47	2.1	2.1	-	4.3	4.3	
	普通	14	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	
	満足していない	8	-	-	-	12.5	-	
高校生世代	満足している	29	17.2	3.4	3.4	10.3	10.3	10.3
	普通	14	42.9	7.1	-	-	7.1	7.1
	満足していない	7	42.9	-	14.3	42.9	14.3	-

④お世話することについて感じる事

今回の調査では、独自で「お世話をする事についてどのようなことを感じているか」の設問の選択肢に肯定的なもの（「楽しい・嬉しい」「やりがいを感じる」）を追加し調査を行った。その結果、お世話している家族がいる人でも、肯定的にお世話している人と負担を感じてお世話している人がいることが分かった。なお、小学生・中学生では肯定的な選択肢が負担感のある選択肢の割合を上回っており、高校生世代では負担感のある選択肢が肯定的な選択肢の割合を上回っている。



お世話について感じることを生活満足度別にみると、生活満足度が低い人ほどお世話について負担感のある選択肢（「もっと勉強する時間が欲しい」「体・心が疲れる」）の割合が高く、満足度が高い人ほどお世話に肯定的な選択肢の割合が高くなるといった相関関係がみられる。

<お世話について感じる事と生活満足度>

		調査数	楽しい・うれしい	やりがいを感じる	もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい	体が疲れる
小学生	満足している	168	43.5	43.5	7.1	17.3
	普通	62	37.1	33.9	21.0	21.0
	満足していない	23	17.4	26.1	17.4	43.5
中学生	満足している	86	43.0	45.3	10.5	17.4
	普通	26	26.9	26.9	26.9	50.0
	満足していない	11	27.3	18.2	36.4	72.7
高校生世代	満足している	69	23.2	27.5	14.5	23.2
	普通	32	15.6	15.6	12.5	34.4
	満足していない	20	-	-	25.0	40.0

		調査数	心がつかれる	その他	特に何も感じていない	無回答
小学生	満足している	168	4.8	3.0	20.2	6.0
	普通	62	8.1	6.5	14.5	6.5
	満足していない	23	26.1	4.3	17.4	4.3
中学生	満足している	86	8.1	3.5	15.1	7.0
	普通	26	23.1	7.7	23.1	11.5
	満足していない	11	36.4	-	9.1	-
高校生世代	満足している	69	21.7	8.7	23.2	4.3
	普通	32	37.5	3.1	34.4	6.3
	満足していない	20	65.0	5.0	20.0	10.0

⑤お世話に負担感のある人の中で生活満足度が低い人のお世話内容など

※④で生活満足度とお世話に負担感のある人の割合に相関関係が見られたことから、問15で「体がつかれる」「心がつかれる」「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」と回答した人（以下「お世話に負担感のある人」という。）の中で、問5（生活満足度）で「あまり満足していない」「満足していない」（以下『満足していない（計）』という。）と回答した人に着目して結果をみていく。

※分析するには調査数が少ないため、割合ではなく実数（回答した人数）に着目して結果をみていく。

お世話に負担感のある人のうち、生活に『満足していない（計）』と回答した人が家庭でお世話を必要としている人は、小中高とも「きょうだい」が最も多くなっており、高校生世代では「母親」も多くなっている。「きょうだい」のお世話をしている内容としては、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」、「家事」、「着替えやお風呂・トイレに入る手助け」、「買い物、散歩など一緒に行き、手助けをする」、「きょうだいのお世話や保育園への送り迎え」が多い。お世話の悩みを相談したことは「ない」が多く、負担を感じていて、なおかつ現在の生活に満足できていなくても声を上げられない人が一定数いることがうかがえる。相談しない理由は「相談するほどの悩みはない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」が多い。

<お世話を必要としている人>

		調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
小学生	満足している	34	4	4	2	3	27	2
	普通	20	6	4	3	1	14	1
	満足していない	13	4	2	2	1	6	1
中学生	満足している	21	6	3	2	3	13	1
	普通	13	6	4	1	1	8	0
	満足していない	9	2	0	1	1	7	1
高校生世代	満足している	28	12	6	6	5	10	0
	普通	14	7	3	2	1	6	0
	満足していない	14	5	2	1	1	6	2

(件)

第3章 調査結果の分析

<お世話をしている内容（きょうだい）>

(件)

		調査数	家事(食事の調理や後かたづけ、掃除、洗濯、買い物など)	きょうだいのお世話や保育園への送り迎え	着替えやお風呂・トイレに入る手助け	買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする	病院へ一緒に行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になる
小学生	満足している	27	8	8	9	5	1	5
	普通	14	3	2	0	3	0	4
	満足していない	6	3	0	3	0	0	0
中学生	満足している	13	5	4	4	2	0	3
	普通	8	3	3	4	5	0	2
	満足していない	7	4	1	2	1	0	2
高校生	満足している	10	5	1	2	3	1	2
	普通	6	3	2	2	2	1	1
	満足していない	6	4	4	3	5	2	4

		調査数	転んだり、危ないことをしたりしないか見守る	通訳(日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど)	家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど)	薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする	その他	無回答
小学生	満足している	27	16	1	1	0	5	0
	普通	14	7	0	0	1	2	1
	満足していない	6	2	0	0	1	1	1
中学生	満足している	13	9	1	1	0	0	0
	普通	8	8	1	0	2	0	0
	満足していない	7	5	0	0	0	1	0
高校生	満足している	10	3	1	1	1	2	0
	普通	6	2	1	0	0	1	0
	満足していない	6	3	0	1	2	1	0

<お世話の悩みを相談した有無>

(件)

		調査数	ある	ない
小学生	満足している	34	11	23
	普通	20	3	17
	満足していない	13	4	9
中学生	満足している	21	5	16
	普通	13	5	8
	満足していない	9	3	6
高校生	満足している	28	11	17
	普通	14	2	12
	満足していない	14	6	8

<お世話の悩みを相談していない理由>

(件)

		調査数	相談するほどの悩みはない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のことを話したくないから	家族のこのため話にくい
小学生	満足している	23	14	0	3	1	
	普通	17	11	5	3	4	
	満足していない	9	1	2	2	2	
中学生	満足している	16	10	3	1		3
	普通	8	7	1	1		1
	満足していない	6	3	1	2		2
世代 高校生	満足している	17	9	3	2		4
	普通	12	3	3	3		4
	満足していない	8	2	2	1		3

		調査数	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思わない	その他	無回答
小学生	満足している	23			2	3	0
	普通	17			2	0	0
	満足していない	9			5	1	1
中学生	満足している	16	0	1	2	0	0
	普通	8	0	1	1	0	0
	満足していない	6	0	0	1	1	0
世代 高校生	満足している	17	2	1	4	1	0
	普通	12	4	5	6	1	0
	満足していない	8	2	2	5	0	0

第3章 調査結果の分析

お世話に負担感のある人のうち、生活に『満足していない（計）』と回答した人の学校生活での困りごとは、小中高いずれも「眠る時間が足りない」が最も多くなっている。このほかに、小学生では「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければならぬ書類などの提出が遅れることが多い」といった学校への持ち物や提出物にマイナスな影響を及ぼしており、中学生では「授業内容についていけない」、高校生世代では「授業中に居眠りすることが多い」が多いことから、授業を受けることにマイナスな影響を及ぼしていることが考えられる。

<ふだんの学校生活の状況>

		調査数	学校を休むことが多い	眠る時間が足りない	授業中に居眠りすることが多い	学校を遅刻や早退することが多い	授業内容についていけない	宿題や課題ができていないことが多い
小学生	満足している	34	0	11	5	2	3	8
	普通	20	0	9	2	4	2	6
	満足していない	13	1	7	3	2	5	5
中学生	満足している	21	0	10	1	1	8	6
	普通	13	1	6	2	0	6	3
	満足していない	9	3	5	3	3	4	3
高校生世代	満足している	27	2	12	9	5	5	5
	普通	13	2	8	6	2	4	5
	満足していない	9	4	6	6	3	1	3

(件)

		調査数	持ち物の忘れ物が多い	部活動や塾、習い事を休むことが多い	部活動や塾、習い事をできない	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	別室(保健室など)で過ごすことが多い
小学生	満足している	34	8	0	1	8	0	0
	普通	20	11	1	3	6	0	2
	満足していない	13	7	2	1	7	0	1
中学生	満足している	21	6	1	0	6	0	0
	普通	13	4	1	1	2	0	1
	満足していない	9	2	1	1	3	1	3
高校生世代	満足している	27	5	1	0	1	0	0
	普通	13	1	2	1	4	0	0
	満足していない	9	1	1	0	3	0	0

		調査数	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	自分の時間がとれない	その他	あてはまるものはない	無回答
小学生	満足している	34	1	1	4	1	10	2
	普通	20	6	7	6	3	1	0
	満足していない	13	4	6	6	1	1	0
中学生	満足している	21	2	3	3	0	3	0
	普通	13	5	3	5	0	1	0
	満足していない	9	1	1	3	0	1	0
高校生世代	満足している	27	6	3	1	0	7	0
	普通	13	1	2	3	0	3	2
	満足していない	9	0	0	6	2	0	0

※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

現在の悩みとして、小学生では「しかられること」、「友達との関係のこと」といった家庭環境や友人のこと、中学生では「自分と家族との関係のこと」といった家族関係のこと、高校生世代では「進路のこと」、「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分と家族との関係のこと」、「家族内の人間関係のこと」といった進路、経済面や家庭内の悩みが多くなっている。いずれの年代でも、家庭のことで悩みを抱える人が一定数いることがうかがえる。

<現在の悩みごとや困りごと>

(件)

		調査数	特にない	友人との関係のこと	SNSに関する こと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと
小学生	満足している	34	18	5	1	7		
	普通	20	6	7	0	5		
	満足していない	13	1	8	0	5		
中学生	満足している	21	6	9	0	8	5	2
	普通	13	1	3	0	8	9	2
	満足していない	9	0	2	1	3	4	1
高校生 世代	満足している	27	4	8	1	13	17	4
	普通	13	3	3	1	6	7	3
	満足していない	9	0	2	1	3	6	0

		調査数	学費(授業料)など学校生活に必要なお金の こと	習い事のこと	塾(通信含む)や習い事ができ ない	生活や勉強に必要なお金の こと	家庭の経済的 状況のこと	自分と家族との 関係のこと
小学生	満足している	34		5		5		5
	普通	20		6		3		6
	満足していない	13		5		2		6
中学生	満足している	21	4		0		5	3
	普通	13	3		0		4	1
	満足していない	9	1		0		3	6
高校生 世代	満足している	27	5		0		7	7
	普通	13	3		0		6	4
	満足していない	9	6		0		5	5

		調査数	家族内の人間 関係のこと(両親の仲が良くない など)	病気や障がいのある家族の こと	自分のために使える時間が 少ない	しかられること	その他
小学生	満足している	34			4	6	1
	普通	20			4	9	1
	満足していない	13			4	9	2
中学生	満足している	21	5	4	4	3	0
	普通	13	0	2	2	3	1
	満足していない	9	3	1	3	2	3
高校生 世代	満足している	27	3	5	2	1	0
	普通	13	2	3	4	0	0
	満足していない	9	5	1	3	2	0

※ 高校生世代については、現在の状況で「通学している（通信制高校を含む）」を回答した方の結果を掲載している。

第3章 調査結果の分析

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援として、すべての年代で「自由に使える時間がほしい」が最も多くなっている。この他、中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」、高校生では「進路や就職など将来の相談にのってほしい」も多くなっており、勉強や進路面で支援を求めている人が一定数いることがうかがえる。

<学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援>

(件)

		調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話をすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい
小学生	満足している	34	5	2	2	2	0
	普通	20	6	4	0	3	2
	満足していない	13	5	2	0	0	0
中学生	満足している	21	5	3	3	2	0
	普通	13	4	0	1	0	0
	満足していない	9	3	1	0	0	0
世代 高校生	満足している	28	3	4	2	1	2
	普通	14	4	2	1	2	2
	満足していない	14	3	1	0	2	1

		調査数	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への経済的な支援をしてほしい	わからない
小学生	満足している	34	11		2	2	0
	普通	20	7		3	0	1
	満足していない	13	10		1	3	0
中学生	満足している	21	9	3	5	4	1
	普通	13	3	3	4	1	2
	満足していない	9	4	2	4	1	0
世代 高校生	満足している	28	3	3	3	9	3
	普通	14	3	4	3	6	3
	満足していない	14	7	6	5	5	1

		調査数	その他	特にない	無回答
小学生	満足している	34	16	3	0
	普通	20	5	4	0
	満足していない	13	0	2	0
中学生	満足している	21	0	6	1
	普通	13	1	3	0
	満足していない	9	0	2	0
世代 高校生	満足している	28	0	10	0
	普通	14	0	4	0
	満足していない	14	3	1	0

3. ヤングケアラーへの支援策

(1) こどもの負担を軽減するための方策

今回の調査では、お世話について感じていることの設問において、国調査の設問にお世話することを肯定的にとらえている選択肢（「楽しい・嬉しい」「やりがいを感じる」）を独自で追加した。その結果、家族のお世話をするこどもの中にも、肯定的にとらえているこどもと、負担感を感じている（「体がつかれる」「心がつかれる」「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」）こどもがいることが分かった。

また、現在の生活の満足度についての設問を独自で設定し、その結果をお世話の有無で比較すると、お世話をしている家族がいるこどもの方が満足度は低く、お世話の時間が長くなるほどその割合が高くなる傾向があることが分かった。さらに、生活満足度が低いこどもは、お世話に負担を感じている割合が高い傾向も読み取れる。

家族のお世話に負担を感じ、現在の生活に満足していないこどもがお世話をしている家族で最も多いのは「きょうだい」で、お世話の内容では「見守り」、「家事」、「着替えや買い物の手助け」が多いことが分かった。さらに、「学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援」では、すべての世代で「自由に使える時間がほしい」が最も多く回答されており、自由意見でも自分の時間を増やすことや休息を求める声が挙げられている。

これらのことから、こどもの生活満足度を向上させるためには、こどもがお世話から解放されたり、お世話の時間を減らしたりすることで、心や体の負担を軽減するとともに、自由な時間を確保することが望まれる。その方策としては、周囲の大人や福祉サービス事業者等がお世話を代行することが考えられる。

一方で、お世話の代行を求める回答は多くないことから、その導入にあたっては、後述する相談体制の中でこどもの真のニーズを丁寧に見極めることや、学校、関係機関を含め周囲の大人がこどものサインを見逃さず必要な相談・支援につなぐ仕組みづくりも重要となる。

中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」が多くなっている。またふだんの学校生活でも「授業内容についていけない」の回答が多かったことから、家庭で学習のサポートを受けにくいことが学習面での遅れにつながっている可能性もある。こどもの学習状況を最も把握しやすい学校には、ヤングケアラーと思われるこどもに寄り添い、学習の時間や必要なサポートを受ける機会を得られるよう、行政や関係機関への情報提供や橋渡しをすることが求められる。

高校生世代では、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が多くなっており、家庭で進路のサポートを受けにくい状況が伺える。こどもが意に反して将来の可能性を狭めたり閉ざしたりすることがないように、希望を自由に表明し、自分に合った選択を周囲が後押しする環境を整えることが重要である。

(2) こども視点での相談体制の整備

家族のお世話に負担を感じ、現在の生活に満足していないこどもでは、お世話の悩みを相談した経験がないこどもの方が多くなっている。相談しない理由は「相談するほどの悩みはない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」という認識をもつこどもが多いことが分

かった。

こどもたちの声を拾う第一段階として、「お世話に関する悩みは相談しても良い」または、「相談するべきである」という考えをこどもたちの意識の中に醸成することが必要である。この考え方が無ければ、声を発するという発想が生まれなため、周囲の大人がいくらこどもたちの声に耳を傾けようと努力をし、受け入れる体制を整えても、一方的なものになり、声を拾うことは難しいと思われる。

自由意見の中でも、相談場所の周知を求める声（掲示板、駅のホームにポスターを貼る、学校での広報、インターネットを通じた周知など）が多く挙げられていることから、こどもたちがどこに相談すればよいのかを明確に示し、様々な媒体を活用してそれを周知することが必要だと考えられる。また、区の相談窓口がどのようなことに対応しているのか、相談をしたら実際に何をしてもらえるのか分からないといった声も多く挙げられていた。このことから、相談窓口の具体的な内容を周知することや、相談したら現状を変えるきっかけが掴めるかもしれないという期待を抱ける場所にしていく必要がある。

他方、普段面識のない大人に対して悩みを相談することや、自ら相談窓口に出向くことはハードルが高いと感じるこどもも一定数存在すると思われる。自由意見の中では具体的な相談手段としては、電話、SNS、インターネット上でのやり取り、メール、学校で支給されているタブレットなど、求める声は様々であることから、多様なツールや手法を活用し、誰にとっても身近でアクセスしやすい相談窓口とすることが重要である。また、継続的に相談にのってほしいという意見も挙げられており、一度の相談では解消しきれない不安や悩みに伴走する相談支援の在り方を検討していく余地がある。

(3) 周囲の大人の気づきを促す方策

家族のお世話に負担を感じ、現在の生活に満足していない一方で、自身がヤングケアラーに「あてはまらない」又はヤングケアラーであるかどうか「わからない」と回答したこどもがいることから、自覚のないヤングケアラーが一定数いることが考えられる。

現在の悩みごとや困りごとをみると、いずれの年代でも「しかられること」、「自分と家族との関係のこと」、「家庭内の人間関係のこと」といった家庭のことで悩みを抱えるこどもが多くみられた。深刻なヤングケアラー事例の多くは、経済的困窮、親やきょうだいの障がいなど、家庭内に多くの問題を抱えていると言われており、今回の調査においても同様の傾向がみられた。こうした複雑化・複合化した福祉ニーズに対応するには重層的支援体制の中で課題の解決を図ることが重要である。

また、ヤングケアラーのふだんの学校生活について、小学校では「持ち物や提出物を忘れること」、中学校では「授業についていけない」、高校生世代では「授業中に居眠りすること」が多く挙げられている。これらの生活状況は、日常的にこどもたちと近い距離にいる教職員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが各学校においてヤングケアラーの可能性が高い児童・生徒に気づくヒントになる。

周囲の大人がヤングケアラーのこどもに気づくためには、大人自身の意識と感度を高めることが重要であると考えられる。学校、関係機関・団体など支援者となり得る対象に向けた研修・講演会のほか、各種イベントなど様々な機会をとらえた啓発ツールの配布や継続的な

情報発信により、こども本人はもとより親に気づきや自覚を促すとともに、ヤングケアラーの問題に社会全体が関心を寄せるための取組も重要と考えられる。

第4章 調査票

1. 小学生調査

小学生の生活実態に関するアンケート調査（ヤングケアラーに関する実態調査）

ID、パスワードをご入力ください。

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Microsoft Edge 最新版
【MacOS】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Safari 最新版
【Android】
標準ブラウザ（Chrome）最新版
【iOS】
標準ブラウザ（Safari）最新版
Chrome 最新版

次へ

----- <改ページ> -----

I 基本情報

[必須]

問1 あなたの学年を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

4年生

5年生

- 6年生

-----<改ページ>-----

問2 あなたの性別(せいべつ)を教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

- 男
- 女
- その他
- 答えたくない

-----<改ページ>-----

問3 現在(げんざい)住んでいる地域(ちいき)を教えてください。地域(ちいき)が分からない場合は、各(かく)エリアの()内の小学校名を参考(さんこう)にお答えください。(あてはまるものを1つ回答)

- 大森エリア
(大森第一小学校、開桜小学校、大森第三小学校、大森第五小学校、大森東小学校、入新井第五小学校、入新井第一小学校、山王小学校、馬込小学校、馬込第二小学校、馬込第三小学校、梅田小学校、池上小学校、池上第二小学校、徳持小学校、入新井第二小学校、入新井第四小学校)
- 調布エリア
(東調布第一小学校、田園調布小学校、調布大塚小学校、東調布第三小学校、嶺町小学校、千鳥小学校、久原小学校、松仙小学校、池雪小学校、小池小学校、雪谷小学校、洗足池小学校、赤松小学校、清水窪小学校)
- 蒲田エリア
(六郷小学校、西六郷小学校、高畑小学校、仲六郷小学校、志茂田小学校、東六郷小学校、南六郷小学校、矢口小学校、矢口西小学校、多摩川小学校、相生小学校、矢口東小学校、おなづか小学校、道塚小学校、蒲田小学校、南蒲小学校、新宿小学校、東蒲小学校)
- 糎谷・羽田地域
(大森第四小学校、中富小学校、糎谷小学校、東糎谷小学校、北糎谷小学校、羽田小学校、都南小学校、萩中小学校、中萩中小学校、出雲小学校)
- その他

-----<改ページ>-----

問4 あなたが一緒(いっしょ)に住んでいるのは誰(だれ)ですか。(あてはまるものをすべて回答)

お母さん お父さん おばあさん おじいさん お姉さん () 人 お兄さん () 人 妹 () 人 弟 () 人 その他 ()

----- <改ページ> -----

問5 あなたは今の生活（学校生活や家族のことを含(ふく)めて）にどのくらい満足(まんぞく)していますか。（あてはまるものを1つ回答）

 満足(まんぞく)している まあ満足(まんぞく)している ふつう あまり満足(まんぞく)していない 満足(まんぞく)していない

----- <改ページ> -----

問6 あなたの健康状態(けんこうじょうたい)について教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

 よい まあよい

ふつう

あまりよくない

よくない

-----<改ページ>-----

II ふだんの生活について

問7 あなたは、1日3回（朝・昼・夜）の食事を毎日していますか。（あてはまるものを1つ回答）

している

ときどきしない日がある

ほとんどしない

-----<改ページ>-----

問8 あなたの平日の睡眠(すいみん)時間を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

6時間未満(みまん)

6時間以上(いじょう)8時間未満(みまん)

8時間以上(いじょう)

-----<改ページ>-----

あなたは学校を欠席(けっせき)したり、遅刻(ちこく)や早退(そうたい)をしたりすることがありますか。

[必須]

問9_1 欠席(けっせき)について（あてはまるものを1つ回答）

ほとんどしない

たまにする

よくする

登校していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問9_1で『1.ほとんどしない』～『3.よくする』 いずれかを選択した方のみ

問9_2 遅刻(ちこく)や早退(そうたい)について (あてはまるものを1つ回答)

- ほとんどしない
- たまにする
- よくする

-----<改ページ>-----

問10 ふだんの生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

- 学校を休むことが多い
- ねむる時間がたりない
- 授業中(じゅぎょう)中に寝(ね)てしまうことが多い
- 学校を遅刻(ちこく)や早退(そうたい)することが多い
- 授業(じゅぎょう)内容(ないよう)についていけない
- 宿題ができていないことが多い
- 持ち物の忘(わす)れ物が多い
- 習い事を休むことが多い
- 習い事をしたくても通えない
- 提出物(ていしゅつぶつ)を出すのが遅(おく)れることが多い
- 遠足・社会科見学などの学校行事を欠席(けっせき)する
- 別室(べつしつ)(保健(ほけん)室など)やつばさ教室で過(す)ごすことが多い
- 学校では一人で過(す)ごすことが多い
- 友達(ともだち)と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- 自分の時間が取れない

その他 ()

あてはまるものはない

-----<改ページ>-----

[必須]

問11 あなたが悩(なや)んでいることはありますか。(あてはまるものをすべて回答)

特(とく)にない

友達(ともだち)のこと

SNSのこと

学校の成績(せいせき)のこと

習(な)い事のこと

家族のこと

生活(せいか)や勉強(べんきょう)に必要なお金(かね)のこと

自分(じぶん)のために使える時間(じかん)が少ないこと

しかられること

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問11で『**2.友達(ともだち)のこと**』～『**10.その他**』いずれかを選択した方のみ

問12 回答した悩(なや)みについて、話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまるものを1つ回答)

いる

いない

話はしたくない

-----<改ページ>-----

III 家庭や家族のことについて

[必須]

問13 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまるものを1つ回答)

※「お世話」とは次のようなことです。

- ・家事(食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など)
- ・きょうだいのお世話やほいく園への送りむかえ
- ・着がえやおふろ・トイレに入る手助け
- ・病院や買い物、さんぽなどにいっしょに行き、手助けをする
- ・長い時間ごまりごとを聞いたり、話し相手になったりする
- ・転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る
- ・通やく(日本語を通やくしたり、手話で通訳(つうやく)したりするなど)
- ・家のお金のかんりをする(お金の使い道を考えたり、お金をはらったりするなど)
- ・薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする

いる

いない

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

あなたは誰(だれ)に、どのようなお世話をしていますか。

[必須]

問14_1 あなたがお世話をしている人はだれですか。(あてはまるものをすべて回答)

お母さん

お父さん

おばあさん

おじいさん

きょうだい

その他 ()

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

問14_1で『1.お母さん』～『2.お父さん』 いずれかを選択した方のみ

あなたがお世話をしている人の状況(じょうきょう)について教えてください。

問14_2A お母さん、またはお父さんをお世話している人にお聞きします。お世話をしている理由はなんですか。（あてはまるものをすべて回答）

- 年れいが高いため
- 食事や身の回りのお世話などのかいごが必要(ひつよう)なため
- ものを覚(おぼ)えたり考えたりすることがむずかしくなって、今までどおりに生活できなくなっているため
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳がきこえないなどのしょうがいがあるため
- 文章を讀んでりかいすることがむずかしかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどのしょうがいがあるため
- 気持ちが落ちこんでいてずっとねている、すぐにおこったり、ないたりする、1日中ずっとお酒をのんでいるなどの心の病氣のため
- そのほかの病氣やケガのため
- 日本語が苦手なため
- その他 ()
- わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『3.おばあさん』～『4.おじいさん』 いずれかを選択した方のみ

問14_2B おばあさん、またはおじいさんをお世話している人にお聞きします。お世話をしている理由はなんですか。（あてはまるものをすべて回答）

- 年れいが高いため
- 食事や身の回りのお世話などのかいごが必要なため
- ものを覚(おぼ)えたり考えたりすることがむずかしくなって、今までどおりに生活できなくなっているため
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳がきこえないなどのしょうがいがあるため
- 文章を讀んでりかいすることがむずかしかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどのしょうがいがあるため
- 気持ちが落ちこんでいてずっとねている、すぐにおこったり、ないたりする、1日中ずっとお酒をのんでいるなどの心の病氣のため

そのほかの病気やケガのため

日本語が苦手なため

その他 ()

わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『5.きょうだい』 いずれかを選択した方のみ

問14_2C きょうだいをお世話している人にお聞きます。お世話をしている理由はなんですか。（あてはまるものをすべて回答）

おさない（小さい）ため

食事や身の回りのお世話などのかいごが必要なため

手や足が自由に動かない、目が見えない、耳がきこえないなどのしょうがいがあるため

文章を読んでりかいすることがむずかしかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどのしょうがいがあるため

日本語が苦手なため

その他 ()

わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『6.その他（』 いずれかを選択した方のみ

問14_2D 「その他」の人をお世話している人にお聞きます。お世話をしている理由はなんですか。（あてはまるものをすべて回答）

年れいが高いため

食事や身の回りのお世話などのかいごが必要(ひつよう)なため

ものを覚(おぼ)えたり考えたりすることがむずかしくなって、今までどおりに生活できなくなってしまっているため

第4章 調査票

- おさない（小さい）ため
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどのしょうがいがあるため
- 文章を読んで理解することがむずかしかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどのしょうがいがあるため
- 気持ちが落ちこんでいてずっとねている、すぐにおこったり、ないたりする、1日中ずっとお酒をのんでいるなどの心の病気のため
- そのほかの病気やケガのため
- 日本語が苦手なため
- その他（ ）
- わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『1.お母さん』～『2.お父さん』 いずれかを選択した方のみ

問14_3A あなたは、お母さんまたはお父さんにどのようなお世話をしていますか。（あてはまるものをすべて回答してください。）

- 家事（食事の調理や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）
- 着がえやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、さんぽなどにいっしょに行き、手助けをする
- 病院へいっしょに行き、手助けをする
- こまりごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る
- 通やく（日本語を通やくしたり、手話で通訳(つうやく)したりするなど）
- 家のお金のかんりをする（お金の使い道を考えたり、お金をはらったりするなど）
- 薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『3.おばあさん』～『4.おじいさん』 いずれかを選択した方のみ

問14_3B あなたは、おばあさんまたはおじいさんにどのようなお世話をしていますか。（あてはまるものをすべて回答してください。）

- 家事（食事の調理や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）
- 着がえやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、さんぼなどにいっしょに行き、手助けをする
- 病院へいっしょに行き、手助けをする
- こまりごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る
- 通やく（日本語を通やくしたり、手話で通訳(つうやく)したりするなど）
- 家のお金のかんりをする（お金の使い道を考えたり、お金をはらったりするなど）
- 薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『5.きょうだい』 いずれかを選択した方のみ

問14_3C あなたは、きょうだいにどのようなお世話をしていますか。（あてはまるものをすべて回答してください。）

- 家事（食事の調理や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）
- きょうだいのお世話やほいく園への送りむかえ
- 着がえやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、さんぼなどにいっしょに行き、手助けをする
- 病院へいっしょに行き、手助けをする
- こまりごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る

通やく（日本語を通やくしたり、手話で通訳(つうやく)したりするなど）

家のお金のかんりをする（お金の使い道を考えたり、お金をはらったりするなど）

薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『6.その他』 いずれかを選択した方のみ

問14_3D あなたは、「その他」の人にどのようなお世話をしていますか。（あてはまるものをすべて回答してください。）

家事（食事の調理や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）

きょうだいのお世話やほいく園への送りむかえ

着がえやおふろ・トイレに入る手助け

買い物、さんぽなどにいっしょに行き、手助けをする

病院へいっしょに行き、手助けをする

こまりごとを聞く、話し相手になる

転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る

通やく（日本語を通やくしたり、手話で通訳(つうやく)したりするなど）

家のお金のかんりをする（お金の使い道を考えたり、お金をはらったりするなど）

薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問14_4 あなたはお世話をだれとっしょにしていますか。(何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまるものをすべて回答してください。)

- お母さん
- お父さん
- おばあさん
- おじいさん
- きょうだい
- しんせきの人
- っしょにお世話している人はいない
- 福祉(ふくし)のヘルパーさんなど
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_4で『7.っしょにお世話している人はいない』 いずれかを選択した方のみ

問14_5 っしょに住む家族がいても、自分だけでお世話をしている理由を教えてください。(あてはまるものをすべて回答してください。)

- 自分がお世話をしたいと思っているから
- お世話をするのが当たり前だから
- 他の家族は仕事や学校が忙(いそが)しくてお世話ができないから
- 他の家族は病気やしょうがいなどでお世話ができないから
- 他の家族が日本語が苦手だから
- 他の家族がお世話を自分におしつけて、お世話をしないから
- 自分の他にお世話をする家族がないから
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_6 あなたは何才からお世話をしていますか。（はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません）

（ ）才から

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_7 あなたはどのくらいお世話をしていますか。（あてはまるものを1つ回答）

ほとんど毎日

週に3～5日

週に1～2日

1ヶ月に数日

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_8 あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。（日によって違(ちが)う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください）

1日（ ）時間くらい

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_9 あなたは学校がお休みの日に何時間くらいお世話をしていますか。（日によって違(ちが)う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください）

1日（ ）時間くらい

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問15 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 楽しい・うれしい
- やりがいを感じる
- もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい
- 体がつかれる
- 心がつかれる
- その他 ()
- 特(とく)に何も感じていない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問16 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話のなやみについて誰かに相談したことはありますか。（あてはまるものを1つ回答）

- ある
- ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問16で『1.ある』 いずれかを選択した方のみ

問17 それは誰(だれ)ですか。（あてはまるものをすべて回答）

- 家族（お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい）
- しんせき（おじさん、おばさんなど）

第4章 調査票

- 友だち
- 学校の先生（ほけん室の先生以外(いがい)）
- ほけん室の先生
- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 病院の人や福祉(ふくし)の仕事をしている人
- 近所の人
- SNS 上での知り合い
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問16で『2.ない』 いずれかを選択した方のみ

問18 相談していない理由を教えてください。（あてはまるものをすべて回答）

- 相談するほどのなやみはないから
- だれに相談するのがよいかわからないから
- 相談できる人がいないから
- 家族のことを話したくないから
- 相談しても何も変(か)わらないから
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

【必須】

問19 学校や周(まわり)の大人にしてもらいたいことは何ですか。（あてはまるものをすべて回答）

自分のことについて話を聞いてほしい

家族のお世話について相談にのってほしい

家族の病気やしょうがい、お世話のことなどについてわかりやすく教えてほしい

自分がしているお世話のすべてを誰(だれ)かに代わってほしい

自分がしているお世話の一部を誰(だれ)かに代わってほしい
⇒具体的(くたいてき)にどんなお世話、どんな時ですか ()

自由に使える時間がほしい

勉強を教えてほしい

お金の面で助けてほしい

その他 ()

特(とく)にない

わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問19で『1.自分のことについて話を聞いてほしい』～『2.家族のお世話について相談にのってほしい』いずれかを選択した方のみ

問20 どのような方法(ほうほう)で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまるものをすべて回答)

ちょくせつ会って

電話

SNS

電子メール

その他 ()

-----<改ページ>-----

IV ヤングケアラーについて

問21 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。（あてはまるものを1つ回答）

- 聞いたことがあります、ないようも知っている
- 聞いたことがあるが、よく知らない
- 聞いたことはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問22 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。（あてはまるものを1つ）

「ヤングケアラー」とは下のイラストのような、大人が行う家事や家族のお世話を大人に代わって行っていることをいいます。



家族に代わって料理(りょうり)や洗濯(せんたく)などを行っている。



家族に代わって小さいきょうだいのお世話をしている。



障(しょう)がいや病気のあるきょうだいのお世話をしている。



そばにいないといけない家族のお世話をしている。



日本語が苦手な家族や障(しょう)がいのある家族の説明役(せつめいやく)になっている。



家計のために働(はたら)いて、病気や障(しょう)がいのある家族を助けている。



ずっとお酒を飲んでいたり心の病気をもっている家族の対応(たいおう)をしている。



がんなど重い病気をもつ家族の看病(かんびょう)をしている。



病気や障(しょう)がいのある家族の身の回りのお世話をしている。



病気や障(しょう)がいのある家族のお風呂やトイレに入る手助けをしている。

- あてはまる
- あてはまらない
- わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問23 家族のお世話をしている子どものために、もっと大人に助けてほしいことや困(こま)っていることなど、ここまでの質問(しつもん)で伝(つた)えきれなかったことを書いてください。

(例(れい) : 相談(さうだん)したいけど相談(さうだん)できない、だれにも見(み)られない場所(ばしょ)やだれにも知(し)られない方法(ほうほう)でなやみや話を聞(き)いてほしいなど)

※みなさんの名前(な)や家族(かぞ)の名前(な)、住所(じゅうしょ)、学校(がっこう)の名前(な)は書(か)かないでください。

-----<改(か)ページ>-----

問24 ふだん(ふだん)の学校生活(がっこう)や日常(にちじょう)生活(せいかつ)のことで相談(さうだん)したいことや、こうしたら区(く)の相談窓口(さうだんまどぐち)に行(い)きやすくなることなどがあれば自由(じゆう)に書(か)いてください。

※みなさんのお名前(な)や家族(かぞ)の名前(な)、住所(じゅうしょ)、学校(がっこう)の名前(な)は書(か)かないでください。

第4章 調査票

2. 中学生調査

中学生の生活実態に関するアンケート調査（ヤングケアラーに関する実態調査）

ID、パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。

JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】

Chrome 最新版

Firefox 最新版

Microsoft Edge 最新版

【MacOS】

Chrome 最新版

Firefox 最新版

Safari 最新版

【Android】

標準ブラウザ（Chrome）最新版

【iOS】

標準ブラウザ（Safari）最新版

Chrome 最新版

次へ

-----<改ページ>-----

I 基本情報

[必須]

問1 あなたの学年を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

1年生

2年生

- 3年生

-----<改ページ>-----

問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

- 男性
- 女性
- その他
- 答えたくない

-----<改ページ>-----

問3 現在住んでいる地域を教えてください。地域が分からない場合は、各エリアの（ ）内に所在する中学校名を参考にお答えください。（あてはまるものを1つ回答）

- 大森エリア（大森第二中学校、大森第三中学校、大森第四中学校、大森第八中学校、馬込中学校、馬込東中学校、貝塚中学校）
- 調布エリア（大森第六中学校、大森第七中学校、大森第十中学校、東調布中学校、田園調布中学校、雪谷中学校、石川台中学校）
- 蒲田エリア（六郷中学校、志茂田中学校、南六郷中学校、矢口中学校、御園中学校、蓮沼中学校、安方中学校、東蒲中学校、蒲田中学校）
- 糀谷・羽田地域（大森第一中学校、大森東中学校、羽田中学校、糀谷中学校、出雲中学校）
- その他

-----<改ページ>-----

問4 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。（あてはまるものをすべて回答）

- お母さん
- お父さん
- おばあさん

おじいさん

お姉さん () 人

お兄さん () 人

妹 () 人

弟 () 人

その他 ()

-----<改ページ>-----

問5 あなたは今の生活（学校生活や家族のことを含めて）にどのくらい満足していますか。（あてはまるものを1つ回答）

満足している

まあ満足している

ふつう

あまり満足していない

満足していない

-----<改ページ>-----

問6 あなたの健康状態について教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

よい

まあよい

ふつう

あまりよくない

よくない

-----<改ページ>-----

II ふだんの生活についてお伺いします。

問7 あなたは、1日3回（朝・昼・夜）の食事を毎日していますか。（あてはまるものを1つ回答）

- している
- とときししない日がある
- ほとんどしない

-----<改ページ>-----

問8 あなたの平日の睡眠時間を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

- 6時間未満
- 6時間以上8時間未満
- 8時間以上

-----<改ページ>-----

学校への通学状況等について教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

[必須]

問9_1 学校を欠席することはありますか。

- ほとんどしない
- たまにする
- よくする
- 登校していない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問9_1で『1.ほとんどしない』～『3.よくする』 いずれかを選択した方のみ

問9.2 遅刻や早退をすることはありますか。

- ほとんどしない
- たまにする
- よくする

-----<改ページ>-----

問10 ふだんの生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 学校を休むことが多い
- 眠る時間が足りない
- 授業中に居眠りすることが多い
- 授業内容についていけない
- 学校を遅刻や早退することが多い
- 宿題や課題ができていないことが多い
- 持ち物の忘れ物が多い
- 部活動や習い事を休むことが多い
- 部活動や習い事をしたくても通えない
- 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い
- 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
- 別室（保健室など）やつばさ教室で過ごすことが多い
- 学校では1人で過ごすことが多い
- 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- 自分の時間が取れない
- その他()
- あてはまるものはない

-----<改ページ>-----

[必須]

問11 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 特にない
- 友人との関係のこと
- SNSに関すること
- 学業成績のこと
- 進路のこと
- 部活動のこと
- 学費（授業料）など学生生活に必要なお金のこと
- 塾（通信含む）や習い事ができない
- 家庭の経済状況のこと
- 自分と家族の関係のこと
- 家庭内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 病気や障がいのある家族のこと
- 自分のために使える時間が少ない
- しかられること
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問11で『2.友人との関係のこと』～『15.その他（』 いずれかを選択した方のみ

問12 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。（あてはまるものを1つ回答）

- 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
- 相談相手や話を聞いてくれる人がいない

相談や話はしたくない

-----<改ページ>-----

III 家庭や家族のことについてお伺いします。

[必須]

問13 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

(ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などです。)

(あてはまるものを1つ回答)

※「お世話」とは次のようなことです。

- ・家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- ・きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- ・着替えやお風呂・トイレの手伝いなど
- ・病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
- ・長い時間こまりごとを聞いたり、話し相手になったりする
- ・転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- ・通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- ・家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）
- ・薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

いる

いない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問14_1 お世話を必要としている方は誰ですか。（あてはまるものをすべて回答）

お母さん

お父さん

おばあさん

おじいさん

きょうだい

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『1.お母さん』～『2.お父さん』 いずれかを選択した方のみ

お世話を必要としている方の状況やあなたがやっているお世話について教えてください。
お世話を必要としている方が複数いる場合はそれぞれの方について教えてください。

問14_2A お母さん、またはお父さんをお世話している人にお聞きます。

お世話をしている理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて回答)

- 年齢が高い
- 食事や身の回りのお世話などの介護が必要
- ものを覚えたり考えたりすることが難しくなって、今までどおりに生活できなくなっている
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある
- 文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある
- 気持ちが落ちこんでずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなどの心の病気のため
- そのほかの病気やケガ
- 日本語が苦手
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『3.おばあさん』～『4.おじいさん』 いずれかを選択した方のみ

問14_2B おばあさん、またはおじいさんをお世話している人にお聞きます。

お世話している理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて回答)

- 年齢が高い
- 食事や身の回りのお世話などの介護が必要
- ものを覚えたり考えたりすることが難しくなって、今までどおりに生活できなくなっている
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある
- 文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある

気持ちが落ちこんでずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなどの心の病気のため

そのほかの病気やケガ

日本語が苦手

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『5.きょうだい』 いずれかを選択した方のみ

問14_2C きょうだいをお世話している人にお聞きます。

お世話をしている理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて回答)

若い (小さい)

食事や身の回りのお世話などの介護が必要

手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある

文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある

日本語が苦手

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『6.その他(』 いずれかを選択した方のみ

問14_2D 「その他 ([回答 : 問14_1.t6]) 」の人をお世話している人にお聞きます。

お世話している理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて回答)

年齢が高い

食事や身の回りのお世話などの介護が必要

ものを覚えたり考えたりすることが難しくなって、今までどおりに生活できなくなっている

若い (小さい)

- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある
- 文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある
- 気持ちが落ち込んでいてずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりするや、1日中ずっとお酒を飲んでいるなどの心の病気のため
- そのほかの病気やケガ
- 日本語が苦手
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『1.お母さん』～『2.お父さん』 いずれかを選択した方のみ

問14_3A お母さん、またはお父さんをお世話している人にお聞きします。
あなたはどのようなお世話をしていますか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- 着替えやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、散歩など一緒に行き、手助けをする
- 病院に行き、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- 通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- 家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）
- 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『3.おばあさん』～『4.おじいさん』 いずれかを選択した方のみ

問14_3B おばあさん、またはおじいさんをお世話している人にお聞きします。
あなたはどのようなお世話をしていますか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- 着替えやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、散歩など一緒に行き、手助けをする
- 病院に行き、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- 通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- 家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）
- 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『5.きょうだい』 いずれかを選択した方のみ

問14_3C きょうだいをお世話している人にお聞きします。
あなたはどのようなお世話をしていますか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- 着替えやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
- 病院に行き、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- 通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）

家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）

薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『6.その他（』 いずれかを選択した方のみ

問14_3D あなたは、「その他（ [回答：問14_1.t6] ）」の人にどのようなお世話をしていますか。
あなたはどのようなお世話をしていますか。
（あてはまるものをすべて回答）

家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）

きょうだいのお世話や保育園への送り迎え

着替えやお風呂・トイレに入る手助け

買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする

病院に行き、手助けをする

困りごとを聞く、話し相手になる

転んだり、危ないことをしたりしないか見守る

通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）

家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）

薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問14_4 あなたはお世話をだれと一緒にしていますか。
（あてはまるものをすべて回答）

- お母さん
- お父さん
- おばあさん
- おじいさん
- きょうだい
- 親せきの人
- いっしょにお世話している人はいない
- 福祉のヘルパーさんなど
- その他 ()

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

問14_4で『7.いっしょにお世話している人はいない』 いずれかを選択した方のみ

問14_5 いっしょに住む家族がいても、自分だけでお世話をしている理由を教えてください。
あてはまる番号すべてを回答してください。

- 自分がお世話をしたいと思っているから
- お世話をするのが当たり前だから
- 他の家族は仕事や学校が忙しくてお世話ができないから
- 他の家族は病気や障がいなどでお世話ができないから
- 他の家族は日本語が苦手だから
- 他の家族がお世話を自分におしつけて、お世話をしないから
- 自分の他にお世話をする家族がないから
- その他 ()

----- <改ページ> -----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_6 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。（はっきりとわからない場合は、だいたい年齢でかまいません）

（ ）歳から

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_7 お世話をしている頻度を教えてください。
（あてはまるものを1つ回答）

- ほとんど毎日
- 週に3～5日
- 週に1～2日
- 1か月に数日
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_8 あなたは、平日にお世話を何時間くらいしていますか。
（日によって違う場合は、この1か月の中で一番長かった日の時間をお答えください）

1日（ ）時間程度

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_9 あなたは学校がお休みの日に何時間くらいお世話をしていますか。
（日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください）

1日（ ）時間くらい

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問15 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 楽しい・嬉しい
- やりがいを感じる
- もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい
- 体がつかれる
- 心がつかれる
- その他 ()
- 特に何も感じていない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問16 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。
(あてはまるものを1つ回答)

- ある
- ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問16で『1.ある』 いずれかを選択した方のみ

問17 問16で「ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 家族 (お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい)
- 親せき (おじ、おばなど)

- 友人
- 学校の先生（保健室の先生以外）
- 保健室の先生
- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 医師や看護師、その他病院の人
- ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
- 役所や保健所の人
- 近所の人
- SNS上での知り合い
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問16で『2.ない』 いずれかを選択した方のみ

問18 問16で「ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
（あてはまるものをすべて回答）

- 相談するほどの悩みはない
- 誰に相談するのがよいかわからない
- 相談できる人が身近にいない
- 家族のことのため話にくい
- 家族のことを知られたくない
- 家族に対して偏見を持たれたくない
- 相談しても状況が変わるとは思わない
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問19 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談にのってほしい
- 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
- 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか ()
- 自由に使える時間がほしい
- 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- 学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい
- 家庭への経済的な支援をしてほしい
- わからない
- その他 ()
- 特にない

-----<改ページ>-----

IV ヤングケアラーについて

問20 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(あてはまるものを1つ回答)

- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問21 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。
(あてはまるものを1つ回答)

「ヤングケアラー」とは下のイラストのような、大人が行う家事や家族のお世話を大人に代わって行っていることのことをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の見えない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

- あてはまる
- あてはまらない
- わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問22 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。
(例：相談したいけど相談できない、誰にも見られない場所で悩みや話を聞いてほしいなど)

※みなさんのお名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。

-----<改ページ>-----

問23 父だんの学校生活や日常生活のことで相談したいことや、こうしたら区の相談窓口に行きやすくなることなどがあれば自由に書いてください。

※みなさんのお名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。



3. 高校生世代調査

高校生世代の生活実態に関するアンケート調査（ヤングケアラーに関する実態調査）

ID、パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Microsoft Edge 最新版
【MacOS】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Safari 最新版
【Android】
標準ブラウザ（Chrome） 最新版
【iOS】
標準ブラウザ（Safari） 最新版
Chrome 最新版

次へ

-----<改ページ>-----

I 基本情報**[必須]**

問1 あなたの年齢を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）※令和5年4月1日時点

15歳（高校1年生世代）

16歳（高校2年生世代）

- 17歳（高校3年生世代）

-----<改ページ>-----

問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

- 男性
- 女性
- その他
- 答えたくない

-----<改ページ>-----

問3 現在住んでいる地域を教えてください。各エリアの（ ）内は、管轄する特別出張所です。（あてはまるものを1つ回答）

- 大森エリア（大森西、入新井、馬込、池上、新井宿）
- 調布エリア（嶺町、田園調布、鷺の木、久が原、雪谷、千束）
- 蒲田エリア（六郷、矢口、蒲田西、蒲田東）
- 糎谷・羽田地域（大森東、糎谷、羽田）
- その他

-----<改ページ>-----

[必須]

問4 あなたの状況について教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

- 通学している（通信制高校を含む）
- 働いている
- 通学（通信制高校を含む）しながら働いている※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど

その他 ()

-----<改ページ>-----

問5 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまるものをすべて回答)

母親

父親

祖母

祖父

姉 () 人

兄 () 人

妹 () 人

弟 () 人

その他 ()

-----<改ページ>-----

問6 あなたは今の生活(学校生活や家族のことを含めて)にどのくらい満足していますか。(あてはまるものを1つ回答)

満足している

まあ満足している

ふつう

あまり満足していない

満足していない

-----<改ページ>-----

問7 あなたの健康状態について教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

- よい
- まあよい
- ふつう
- あまりよくない
- よくない

-----<改ページ>-----

II ふだんの生活についてお伺いします。

問8 あなたは、1日3回（朝・昼・夜）の食事を毎日していますか。（あてはまるものを1つ回答）

- している
- ときどきしない日がある
- ほとんどしない

-----<改ページ>-----

問9 あなたの平日の睡眠時間を教えてください。（あてはまるものを1つ回答）

- 6時間未満
- 6時間以上8時間未満
- 8時間以上

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『1.通学している（通信制高校を含む）』 いずれかを選択した方のみ

学校生活について教えてください。

問10_1 学校を休むことがありますか。（あてはまるものを1つ回答）

ほとんど休まない

たまに休む

よく休む

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『1.通学している（通信制高校を含む）』 いずれかを選択した方のみ

問10_2 遅刻や早退をすることはありますか。（あてはまるものを1つ回答）

ほとんどしない

たまにする

よくする

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『1.通学している（通信制高校を含む）』 いずれかを選択した方のみ

問10_3 ふだんの生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

学校を休むことが多い

眠る時間が足りない

授業中に居眠りすることが多い

学校を遅刻や早退することが多い

授業内容についていけない

宿題や課題ができていないことが多い

持ち物の忘れ物が多い

部活動や塾、習い事を休むことが多い

部活動や塾、習い事をできない

提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い

- 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
- 別室（保健室など）で過ごすことが多い
- 学校では1人で過ごすことが多い
- 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- 自分の時間がとれない
- その他（ ）
- あてはまるものはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『1.通学している（通信制高校を含む）』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問10_4 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 特にない
- 友人との関係のこと
- SNSに関すること
- 学業成績のこと
- 進路のこと
- 部活動のこと
- 学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと
- 塾（通信含む）や習い事ができない
- 家庭の経済的状況のこと
- 自分と家族との関係のこと
- 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 病気や障がいのある家族のこと
- 自分のために使える時間が少ない

しかられること

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問10_4で『2.友人との関係のこと』～『15.その他(』 いずれかを選択した方のみ

問10_5 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまるものを1つ回答)

- 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
- 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
- 相談や話はしたくない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『2.働いている』～『3.通学(通信制高校を含む)しながら働いている※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』 いずれかを選択した方のみ

仕事や学校の状況について教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

問11_1 仕事や学校を休むことがありますか。(あてはまるものを1つ回答)

- ほとんど休まない
- たまに休む
- よく休む

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『2.働いている』～『3.通学(通信制高校を含む)しながら働いている※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』 いずれかを選択した方のみ

問11_2 仕事や学校を遅刻・早退することはありますか。(あてはまるものを1つ回答)

- ほとんどしない
- たまにする

よくする

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『2.働いている』～『3.通学（通信制高校を含む）しながら働いている※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』 いずれかを選択した方のみ

問11_3 ふだんの生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 仕事や学校を休むことが多い
- 眠る時間が足りない
- 仕事や授業中に居眠りすることが多い
- 仕事や学校を遅刻や早退することが多い
- 仕事や授業に集中できていないことが多い
- 勤務先や学校では1人で過ごすことが多い
- 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- 趣味や好きなことをする時間が少ない
- その他（ ）
- あてはまるものはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問4で『2.働いている』～『3.通学（通信制高校を含む）しながら働いている※日中に仕事をして、夜間は学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問11_4 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 特にない
- 友人との関係のこと
- SNSに関すること
- 学業成績のこと

- 自分のこれからのこと
- 部活動のこと
- 学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと
- 塾（通信含む）や習い事ができない
- 仕事の内容のこと
- 職場での人間関係のこと
- 家庭の経済的状況のこと
- 自分と家族との関係のこと
- 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 病気や障がいのある家族のこと
- 自分のために使える時間が少ない
- しかられること
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
問11_4で『2.友人との関係のこと』～『17.その他（』 いずれかを選択した方のみ

問11_5 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。（あてはまるものを1つ回答）

- 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
- 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
- 相談や話はしたくない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
問4で『4.その他（』 いずれかを選択した方のみ

問12_1 ふだんの生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 眠る時間が足りない
- 物事に集中できないことが多い
- 日中は1人で過ごすことが多い
- 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- 趣味や好きなことをする時間が少ない
- その他 ()
- あてはまるものはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
問4で『4.その他』いずれかを選択した方のみ

【必須】
問12_2 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。（あてはまるものをすべて回答）

- 特にない
- 友人との関係のこと
- SNSに関すること
- 自分のこれからのこと
- 家庭の経済的状況のこと
- 自分と家族との関係のこと
- 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 病気や障がいのある家族のこと
- 自分のために使える時間が少ない
- しかられること
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問12.2で『2.友人との関係のこと』～『11.その他』 いずれかを選択した方のみ

問12.3 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。（あてはまるものを1つ回答）

- 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
- 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
- 相談や話はしたくない

-----<改ページ>-----

III 家庭や家族のことについてお伺いします。

【必須】

問13 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

（ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。）

（あてはまるものを1つ回答）

※「お世話」とは次のようなことです。

- ・家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- ・きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- ・着替えやお風呂・トイレの手伝いなど
- ・病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
- ・長い時間こまりごとを聞いたり、話し相手になったりする
- ・転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- ・通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- ・家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）
- ・薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

- いる
- いない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

お世話の状況についてお教えてください。

【必須】

問14_1 お世話を必要としている方は誰ですか。（あてはまるものをすべて回答）

- 母親
- 父親

祖母

祖父

きょうだい

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『1.母親』～『2.父親』 いずれかを選択した方のみ

お世話を必要としている方の状況やあなたがやっているお世話について教えてください。
お世話を必要としている方が複数いる場合はそれぞれの方について教えてください。

問14_2A 母親、または父親をお世話している人にお聞きします。

お世話をしている理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて回答)

年齢が高い

食事や身の回りのお世話などの介護が必要

ものを覚えたり考えたりすることが難しくなって、今までどおりに生活できなくなっている

手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある

文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある

気持ちが落ち込んでずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなど心の病気のため

そのほかの病気やケガ

日本語が苦手

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『3.祖母』～『4.祖父』 いずれかを選択した方のみ

問14_2B 祖母、または祖父をお世話している人にお聞きします。

お世話している理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて回答)

- 年齢が高い
- 食事や身の回りのお世話などの介護が必要
- ものを覚えたり考えたりすることが難しくなって、今までどおりに生活できなくなっている
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある
- 文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある
- 気持ちが落ち込んでずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなど心の病気のため
- そのほかの病気やケガ
- 日本語が苦手
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『5.きょうだい』 いずれかを選択した方のみ

問14_2C きょうだいをお世話している人にお聞きます。
お世話をしている理由はなんですか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 若い (小さい)
- 食事や身の回りのお世話などの介護が必要
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある
- 文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある
- 日本語が苦手
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『6.その他(』 いずれかを選択した方のみ

問14_2D 「その他（[回答：問14_1.t6]）」の人をお世話している人にお聞きします。
お世話している理由はなんですか。
（あてはまるものをすべて回答）

- 年齢が高い
- 食事や身の回りのお世話などの介護が必要
- ものを覚えたり考えたりする力が弱くなって、今までどおりに生活できなくなっている
- 幼い（小さい）
- 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなどの障がいがある
- 文章を読んで理解することが難しかったり、おつりの計算が苦手だったりするなどの障がいがある
- 気持ちが落ち込んでいてずっと寝ている、すぐに怒ったり、泣いたりするや、1日中ずっとお酒を飲んでいるなどの心の病気
- そのほかの病気やケガ
- 日本語が苦手
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『1.母親』～『2.父親』 いずれかを選択した方のみ

問14_3A 母親、または父親をお世話している人にお聞きします。
あなたはどのようなお世話をしていますか。
（あてはまるものをすべて回答）

- 家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- 着替えやお風呂・トイレに入る手助け
- 買い物、散歩など一緒に行き、手助けをする
- 病院に行き、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- 通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）

家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）

薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『3.祖母』～『4.祖父』 いずれかを選択した方のみ

問14_3B 祖母、または祖父をお世話している人にお聞きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまるものをすべて回答）

家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）

着替えやお風呂・トイレに入る手助け

買い物、散歩など一緒に行き、手助けをする

病院に行き、手助けをする

困りごとを聞く、話し相手になる

転んだり、危ないことをしたりしないか見守る

通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）

家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりするなど）

薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『5.きょうだい』 いずれかを選択した方のみ

問14_3C きょうだいをお世話している人にお聞きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまるものをすべて回答）

家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）

- きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- 着替えやおふろ・トイレに入る手助け
- 買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする
- 病院に行き、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- 通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- 家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、手話で通訳したりするなど）
- 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
- その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_1で『6.その他（』 いずれかを選択した方のみ

問14_3D あなたは、「その他（ [回答：問14_1.t6] ）」の人にどのようなお世話をしていますか。
あなたはどのようなお世話をしていますか。
（あてはまるものをすべて回答）

- 家事（食事の調理や後片付け、そうじ、洗濯、買い物など）
- きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- 着替えやおふろ・トイレに入る手助け
- 買い物、散歩などと一緒にいき、手助けをする
- 病院に行き、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- 通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- 家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、手話で通訳したりするなど）
- 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

[必須]

問14_4 あなたはお世話をだれと一緒にしていますか。
(あてはまるものをすべて回答)

母親

父親

祖母

祖父

きょうだい

親せきの人

いっしょにお世話している人はいない

福祉のヘルパーさんなど

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問14_4で『7.いっしょにお世話している人はいない』 いずれかを選択した方のみ

問14_5 いっしょに住む家族がいても、自分だけでお世話をしている理由を教えてください。
あてはまる番号すべてを回答してください。

自分がお世話をしたいと思っているから

お世話をするのが当たり前だから

他の家族は仕事や学校が忙しくてお世話ができないから

他の家族は病気や障がいなどでお世話ができないから

他の家族は日本語が苦手だから

他の家族がお世話を自分におしつけて、お世話をしないから

自分の他にお世話をする家族がないから

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_6 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたい年齢でかまいません)

() 歳から

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_7 お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるものを1つ回答)

ほとんど毎日

週に3～5日

週に1～2日

1か月に数日

その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_8 あなたは、平日にお世話を何時間くらいしていますか。(日によって違う場合は、この1か月の中で一番長かった日の時間をお答えください)

1日 () 時間程度

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問14_9 あなたは休日に何時間くらいお世話をしていますか。

(日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

1日 () 時間くらい

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問15 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

(あてはまるものをすべて回答)

楽しい・嬉しい

やりがいを感じる

もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい

体がつかれる

心がつかれる

その他 ()

特に何も感じていない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

【必須】

問16 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

(あてはまるものを1つ回答)

ある

ない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問16で『1.ある』 いずれかを選択した方のみ

問17 問16で「ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。
(あてはまるものをすべて回答)

家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）

親せき（おじ、おばなど）

友人

学校の先生（保健室の先生以外）

保健室の先生

スクールカウンセラー

スクールソーシャルワーカー

医師や看護師、その他病院の人

ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人

役所や保健所の人

近所の人

職場の上司や同僚

SNS上での知り合い

その他（ ）

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問16で『2.ない』 いずれかを選択した方のみ

問18 問16で「ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
(あてはまるものをすべて回答)

相談するほどの悩みはない

誰に相談するのがよいかわからない

- 相談できる人が身近にいない
- 家族のここのため話しにくい
- 家族のことを知られたくない
- 家族に対して偏見を持たれたくない
- 相談しても状況が変わるとは思わない
- その他 ()

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問19 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。
(あてはまるものをすべて回答)

- 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談に乗ってほしい
- 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
- 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか ()
- 自由に使える時間がほしい
- 進路や就職など将来の相談に乗ってほしい
- 学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい
- 家庭への経済的な支援をしてほしい
- わからない
- その他 ()
- 特にない

-----<改ページ>-----

IV ヤングケアラーについて

問20 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(あてはまるものを1つ回答)

- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】
問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問21 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。
(あてはまるものを1つ回答)

「ヤングケアラー」とは下のイラストのような、大人が行う家事や家族のお世話を大人に代わって行っていることのことをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼稚園などの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

- あてはまる
- あてはまらない
- わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問13で『1.いる』 いずれかを選択した方のみ

問22 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。

(例：相談したいけど相談できない、誰にも見られない場所で悩みや話を聞いてほしいなど)

※みなさんのお名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。

-----<改ページ>-----

問23 ふだんの学校生活や日常生活のことで相談したいことや、こうしたら区の相談窓口に行きやすくなることなどがあれば自由に書いてください。

※みなさんのお名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。

大田区 ヤングケアラー実態調査報告書

令和6年3月発行

編集・発行

〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号

大田区 こども家庭部 子育て支援課

電話 03-5744-1780（直通）
